

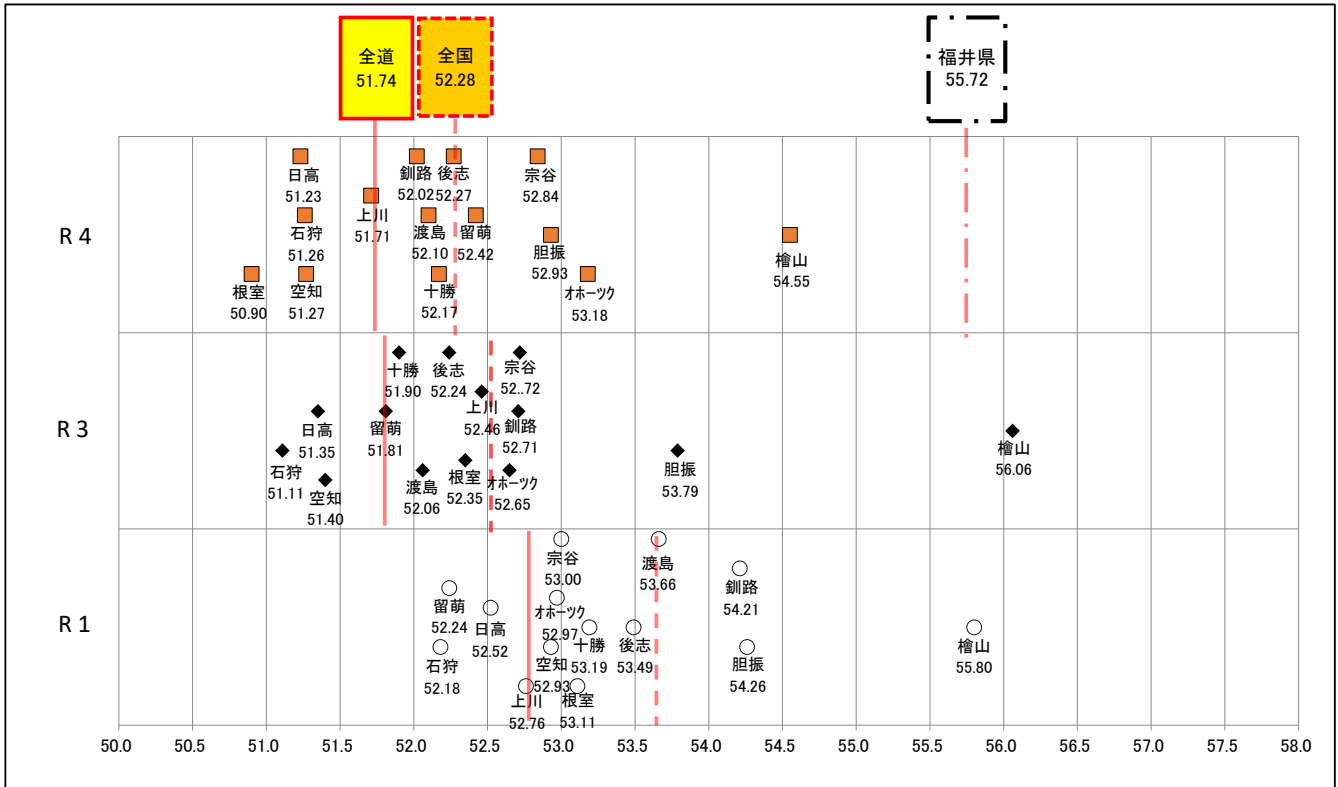
## V 各管内の状況

ここでは、令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における各管内の結果を分析し、「管内の体力合計点の分布」「管内の状況、分析及び体力向上策」を掲載しています。

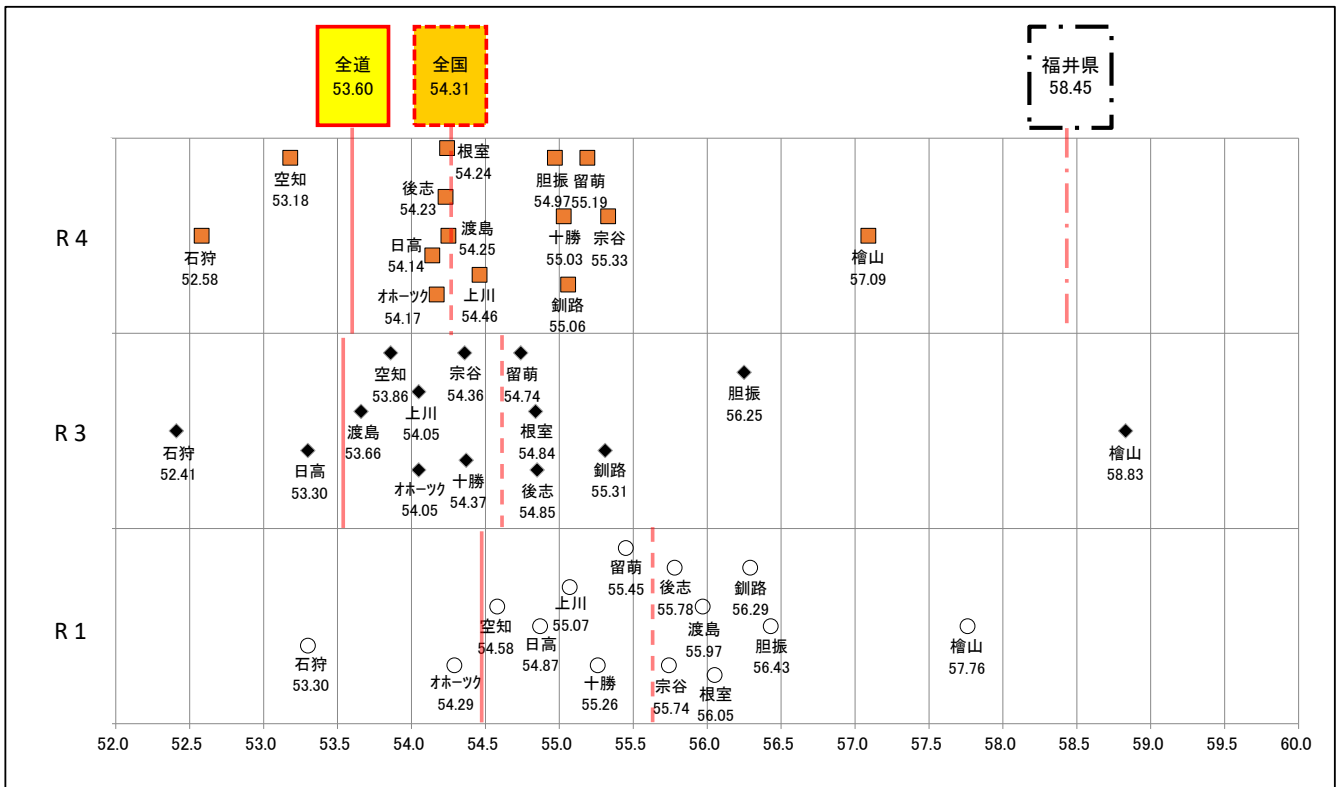
各市町村教育委員会、学校においては、本資料を参考に、各管内の状況や改善の方向性等を把握し、今後の取組を工夫・改善するなど、各地域や学校における取組の更なる充実に向け、ご活用ください。

# 1 管内の体力合計点の分布

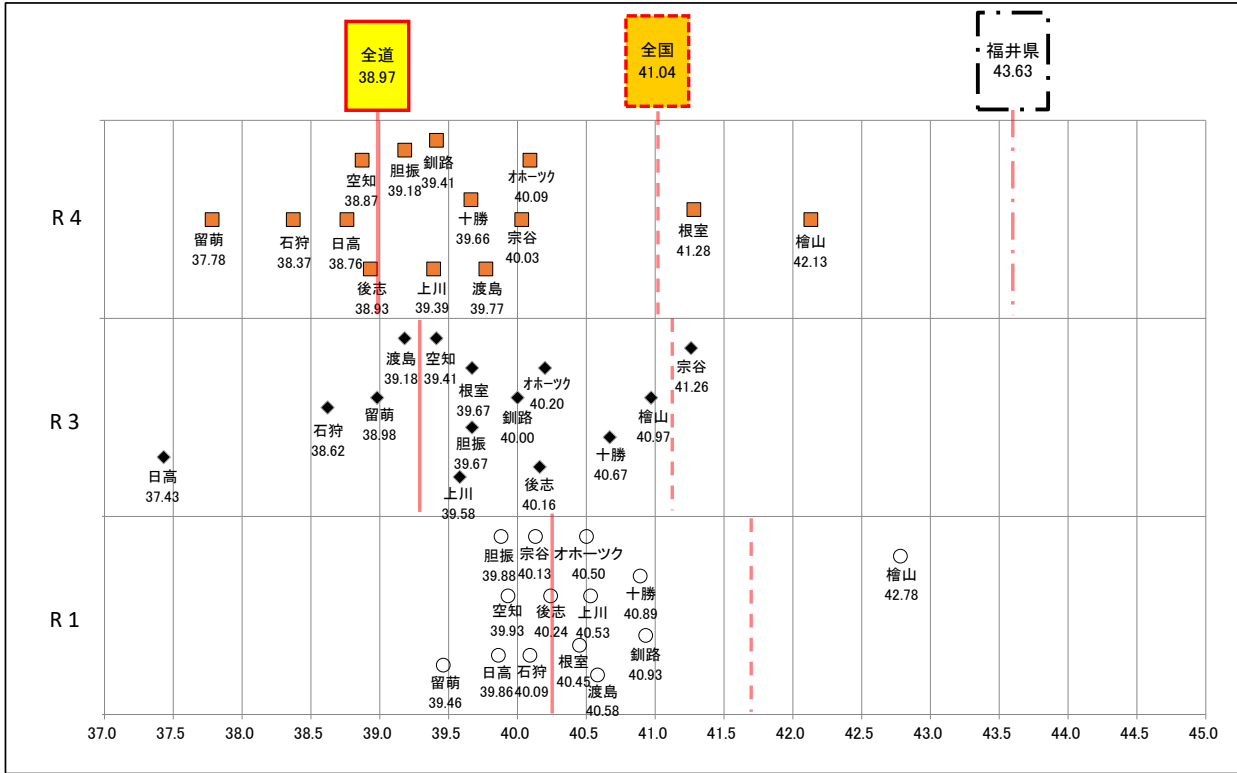
## (1) 小学校男子



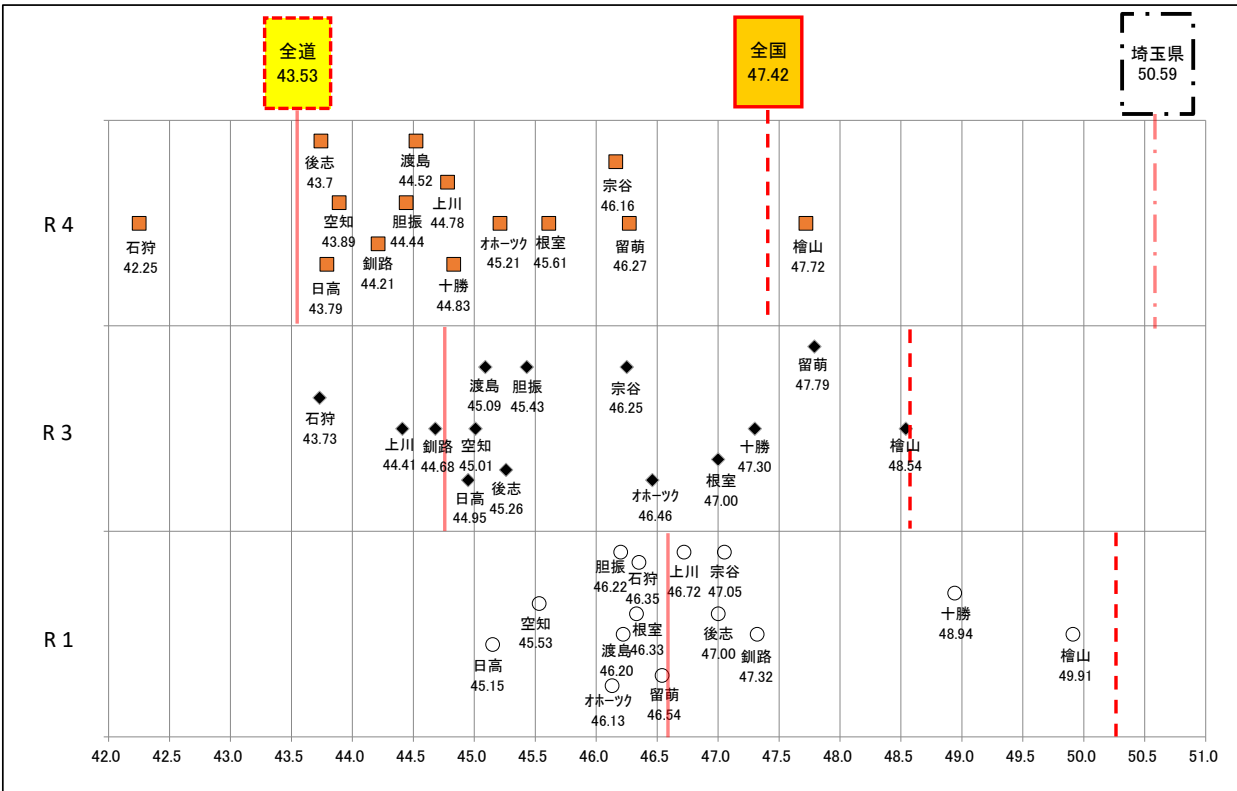
## (2) 小学校女子



(3) 中学校男子



(4) 中学校女子



## 2 各管内の状況

# 空知管内の状況

10市14町

### 小・中学校

(小学校数:56校 児童数:1,778人、中学校数:39校 生徒数:1,654人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

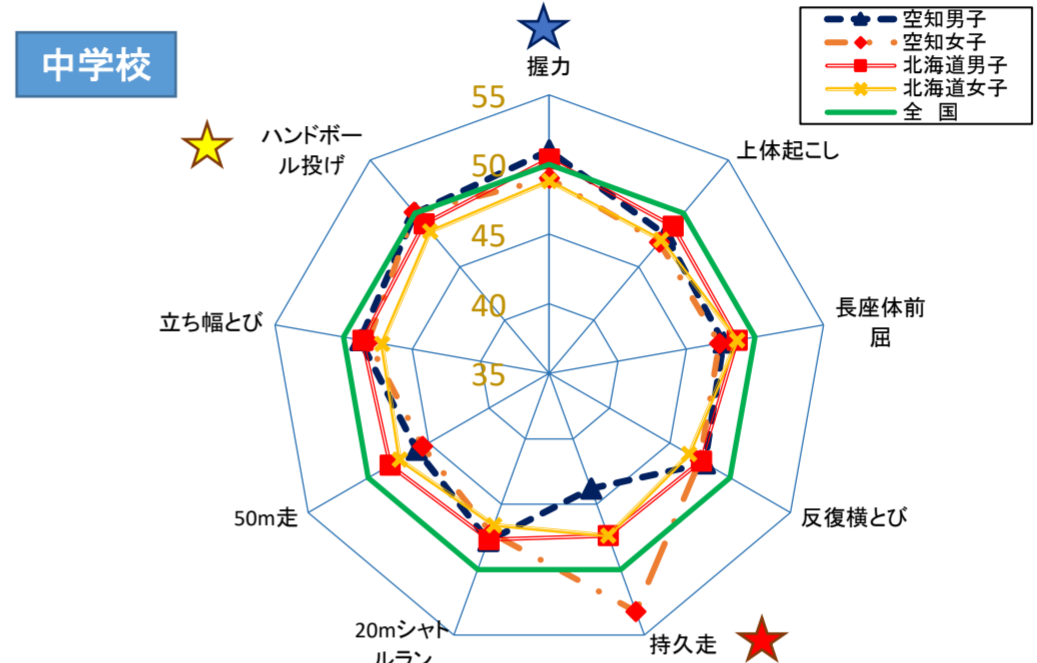
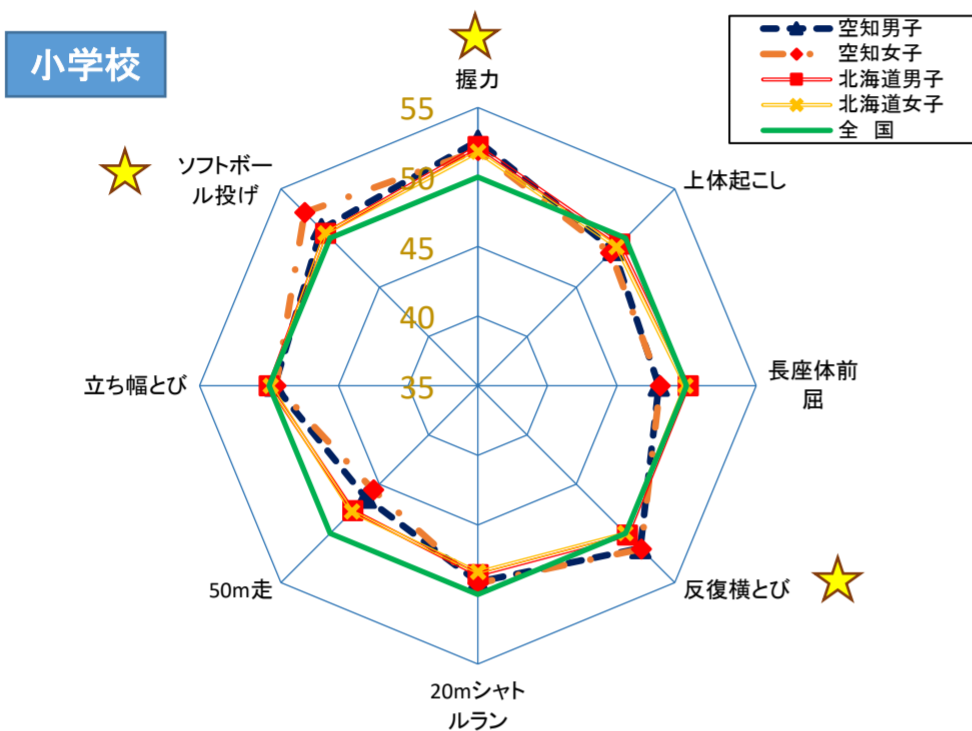
	男子	女子
空知	51.27	53.18
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
空知	38.87	43.89
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

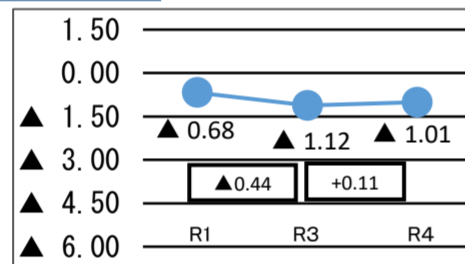
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

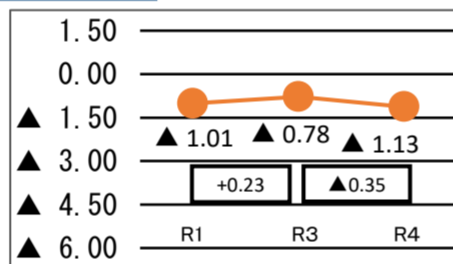


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

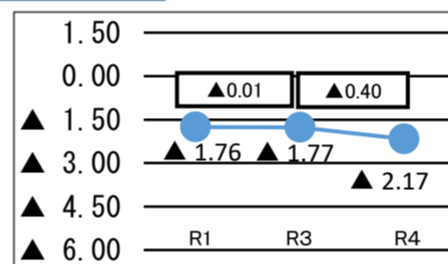
##### 小学校男子



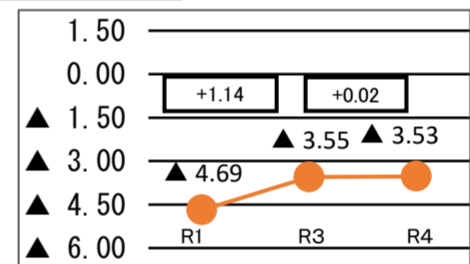
##### 小学校女子



##### 中学校男子



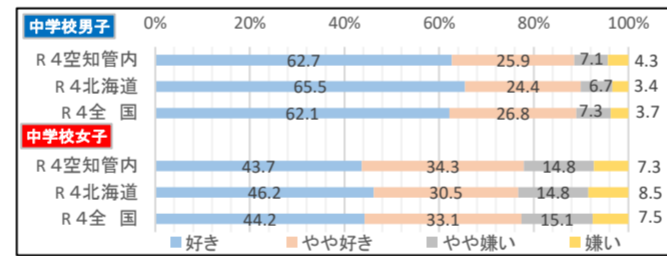
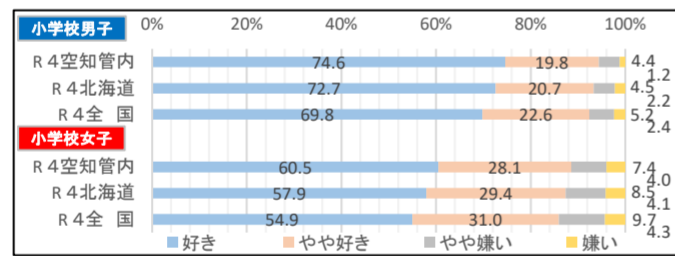
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

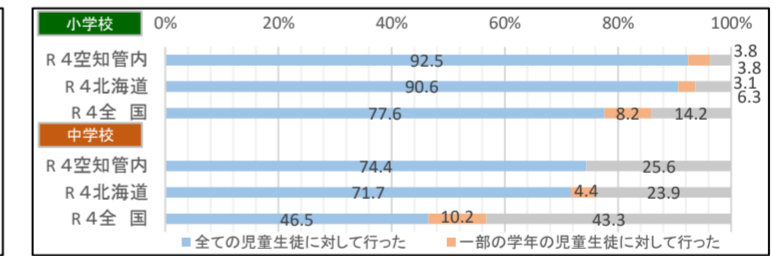
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

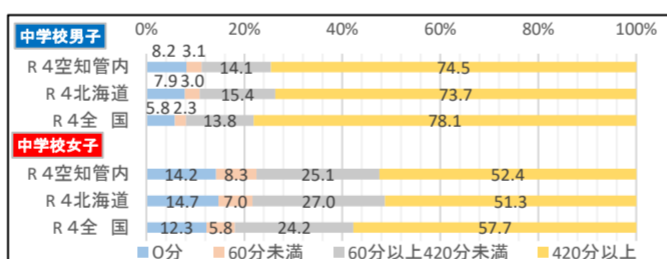
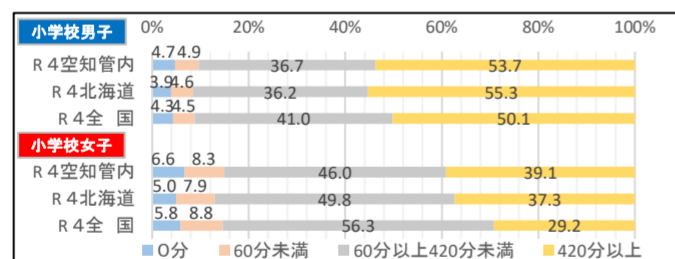


##### <学校質問紙>

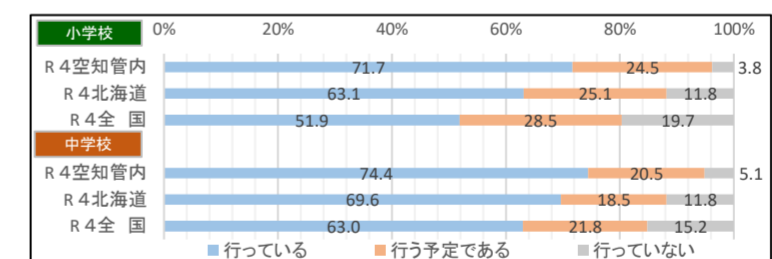
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



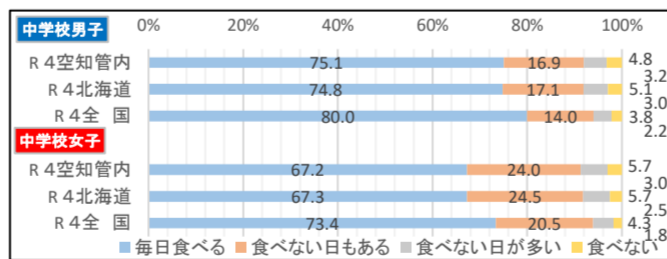
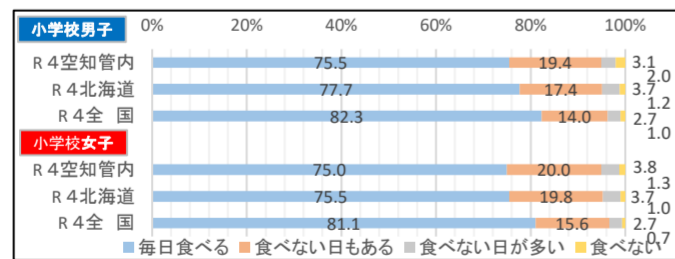
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



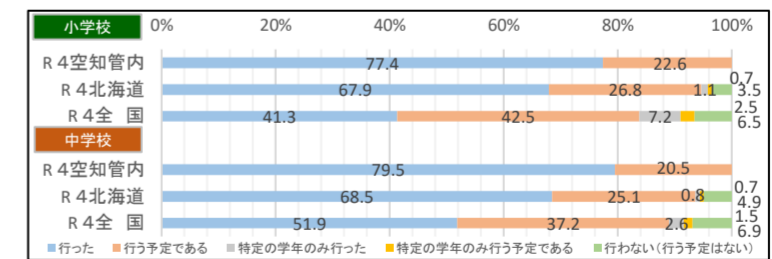
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



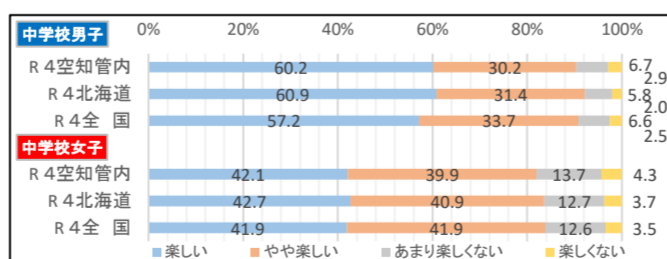
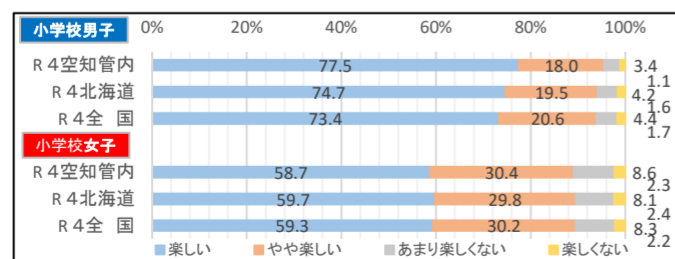
○ 朝食は毎日食べますか。



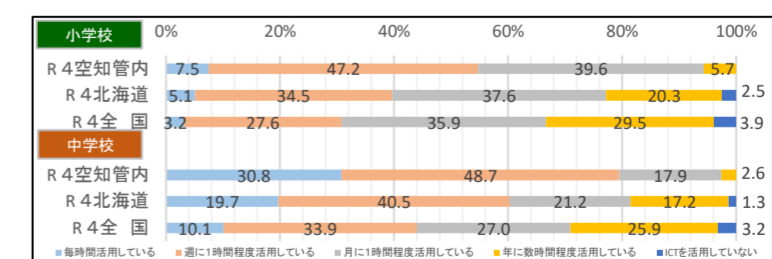
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



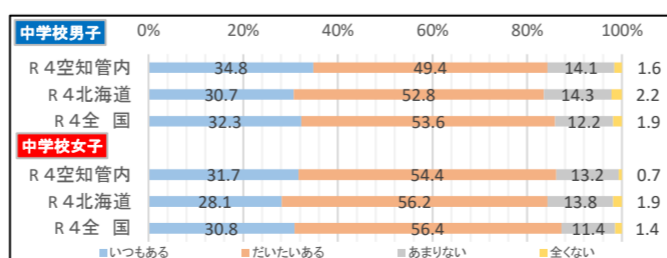
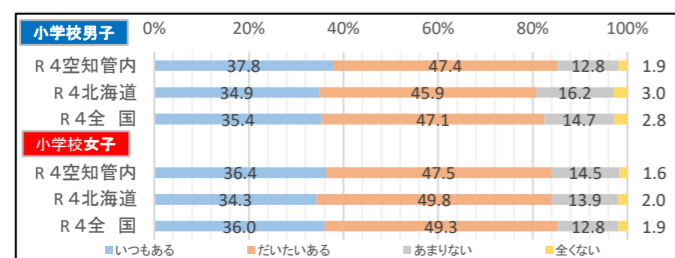
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



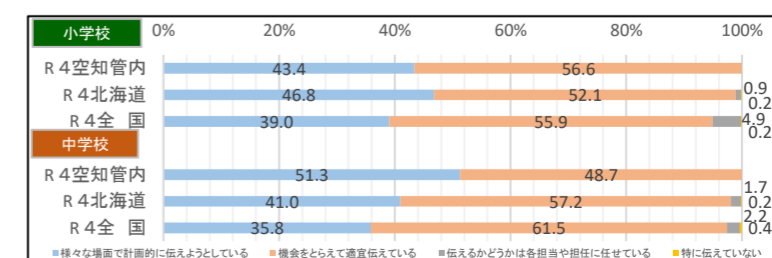
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



# 実技調査及び質問紙調査の分析

< 小学校 >		< 中学校 >	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較し、男子で1.01ポイント下回り、女子で1.13ポイント下回った。</li> <li>○ 各種目の状況は、男女ともに、「握力」「反復横とび」「ソフトボール投げ」の種目で、全国平均以上となった。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較し、男子で、0.11ポイント差が縮まり、女子で、0.35ポイント差が広がった。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較し、男子で2.17ポイント下回り、女子で3.53ポイント下回った。</li> <li>○ 各種目の状況は、男女ともに、「ハンドボール投げ」の種目で、全国平均以上となり、男子で、「握力」の種目、女子で、「持久走」の種目で、全国平均以上となった。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較し、男子で、0.40ポイント差が広がり、女子で、0.02ポイント差が縮まった。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組を行ったり、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったりしたことにより、男女ともに、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きだと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、体育の授業でICTを毎時間活用したことにより、男子で、体育の授業は楽しいと思う児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行ったり、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったりしたことにより、男女ともに、保健体育の授業は楽しいと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男子で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きだと思う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>

## 空知管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### 【令和3年度の管内の課題】

- 小学校男女ともに「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」、中学校男女ともに「握力」を除く全ての種目でT得点が全国を下回っている。
- 特に、中学校女子においては、改善傾向が見られるものの、全種目でT得点が全国を下回り、早急な対応が必要である。
- 日常的な体力向上の取組につなげていくために、児童生徒の主体的な活動を促す場の設定などにより、進んで運動に親しむ態度の育成を図る必要がある。

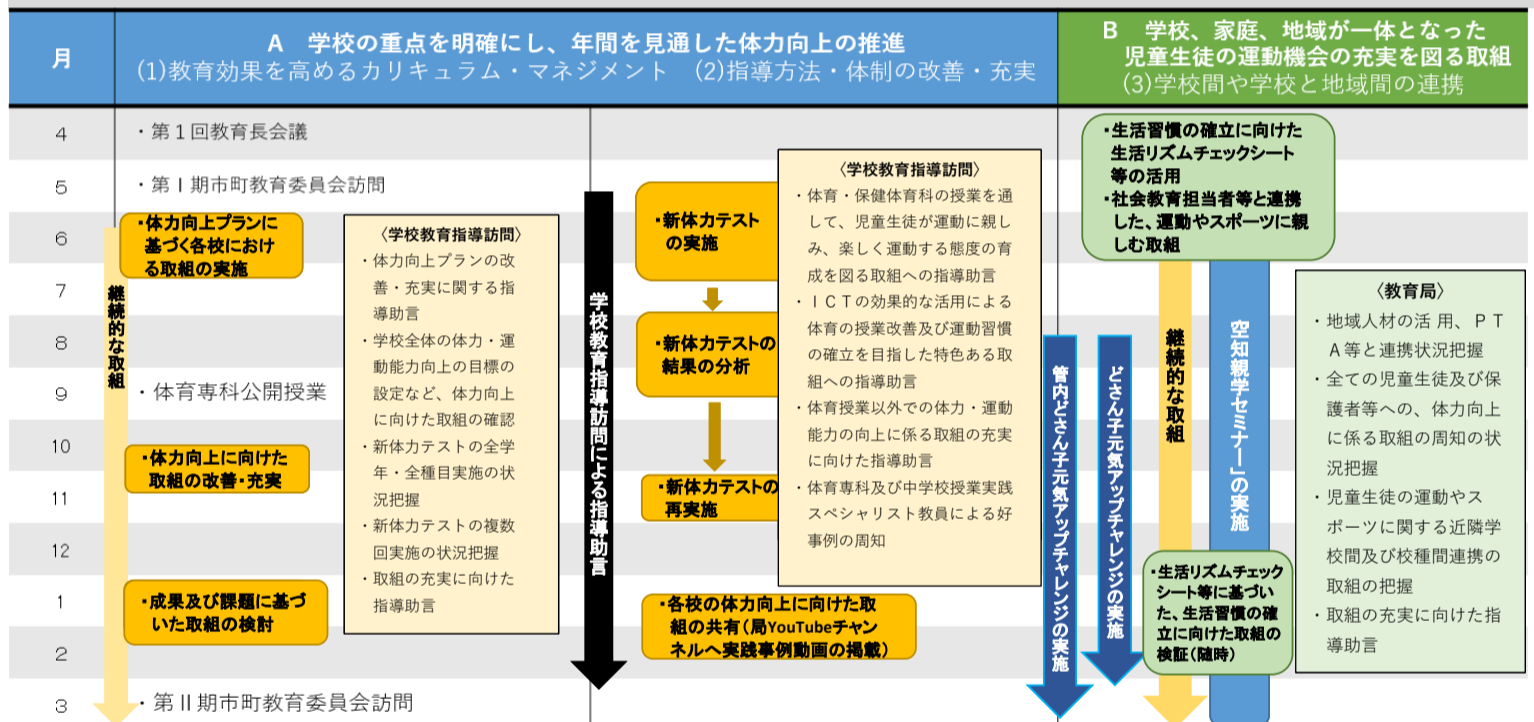
#### A 学校の重点を明確にし、年間を見通した体力向上の推進

- 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント
  - 新体力テストの全学年・全種目実施及び複数回実施による結果の分析に基づくカリキュラム・マネジメントの確立
  - 各学校の実情を踏まえて作成された体力向上プランに関する指導助言
- 指導方法・体制の改善・充実
  - 新体力テストの経年比較の分析など、客観的な指標に基づく校内体制の確立及び体育・保健体育科の授業改善の推進
  - 体育専科教員及び中学校授業実践スペシャリスト教員等と連携を図った体力向上に係る研修の実施や好事例の周知
  - 1人1台端末の積極的な活用による体育・保健体育科の授業改善の推進

#### B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実を図る取組

- 学校間や学校と地域間の連携
  - 地域人材の活用やPTA等と連携・協働した家庭の体力向上への関心を高める取組の推進
  - 運動やスポーツに関する学校、家庭、地域が一体となった取組の推進
  - 道内や管内における好事例の周知

### 2 具体的な取組



### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

(1) 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント	(2) 指導方法・体制の改善・充実	(3) 学校間や学校と地域間の連携
① 体力・運動能力向上の目標を設定している児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：76.4% (80.0%) 女子：75.5% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：66.6% (80.0%) 女子：59.7% (80.0%)</li> </ul> ② 新体力テストを全学年実施している学校の割合 【公立小・中学校の体育・保健・安全に関する調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校… 89.3% (50.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (80.0%)</li> </ul> ③ 自校の重点を明確にし、年間を見通した体力向上の推進を行っている学校の割合 【管内教育推進の重点に係る評価】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (100.0%)</li> </ul>	① 体育の授業は楽しいと回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：95.5% (80.0%) 女子：89.1% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：90.4% (75.0%) 女子：82.0% (75.0%)</li> </ul> ② これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校…100.0% (100.0%)</li> </ul> ③ 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあると回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：87.2% (80.0%) 女子：83.1% (80.0%)</li> <li>・中学校…男子：84.9% (80.0%) 女子：80.1% (80.0%)</li> </ul>	① 運動やスポーツ、児童生徒の体力について、家庭との連携を行っている学校の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (80.0%)</li> <li>・中学校… 92.3% (80.0%)</li> </ul> ② 授業以外で運動やスポーツを1日およそ60分以上していると回答した児童生徒の割合 【全国体力・運動能力、運動習慣等調査】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…男子：90.4% (95.0%) 女子：85.1% (95.0%)</li> <li>・中学校…男子：88.6% (95.0%) 女子：77.5% (95.0%)</li> </ul> ③ 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動習慣、運動機会の充実を図っている学校の割合 【管内教育推進の重点に係る評価】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校…100.0% (100.0%)</li> <li>・中学校… 89.7% (100.0%)</li> </ul>

### 4 改善に向けた今後の方向性

(1) 教育効果を高めるカリキュラム・マネジメント	(2) 指導方法・体制の改善・充実	(3) 学校間や学校と地域間の連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校の課題に応じて作成した「体力向上プラン」等に基づく取組について、新体力テストの結果分析等の経年変化を踏まえ、取組内容の検証及び重点化を進め、次年度に向けた実施内容の改善・充実を図る。</li> <li>○ 新体力テストの全学年全種目及び複数回の実施により、全ての児童生徒の継続的な体力の状況把握、具体的な数値目標の設定など、学校全体の体力向上に向けた取組のゴールを明らかにした継続的な取組を進め、各学校におけるカリキュラム・マネジメントを促進していく。</li> <li>○ 学校教育指導訪問等において、各学校の「体力向上プラン」等に基づく取組について指導助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内の体育エキスパート教員、体育専科教員及び中学校授業実践スペシャリスト教員など管内のミドルリーダーによるICTを活用した授業改善について、局独自のYouTubeチャンネル「学んDeそらち」で積極的に動画配信し、校内研修での活用等により各学校における授業改善を促進していく。</li> <li>○ 個々の児童生徒の課題に応じた1人1台端末の活用により体育・保健体育科の授業改善を進めるなど、個別最適な学びに向けたICTを活用した授業改善を進める。</li> <li>○ 管内の課題解決に向けた「管内どさん子元気アップチャレンジ」の実施内容となるよう改善を図り、各学校における体力向上の取組を支援する。</li> <li>○ 学校教育指導訪問等において、1人1台端末を活用した体育・保健体育科の授業改善を中心に指導助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テストなど、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣に関わる経年状況や「体力向上プラン」について、小学校と中学校で成果や課題を共有しながら共通の取組を推進するなど、学校間の連携を深め、小・中学校9年間を見通した体力向上の取組を進める。</li> <li>○ 家庭と連携した「生活リズムチェックシート」等の活用により、生活習慣の改善を図る取組を促進する。</li> <li>○ 運動習慣や生活習慣の状況、各学校が進めている体力向上の取組の成果や課題、改善策を家庭や地域に積極的に発信し、協力を求めるなど、家庭や地域と連携を図った取組を推進する。</li> <li>○ 地域人材を生かした体力向上の取組について、管内の好事例を発信する。</li> </ul>

# 石狩管内の状況

6市1町1村

## 小・中学校

(小学校数:262校 児童数:17,888人、中学校数:133校 生徒数:15,982)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

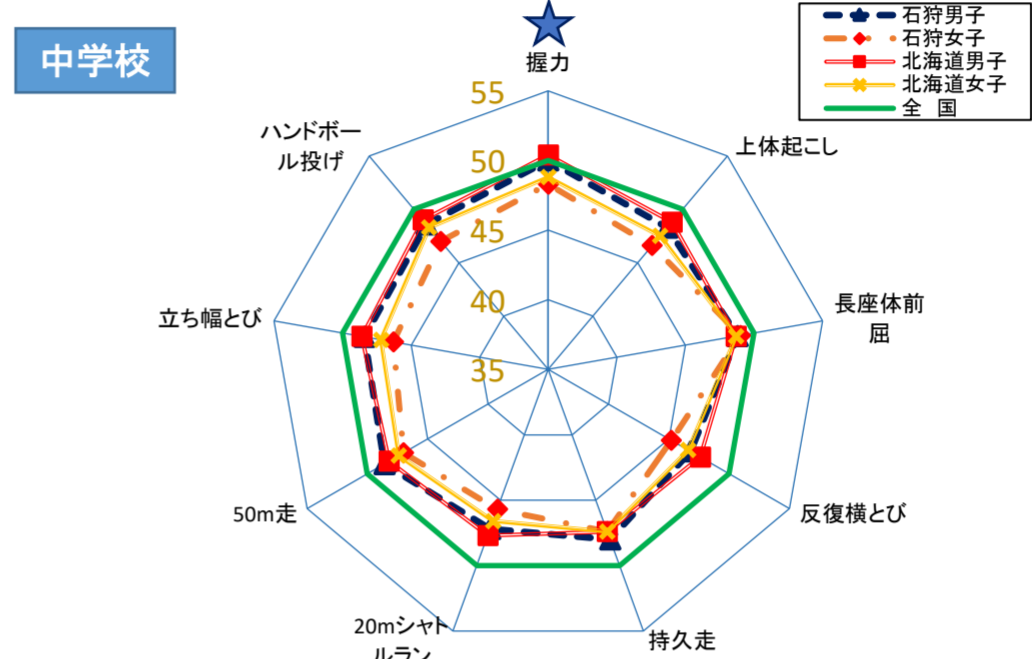
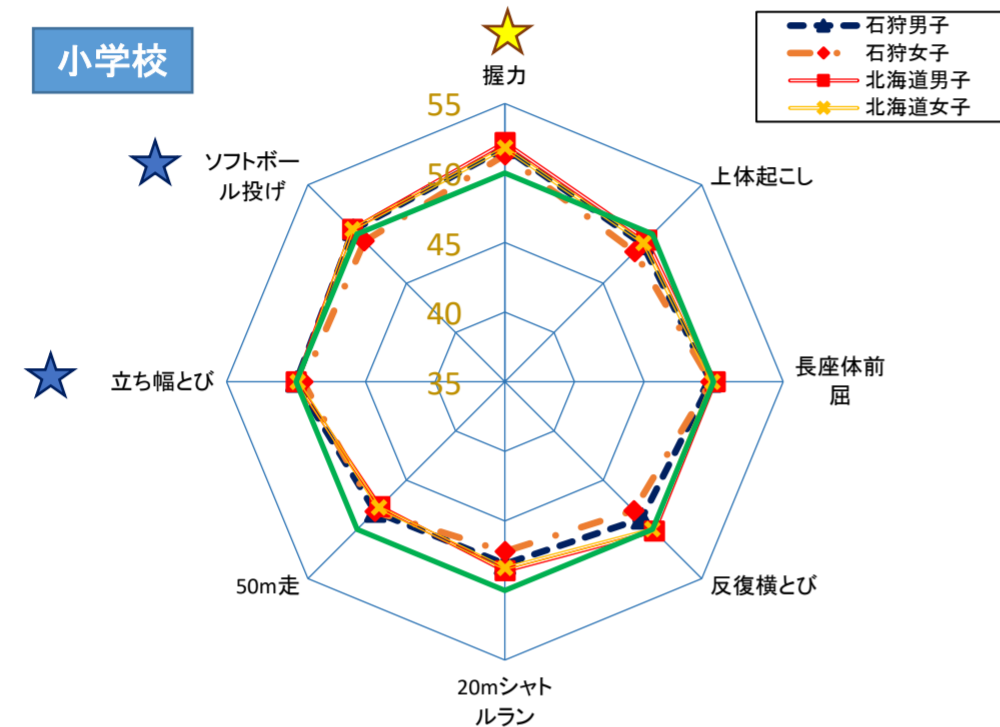
	男子	女子
石狩	51.26	52.58
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
石狩	38.37	42.25
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

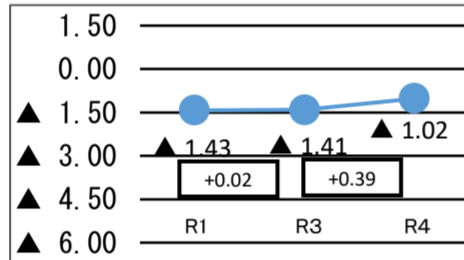
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

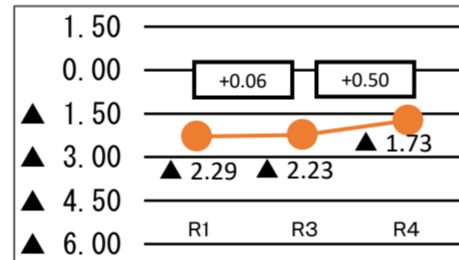


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

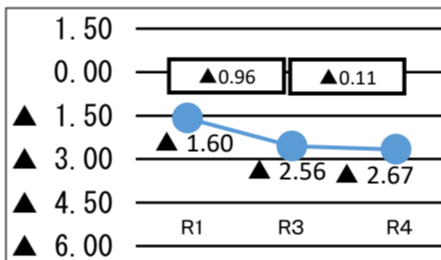
##### 小学校男子



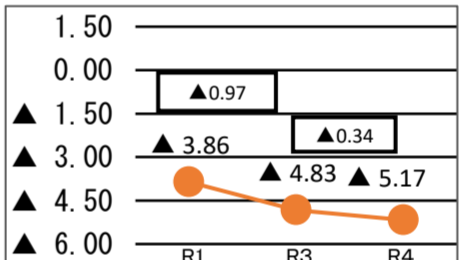
##### 小学校女子



##### 中学校男子



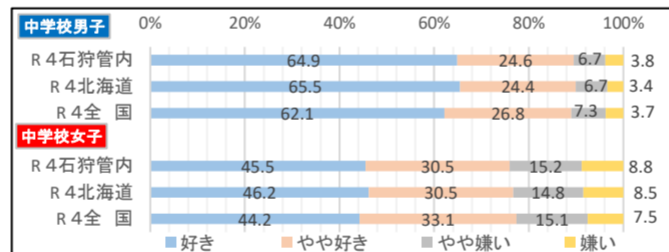
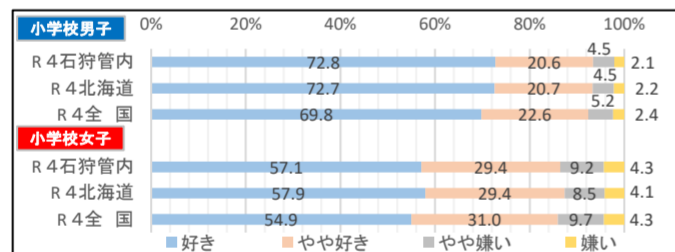
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

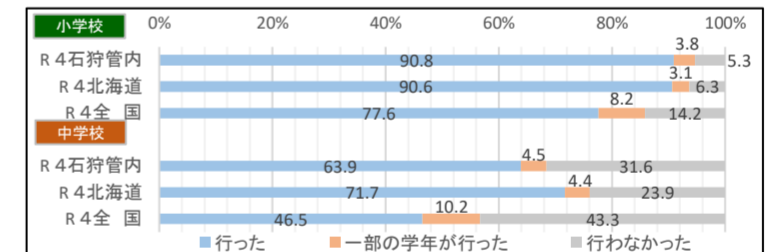
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

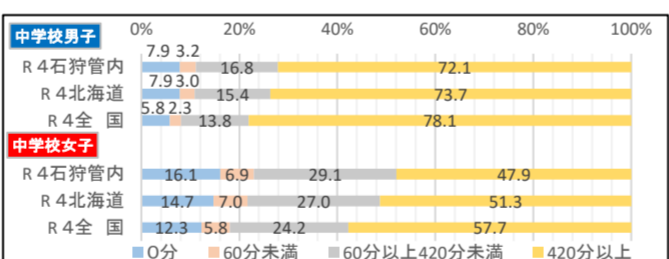
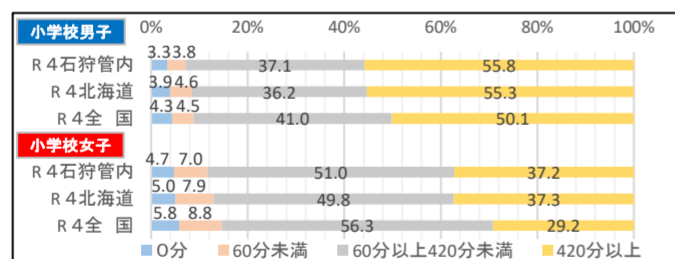


##### <学校質問紙>

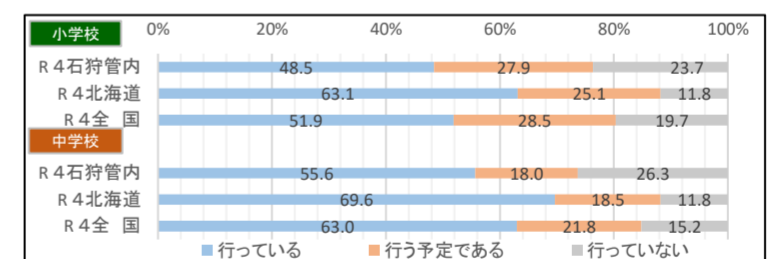
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



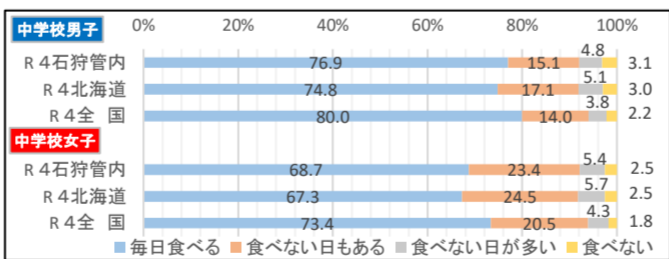
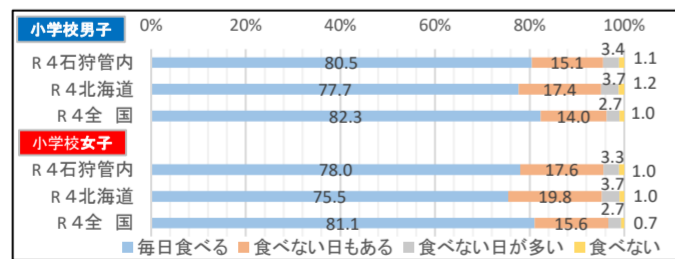
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



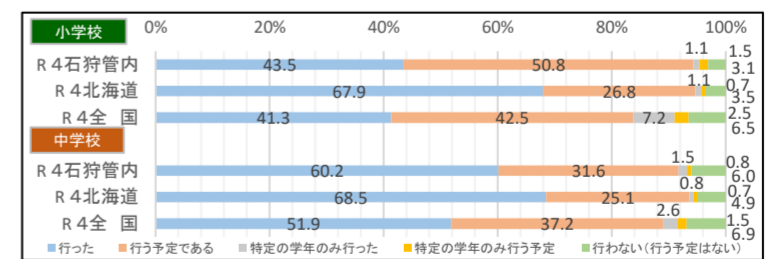
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



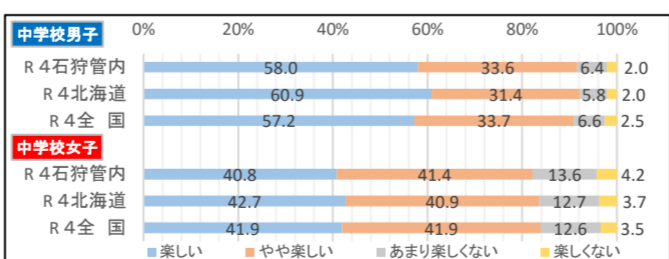
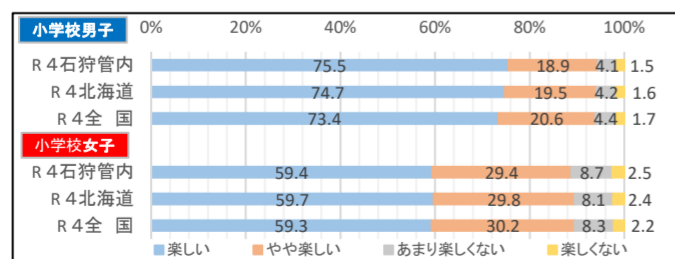
○ 朝食は毎日食べますか。



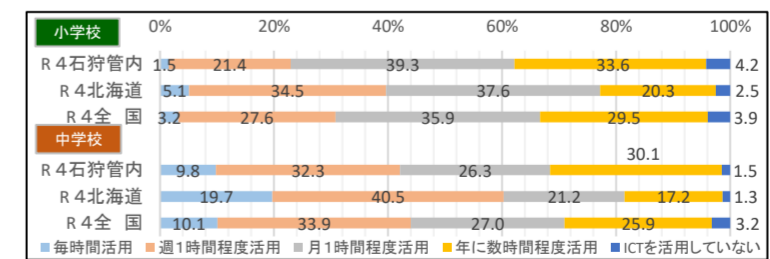
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



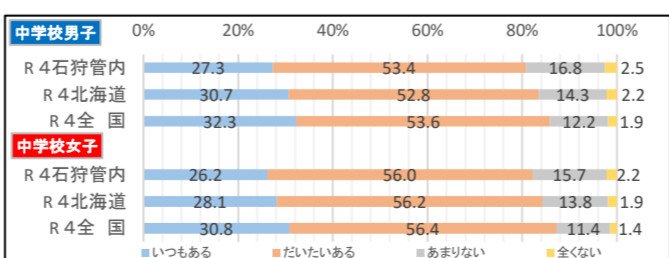
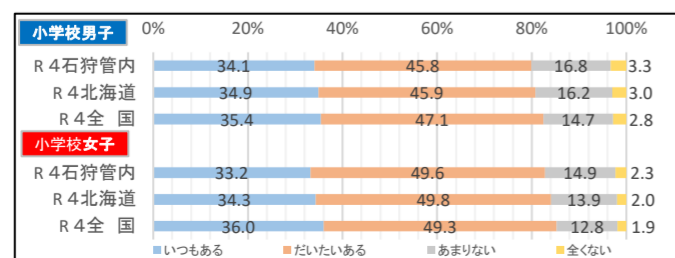
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



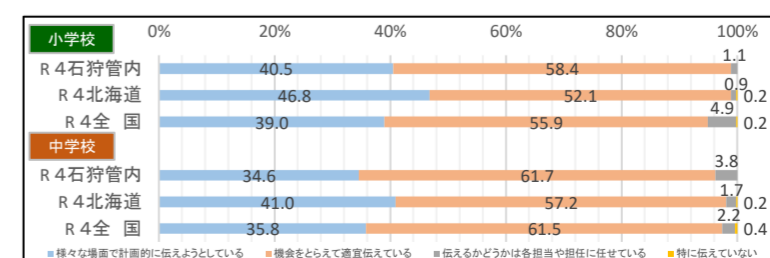
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.02ポイント、女子が1.73ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.39ポイント、女子が0.5ポイント、全国との差を縮めた。</li> <li>○ 種目別に全国平均以上となったのは、男子が3種目、女子が1種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.67ポイント、女子が5.17ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.11ポイント、女子が0.34ポイント、全国との差が広がっており、課題である。</li> <li>○ 種目別に全国平均以上となったのは、男子が1種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、90.8%であり、全国より13.2ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、43.5%であり、全国より2.2ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業が楽しい」と回答した児童の割合は、男子が、75.5%であり、全国より2.1ポイント高い。女子が、59.4%であり、全国より0.1ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、63.9%であり、全国より17.4ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、60.2%であり、全国より8.3ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業が楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が、58.0%であり、全国より0.8ポイント高い。女子が、40.8%であり、全国より1.1ポイント低い。</li> </ul>

## 石狩管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

(1) A 学校における体力向上の取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 小学校では、体育の授業における教員の指導力の向上を図るとともに、中学校では、生徒の運動に対する意欲を高めることに重点をおいた指導の充実を図る必要がある。</li> <li>・体育、保健体育の授業における「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の充実について指導助言</li> <li>・新体力テストを全学年・全種目で実施するための環境や実施体制の整備について指導助言</li> </ul>
(2) B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 児童生徒の運動時間の確保について、学校、家庭、地域が目標を共有し、連携を図りながら運動機会の充実に向けた取組を推進する必要がある。</li> <li>・コミュニティ・スクールの仕組みを生かし、子どもの体力の現状や体力向上の目標を家庭や地域と共有するよう社会教育指導班と連携して指導助言</li> <li>・体育、保健体育の授業や「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた好事例を、社会教育指導班と連携し家庭や地域にも普及・啓発</li> </ul>
(3) C 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 新体力テストを全学年・全種目で実施し、全ての児童生徒の体力の状況を把握するとともに、結果分析を踏まえた授業改善や体力向上の取組の充実を図る必要がある。</li> <li>・新体力テストの結果分析に基づく検証改善サイクルの充実及び全校で統一した体力向上の取組の推進について指導助言</li> <li>・児童生徒が自己の運動能力や運動習慣等を適切に把握するとともに、運動習慣等の改善に主体的に取り組むことができるよう、個人記録の蓄積や活用について指導助言</li> </ul>

### 2 具体的な取組

月	(1)A	(2)B	(3)C
4	教育長会議、校長会、教頭・主幹教諭会議において、体力向上に向けた検証改善サイクル確立について周知		
5			
6	学校教育指導において、体力向上に成果が見られる学校の取組、継続して課題が見られる学校の種目を把握		
7	校長会・教頭会幹事研修会において、新体力テストの実施について指導助言		
8	家庭や地域との連携による児童生徒の運動機会の充実に向けた取組の推進について社会教育の視点から指導助言		
9	各指定事業の実施について指導助言		
9	体力向上に成果が見られる学校の取組、継続して課題が見られる種目の原因の分析及び改善に向けた取組を「いしかりWebチャンネル」により周知		
10			
11	体育専科教員や体育エキスパート教員を活用した、授業力向上を図る研修の実施		
12	(令和4年度石狩管内体力向上指導力向上研修の実施)		
1	管内教育推進の重点に係る取組の評価、次年度の重点の検討		
2	各指定事業における取組の評価		
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 各学校における体力向上の取組の推進</b></p> <p>① 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」する児童生徒の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小：83.5%、中：82.9%、義務：89.3%</p> <p>② 体育の授業が楽しいと感じる児童生徒の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小：91.3%、中：87.5%、義務：91.3%</p> <p>③ 新体力テストの全学年・全種目実施の状況 (目標値：R3年度比+15p：小のみ) ※前年度 小学校：57.8%、中学校：100% ■小学校：70.8%、中学校：100%</p>	<p><b>(2) B 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実</b></p> <p>① 体育、保健体育の授業以外の総運動時間の増加に向けた取組の状況 (目標値：前年度比+10p) ※前年度 小学校：70.3%、中学校：61.5% ■小学校：81.5%、中学校：71.8%</p> <p>② 体育、保健体育の授業や「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた取組の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p>	<p><b>(3) C 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立</b></p> <p>① 新体力テストの結果分析に基づく体力向上に向けた検証改善サイクルの確立の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p> <p>② 児童生徒による自己の運動能力や運動習慣等の適切な把握及び運動習慣等の改善に向けた取組の状況 (目標値：全小・中学校、義務教育学校100%) ■小・中学校、義務教育学校：100%</p>
--	--	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 各学校における体力向上の取組の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒が、授業でできたりわかったりすることができるよう、身に付けさせたい資質・能力を明確にして本時の目標を設定する等の授業改善を推進する必要がある。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいと感じることができるよう、児童生徒が自身の学びや変容を自覚できる指導方法の工夫・改善を図る必要がある。</li> <li>○ 小学校において、新体力テストの全学年・全種目実施の取組を推進する必要がある。</li> </ul>	<p><b>(2) 学校、家庭、地域が一体となった児童生徒の運動機会の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で実施されている、「どさん子元気アップチャレンジ」等を活用した総運動時間の増加に向けた好事例を周知するなど、授業以外の体力向上の取組を推進する必要がある。</li> <li>○ 「1校1実践」の取組と関連付けた家庭での運動機会の確保に向けた取組を一層充実させる必要がある。</li> </ul>	<p><b>(3) 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校で実施されている体力向上に向けた検証改善サイクルについて学校全体で見直しを図るなど、組織的な改善を推進し、取組を一層充実させる必要がある。</li> <li>○ 各学校が、新体力テストの結果を活用した指導方法の工夫・改善を図るため、年間指導計画に全学年・全種目の実施を位置付けるよう働きかける必要がある。</li> </ul>
---	---	---

# 後志管内の状況

1市13町6村

## 小・中学校

(小学校数:57校 児童数:1,306人、中学校数:35校 生徒数:1,255)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

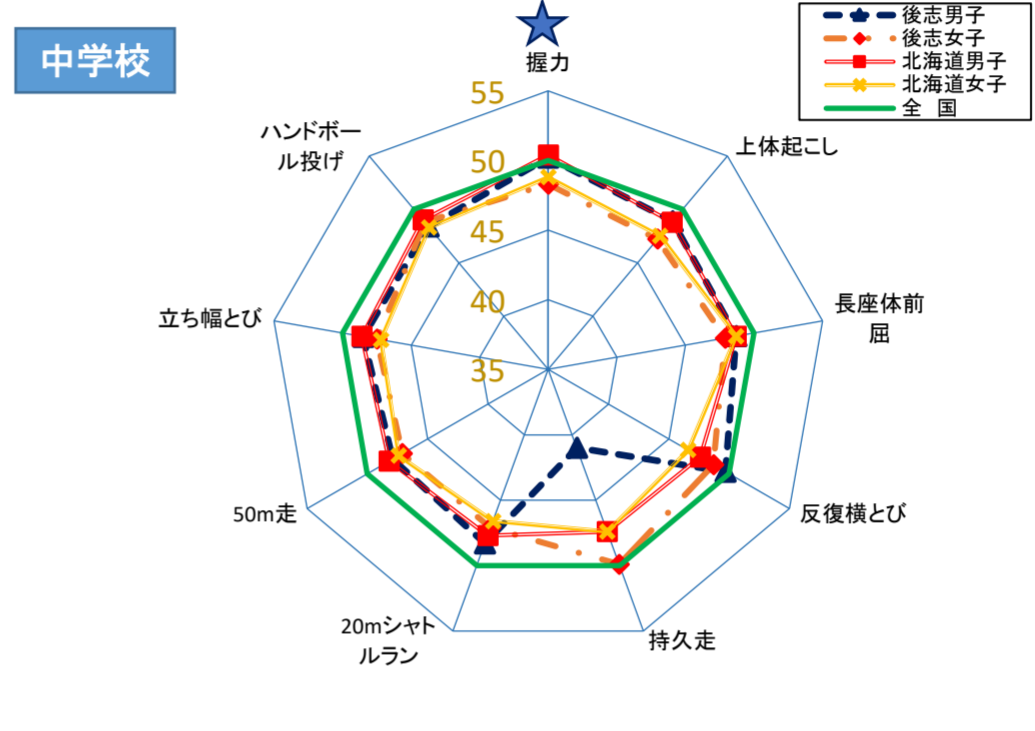
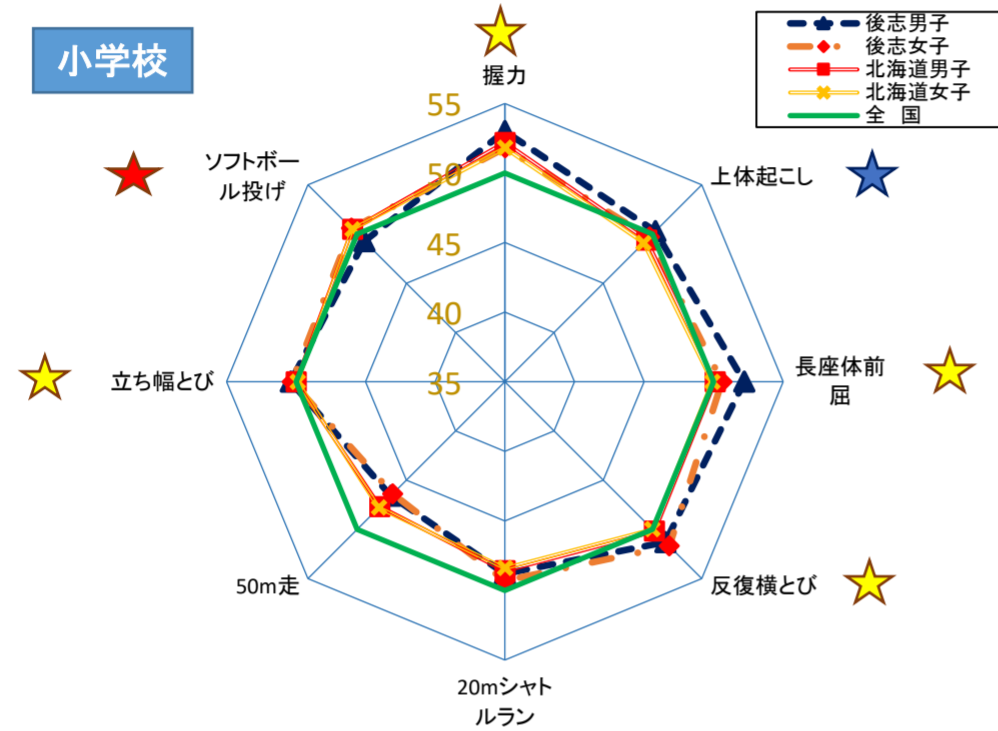
	男子	女子
後志	52.27	54.23
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
後志	38.93	43.74
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

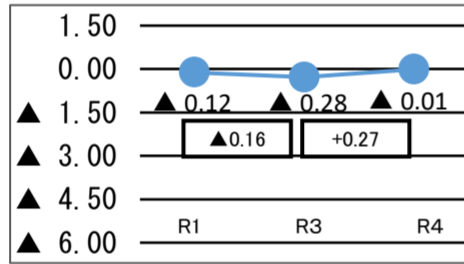
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

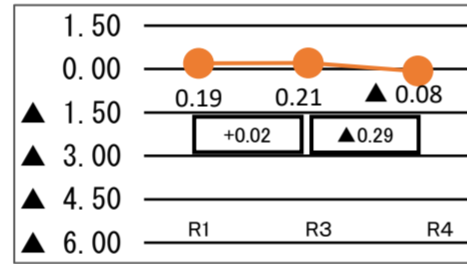


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

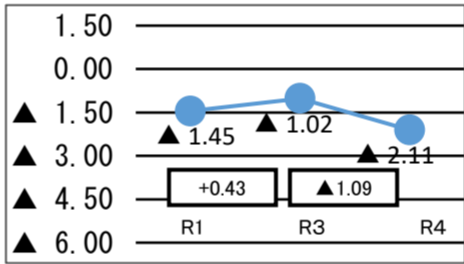
##### 小学校男子



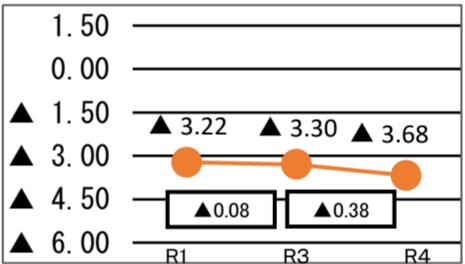
##### 小学校女子



##### 中学校男子



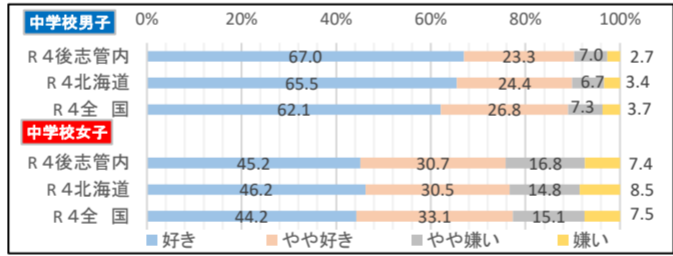
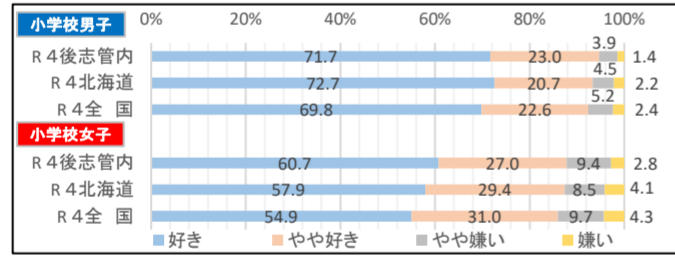
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

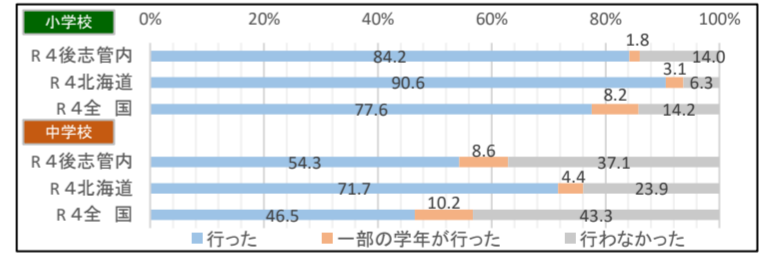
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

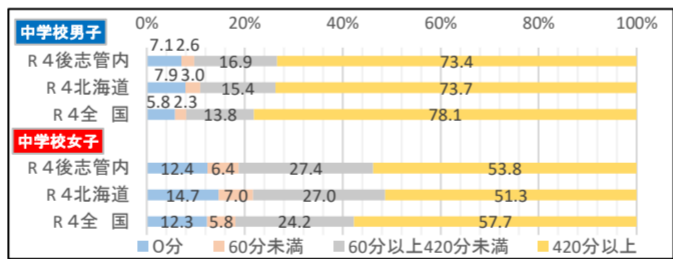
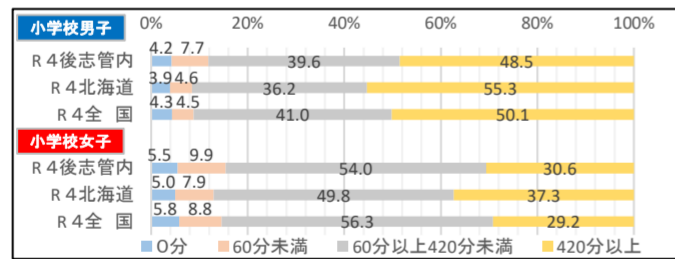


##### <学校質問紙>

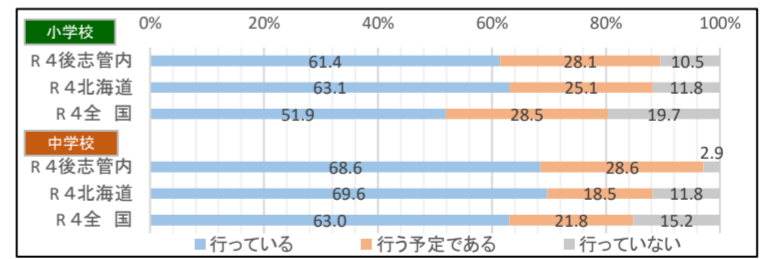
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



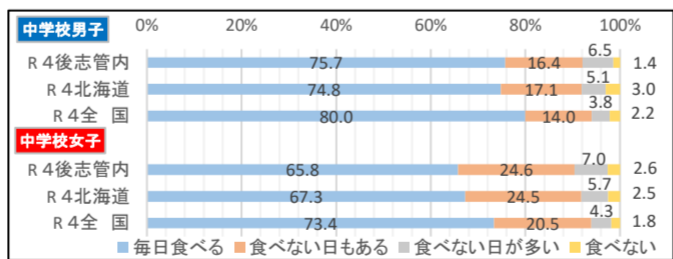
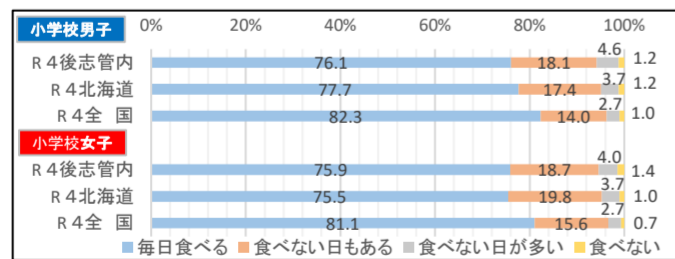
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそののくらの時間していますか。



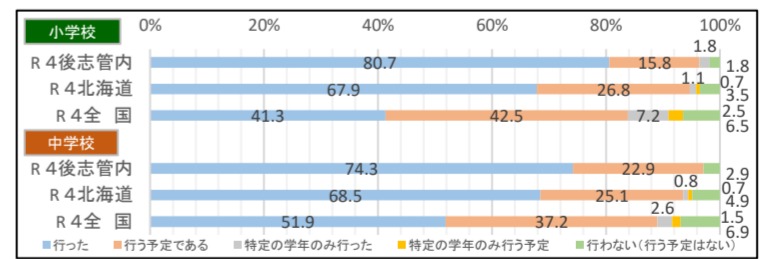
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



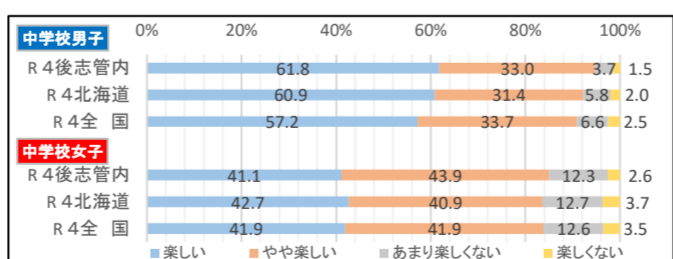
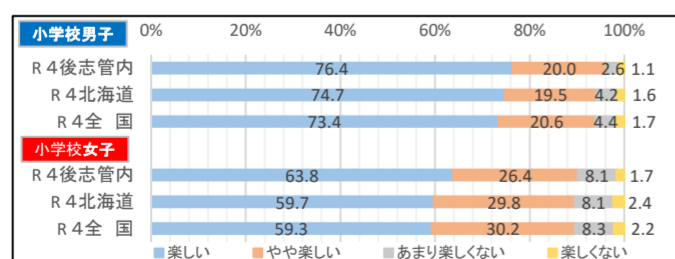
○ 朝食は毎日食べますか。



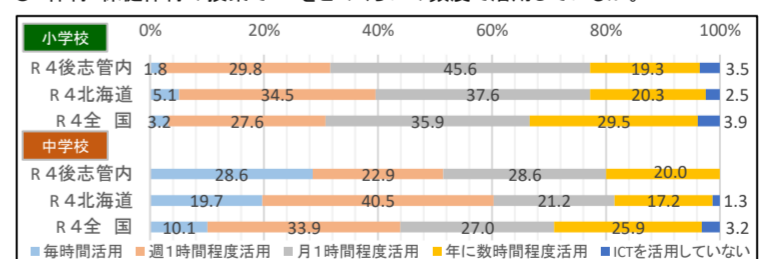
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



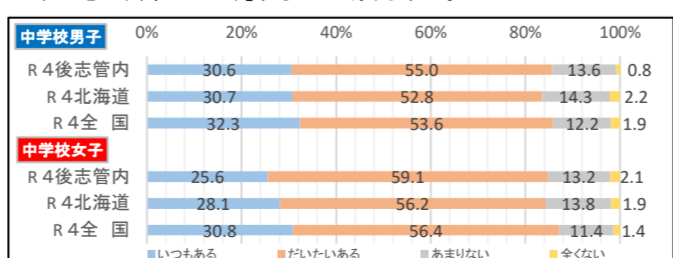
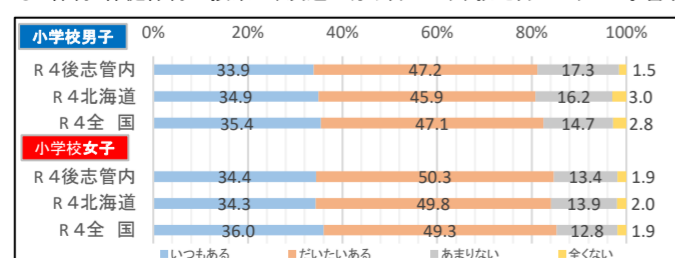
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



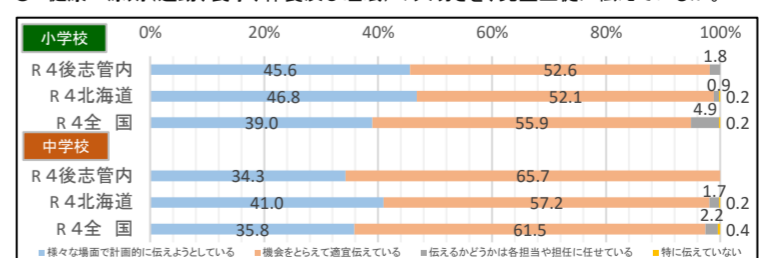
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.01ポイント低く、女子が0.08ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が5種目、女子が5種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差の推移は、男子は全国との差を縮めているが、女子はR3より0.29ポイント下がっており課題である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.11ポイント低く、女子が3.68ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が1種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差の推移は、男女共に前回よりも差が広がっており課題である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているかという設問において、毎時間活用していると回答した学校の割合は全国より1.4ポイント低く課題である。</li> <li>○ 運動やスポーツが好きと回答した児童の割合は、全国と比較して、男子が1.9ポイント、女子が5.8ポイント高い。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいと回答した児童の割合は、全国と比較して男子が3.0ポイント、女子が4.5ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているかという設問において、毎時間活用していると回答した学校の割合は全国より18.5ポイント高い。</li> <li>○ 運動やスポーツが好きと回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子が4.9ポイント、女子が1.0ポイント高い。</li> <li>○ 体育の授業が楽しいや楽しいと回答した生徒の割合は、全国と比較して男子が3.9ポイント、女子が1.2ポイント高い。</li> </ul>

## 後志管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) 組織的な体力向上

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果分析に基づいた組織的・計画的な体力向上の取組が十分でない
- 新体力テストの結果等を活用した、子ども自身が目標を設定し、運動したり望ましい生活習慣を意識したりする取組の推進
- 新体力テストの結果等の分析で明らかになった課題の改善に向けた体力向上の取組の見直しと実践

#### (2) 授業改善

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や新体力テストの結果分析に基づく体育授業の改善が十分でない
- ICTの効果的な活用による体育・保健体育の授業の中で自分の動きの質の向上を実感させる場の意図的な設定
- 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員による管内への授業実践の紹介及び好事例の普及

### 2 具体的な取組

月	(1) 組織的な体力向上	(2) 授業改善
4		
5		
6		体力向上お悩み相談
7		
8	全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テスト等の調査結果活用に向けた教職員向け資料の配付	
9		体力向上オンラインセッション
10		学校訪問における全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施状況の把握と授業改善に向けた指導助言
11		体育専科教員による公開授業及び成果普及の取組（中学校体力向上推進教員の発表を含む）
12		
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の調査結果を活用した、成果と課題の把握・検証</li> <li>○ 新体力テスト分析ツールによる分析による成果と課題の把握・検証</li> <li>○ 次年度の管内教育推進の重点の検討</li> </ul>	
2		
3		

### 3 取組の評価

<p><b>(1) 組織的な体力向上</b></p> <p>① 体力向上プラン等の作成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小100% 中100%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul> <p>② 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について児童生徒自身が自分なりの目標を立てて取り組んでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小69.1% 中62.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小74.7% 中68.4%</li> </ul> <p>③ どさん子元気アップチャレンジの参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小17校 中7校</li> <li>・目標 小18校 中8校</li> <li>・達成 小7校 中3校</li> </ul>	<p><b>(2) 授業改善</b></p> <p>① ICTの効果的な活用による体育・保健体育授業の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小100% 中100%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul> <p>② 局独自研修後の授業改善の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 新規項目のためデータなし</li> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小97.0% 中100%</li> </ul>
---	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 組織的な体力向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力向上プラン等の作成・活用が行われているが、更なる充実を図るため、各学校において体力向上プランを短いサイクルで見直すなどし、継続的な検証改善サイクルを確立できるよう、学校教育指導等において指導助言を行う。</li> <li>○ 児童生徒の朝食摂取率や運動時間に課題が見られることから、生活習慣に係るアンケートや全国体力・運動能力、運動習慣等調査、新体力テスト等の各種調査結果を分析し、望ましい生活習慣や運動習慣が確立できるよう学校教育指導や局独自研修で指導助言を行う。</li> </ul>	<p><b>(2) 授業改善</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改善の意識が高いが、更なる充実を図るため、体育エキスパート教員、体育専科教員等を講師とした局独自研修（ShiriBeshi Learning BOX・市町村と連携した研修等）を実施し、悩みを解決したり、好事例を紹介したりしていくことで、体育・保健体育の授業改善に向けた支援をしていく。</li> <li>○ ICTを効果的に活用した体育・保健体育の授業が行われているが、更に効果的な活用を促進するために、学校教育指導においてICT活用の好事例を紹介しながら指導助言を行う。</li> </ul>
--	---

# 胆振管内の状況

4市7町

## 小・中学校

(小学校数:67校 児童数:2,803人、中学校数:44校 生徒数:2,713)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

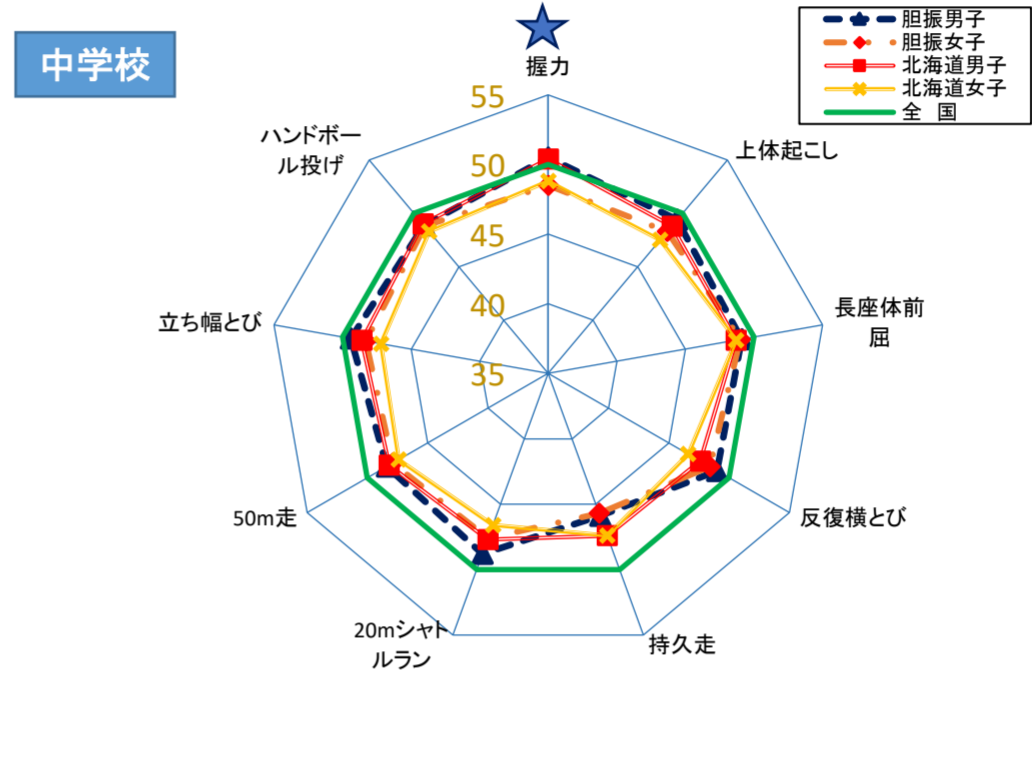
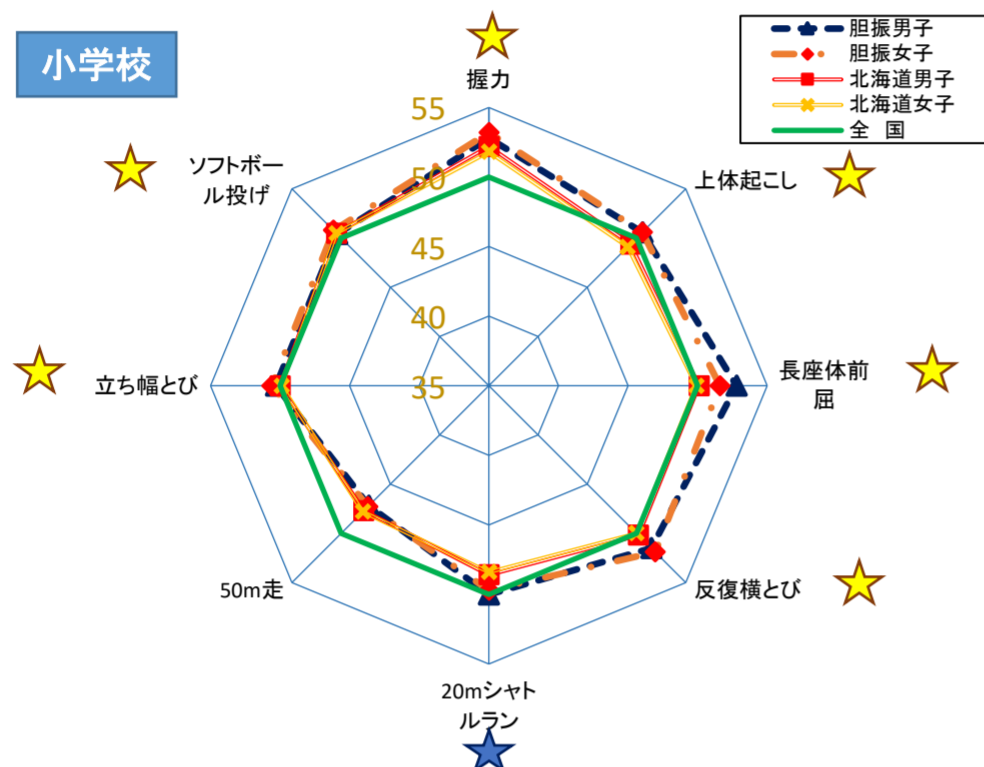
	男子	女子
胆振	52.93	54.97
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
胆振	39.18	44.44
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

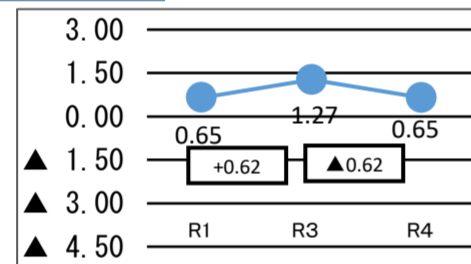
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ★ は男女ともに全国平均以上の種目 ☆ は男子のみ全国平均以上の種目 ☆ は女子のみ全国平均以上の種目

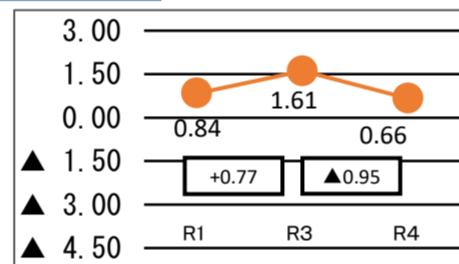


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

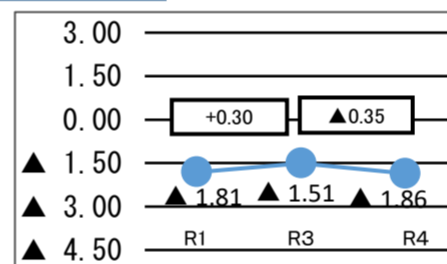
##### 小学校男子



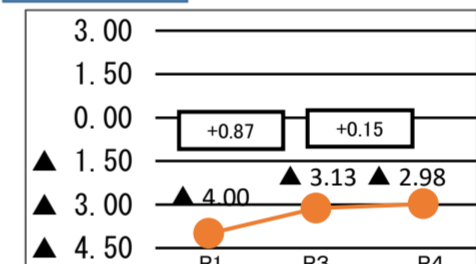
##### 小学校女子



##### 中学校男子



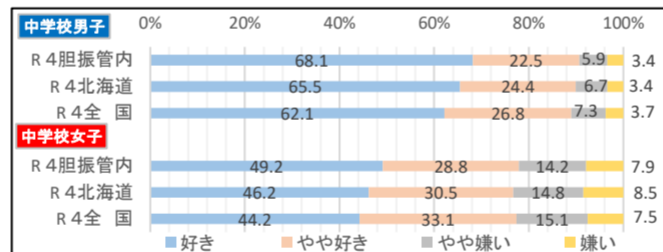
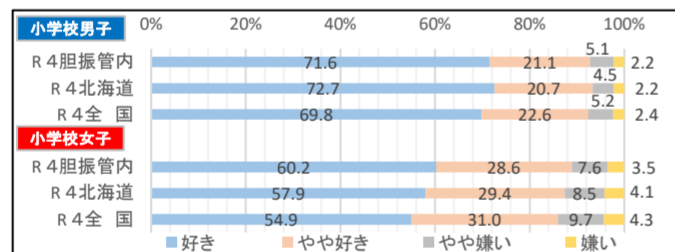
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

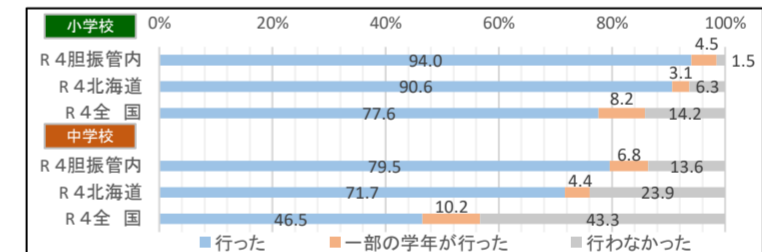
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

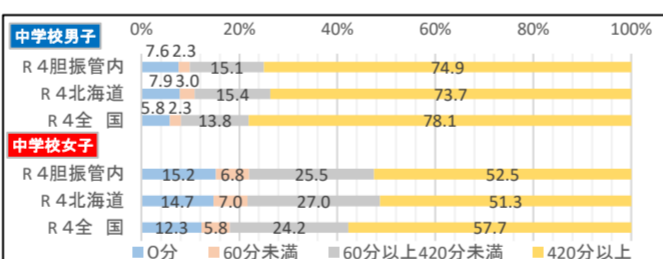
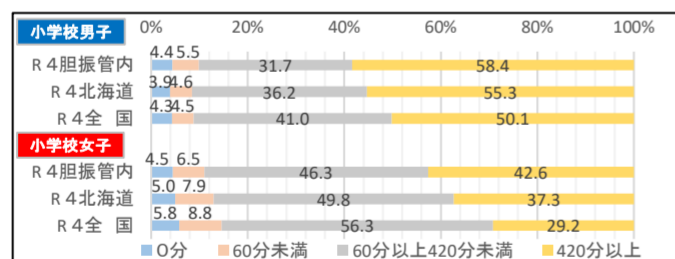


##### <学校質問紙>

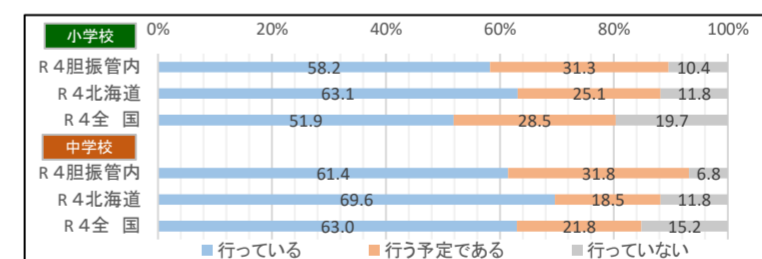
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



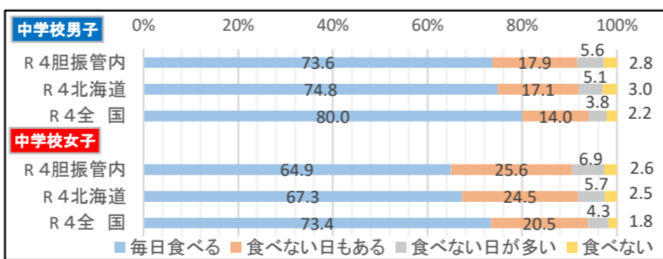
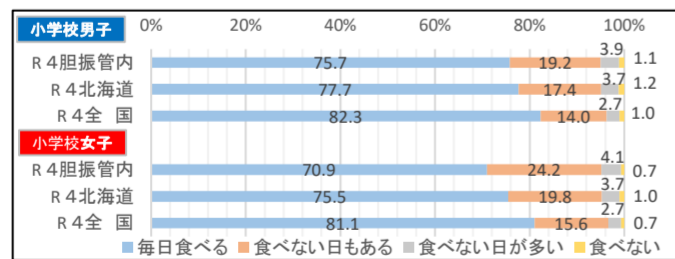
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそののくらの時間していますか。



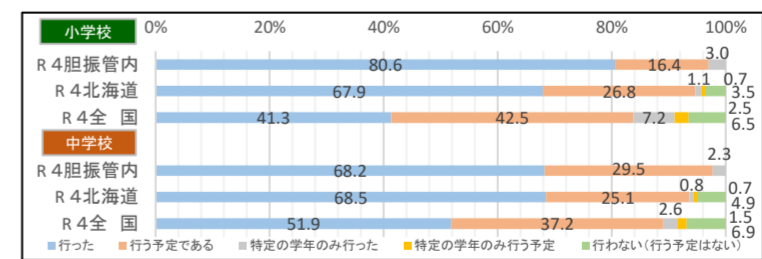
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



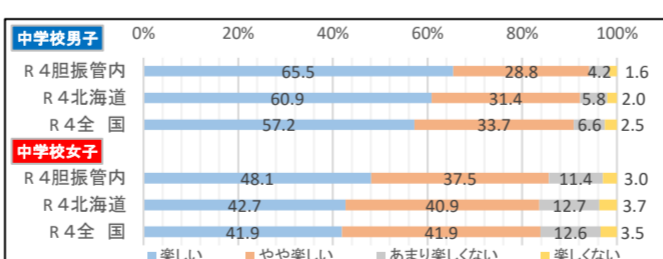
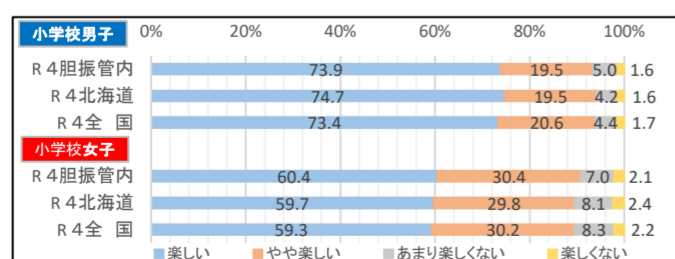
○ 朝食は毎日食べますか。



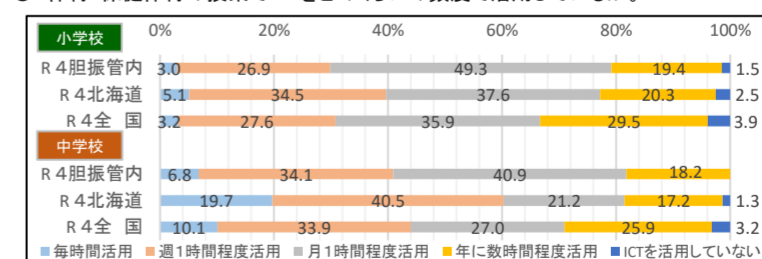
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



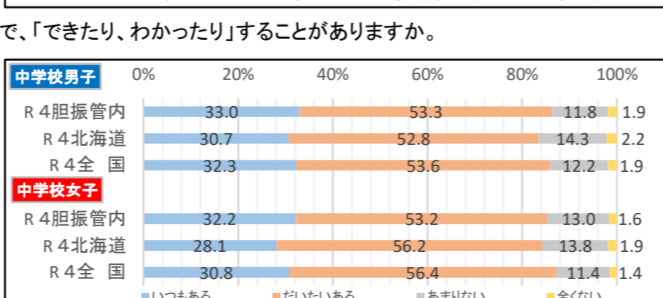
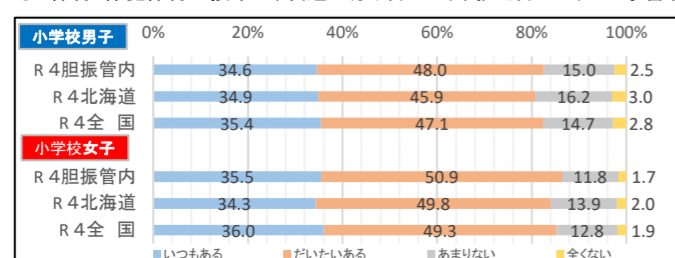
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



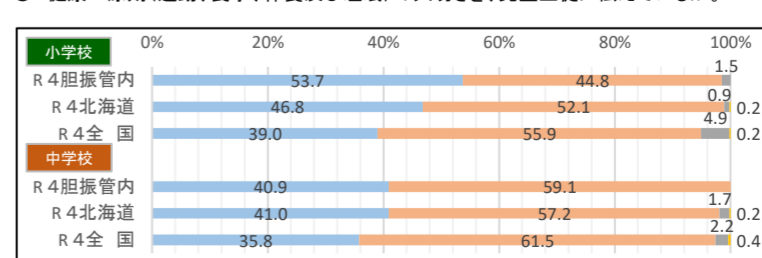
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.65ポイント、女子が0.66ポイント高い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男女いずれも6種目である。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較して、男子が0.62ポイント、女子が0.95ポイント下降している。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.86ポイント、女子が2.98ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が1種目である。</li> <li>○ 体力合計点の全国との差とその推移は、令和3年度と比較して、男子が0.35ポイント下降、女子が0.15ポイント上昇している。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツをすることが好き。」と回答した児童の割合は、全国と比較して男子が1.8ポイント、女子が5.3ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫改善を行った。」と回答した学校の割合は、全国と比較して39.3ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「運動やスポーツをすることが好き。」と回答した生徒の割合は、全国と比較して男子が6.0ポイント、女子が5.0ポイント高い。</li> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫改善を行った。」と回答した学校の割合は、全国と比較して16.3ポイント高い。</li> </ul>

## 胆振管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

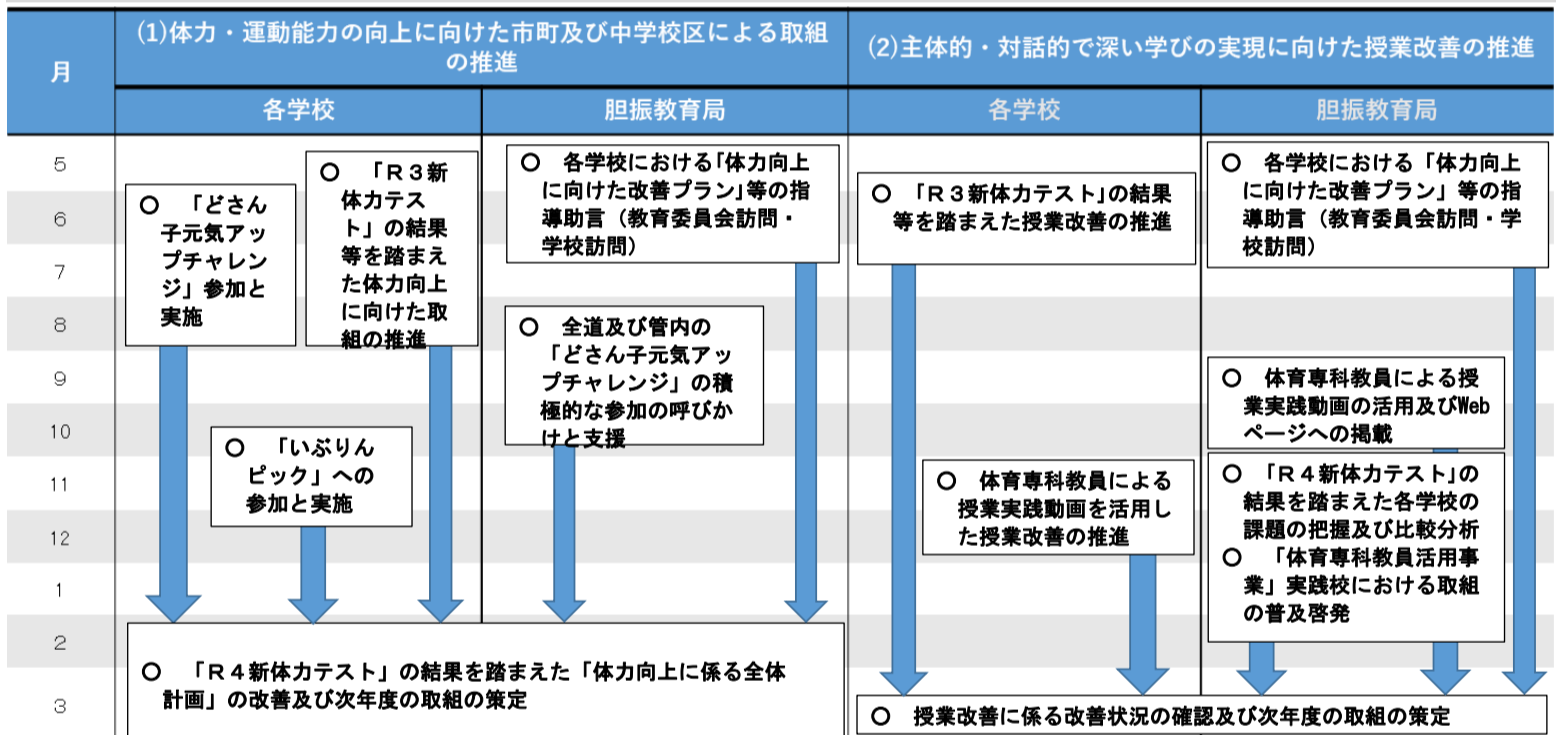
#### (1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進

- 教育課程の実施状況を評価してその改善を図る検証改善サイクルの確立
- 「どさん子元気アップチャレンジ」及び「いぶりンピック」への参加奨励による運動機会の提供

#### (2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進

- ICT等を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- 体育専科教員活用事業及び中学校体力向上推進教員活用事業の成果の普及・啓発
- 体育専科教員による授業実践動画の活用及び胆振教育局Webページへの掲載

### 2 具体的な取組



### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p><b>(1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映している」の項目において、肯定的な回答が小・中学校共に100% (R3結果 小学校…98.6%、中学校…97.7%) R4 小学校…98.5%、中学校93.2%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童・生徒調査票において、「平日（月～金曜日）、学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ているか」の項目において、2時間以上の児童生徒が小・中学校ともに70%以下 (R3結果 小学校…88.6%、中学校…78.4%) R4 小学校男子…81.2%、小学校女子…64.0%、 中学校男子…69.3%、中学校女子…77.8%</p>	<p><b>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行っている」の項目において、肯定的な回答が小・中学校ともに100% (R3結果 小学校…73.9%、中学校…84.1%) R4 小学校…97.1%、中学校…97.8%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校調査票の「体育の授業でICTを活用している場合、ゲームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる参考にするようにしている」の項目において、児童生徒が小・中学校ともに50%以上 (R3結果 小学校…29.0%、中学校…34.1%) R4 小学校…32.4%、中学校…27.3%</p>
--	---

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 体力・運動能力の向上に向けた市町及び中学校区による取組の推進</b></p> <p>○ ①、②において、目標値を下回った内容があることから、引き続き学校教育指導訪問等で客観的指標を踏まえた体力向上の取組の充実について指導するとともに、望ましい電子メディアの利活用に向けた啓蒙活動の推進を市町及び中学校区で取り組む必要がある。</p>	<p><b>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進</b></p> <p>○ ①、②において、改善傾向が見られることから、児童生徒の実態に応じた段階的な運動課題の提示、ICTを効果的に活用した自己や仲間の課題の共有及び協働的に課題解決を図る場面の設定について指導助言するとともに、組織的な授業改善に向け、体育専科教員による授業動画を活用した好事例の普及を図る必要がある。</p>
--	--

# 日高管内の状況

7町

## 小・中学校

(小学校数:26校 児童数:469人、中学校数:14校 生徒数:463)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

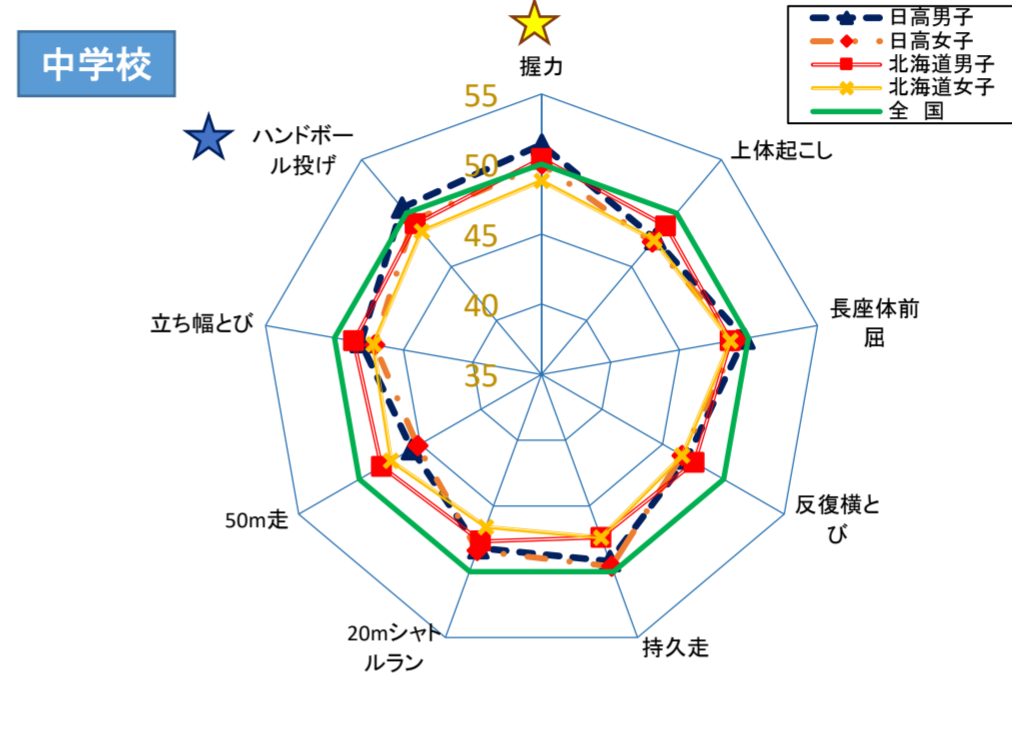
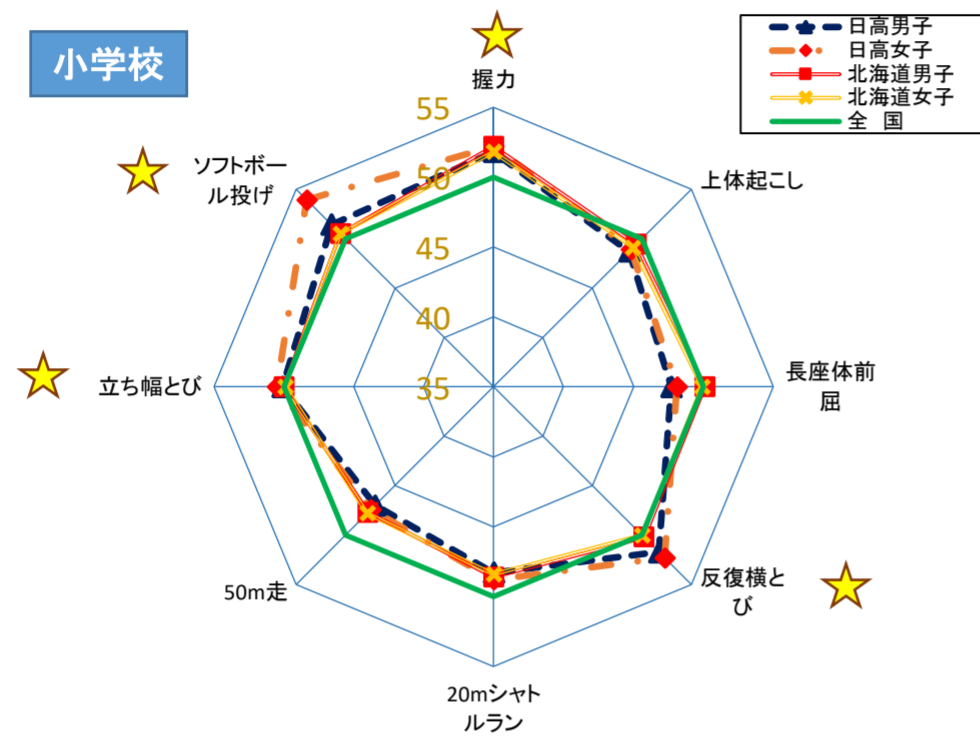
	男子	女子
日高	51.23	54.14
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
日高	38.76	43.79
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

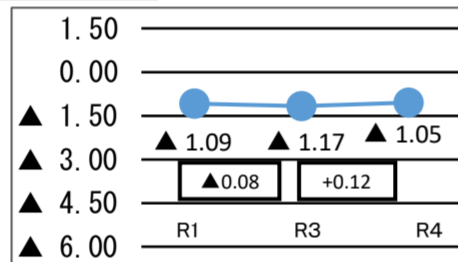
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

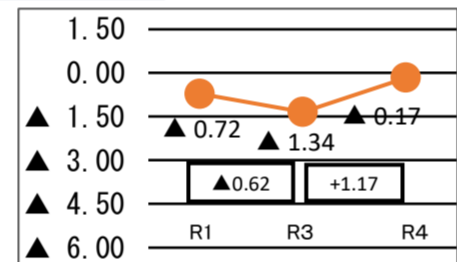


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

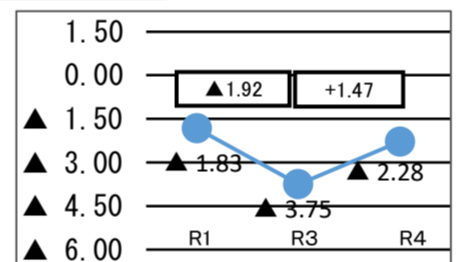
小学校男子



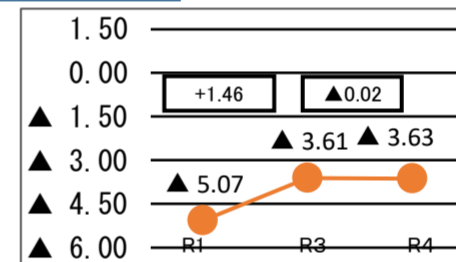
小学校女子



中学校男子



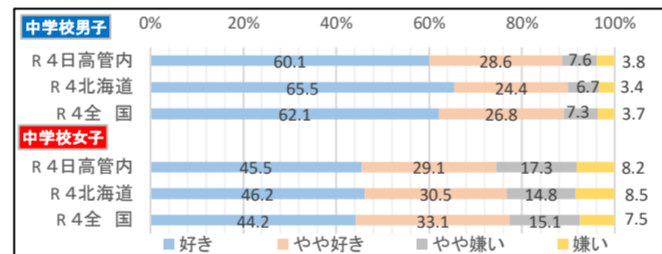
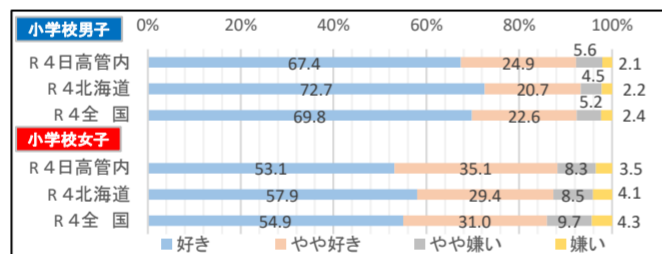
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

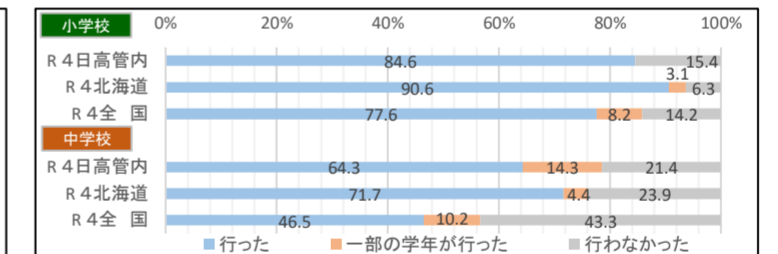
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

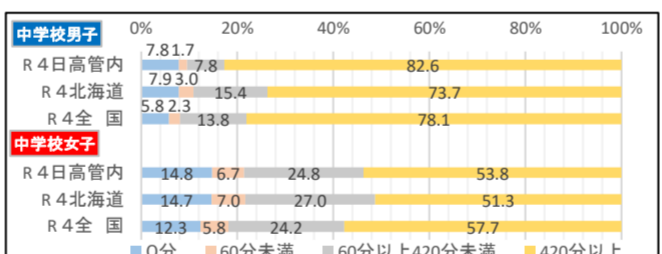
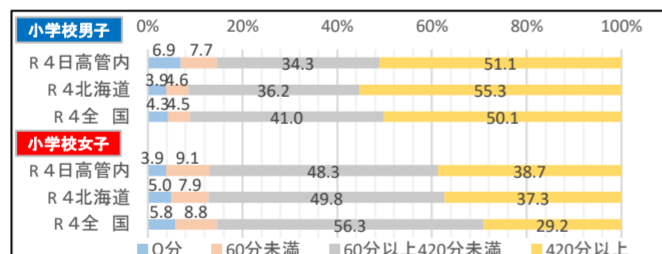


##### <学校質問紙>

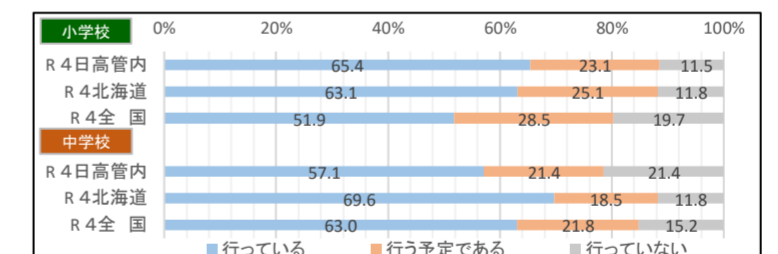
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



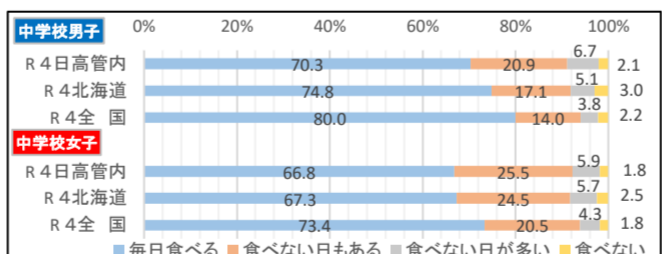
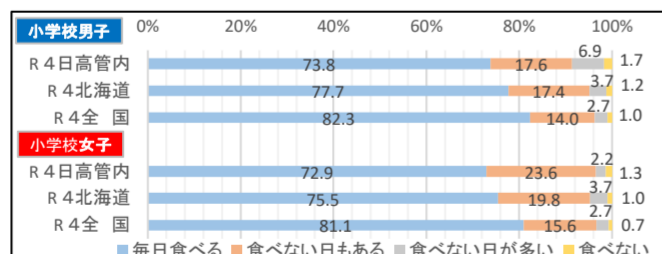
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



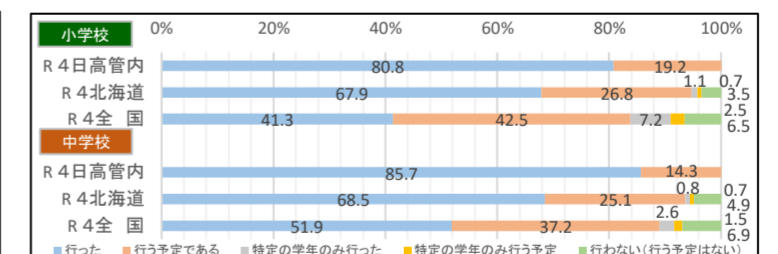
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



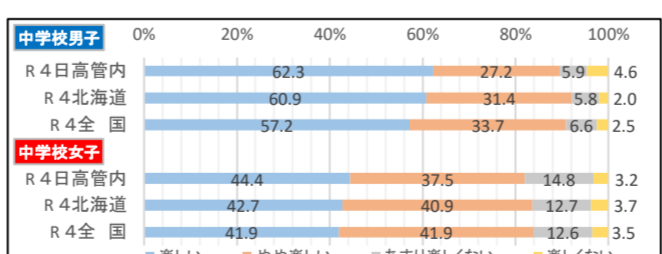
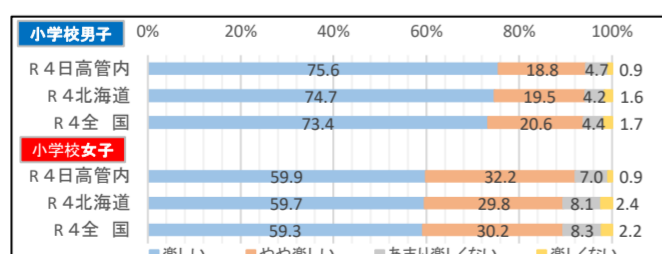
○ 朝食は毎日食べますか。



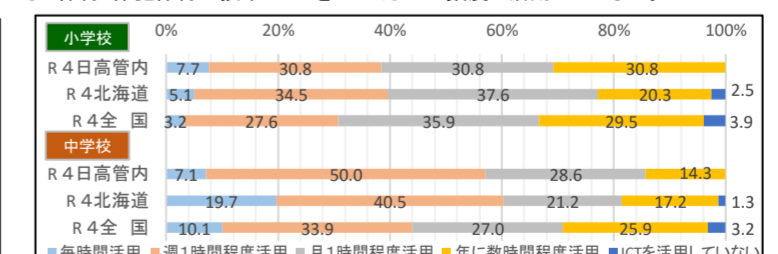
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



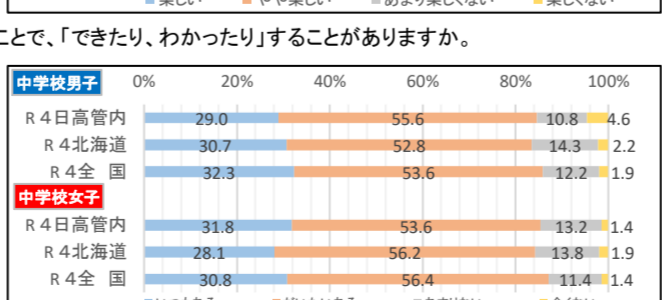
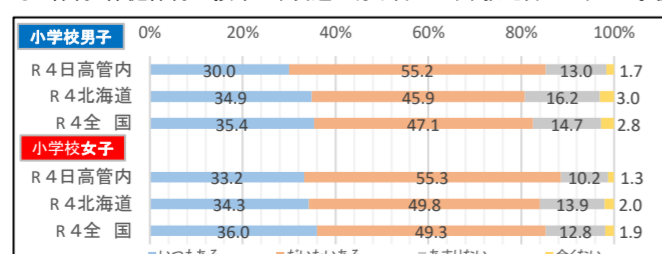
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



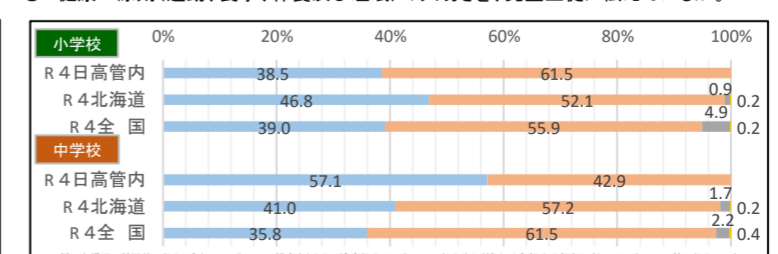
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.05ポイント、女子が0.17ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が0.12ポイント、女子が1.17ポイント、全国との差を縮めた。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が4種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が2.28ポイント、女子が3.63ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男子が1.47ポイント差を縮めているが、女子が0.02ポイント、全国との差を広げた。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が2種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して7.0ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子は2.2ポイント、女子は0.6ポイント高い。</li> <li>○ 「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子は5.4ポイント、女子は2.8ポイント低く、課題である。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して33.8ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子は5.1ポイント、女子は2.5ポイント高い。</li> <li>○ 「体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、女子は1.0ポイント高いが、男子は3.3ポイント低く、課題である。</li> </ul>

## 日高管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築
- 体力向上に係る具体的な方策を十分に明確にした取組を行っていない学校があることから、児童生徒の体力・運動能力に係る特性や状況等にに応じた検証改善サイクルの構築を図る必要がある。
    - 体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定及び検証改善サイクルの構築に係る指導助言
    - 各種調査結果等に基づく、PDCAサイクルの確立による体力向上に係る取組の推進
- (2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実
- 体育科の授業でICT機器を活用する際、学習評価情報を効果的に収集するための授業の振り返りについて課題が見られることから、「個別最適な学び」の視点を取り入れた授業改善を図る必要がある。
    - 児童生徒1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集等を活用した、体育・保健体育科の指導方法について、指導助言
    - 体力向上に係る授業実践とICT機器の効果的な活用を組み合わせたことによる「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現する授業改善の取組の推進
- (3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進
- 体力向上に係る取組を管内に普及することに課題があったことから、多様な専門性をもつ人材と効果的に連携し、体力向上に係る取組について、校内研修等の共通理解を図る場を設定するなどして、組織的・協働的な体力向上に係る取組の普及を推進する必要がある。
    - 小学校体育専科教員や中学校体力向上推進教員等、体力向上に係る多様な人材や関係機関との連携及び協働について、指導助言
    - 体力向上に係る取組や指導方法の工夫等について共通理解を図る校内研修等の取組の推進

### 2 具体的な取組

月	(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築	(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実	(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進
4	小学校体育専科教員・中学校体力向上推進教員との連携、体力向上に係る取組をクラウドストレージ上で共有、授業改善の推進（通年）		
5	義務教育指導監訪における体力向上に係る検証改善サイクルについての指導助言	学校教育指導訪問（1次訪問）における体育・保健体育科の授業でのICT機器の効果的な活用について、指導助言	学校教育指導訪問（1次訪問）で小学校体育専科教員及び中学校体力向上推進教員を含む体力向上に係る学校外の人材の活用について、指導助言
6	学校教育指導訪問（1次訪問）における体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定について指導助言	指導主事の学校教育指導訪問（出張講座）及び町教育委員会主催の研修会等における各学校のICT機器の効果的な活用について、指導助言	
7	第1回北海道体力向上推進会議		
8			
9	学校教育指導訪問（2次訪問）における体力向上の取組の現状分析に基づく、数値目標の設定及び検証改善サイクルの構築について、指導助言	学校教育指導訪問（2次訪問）における児童生徒1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育科の授業での事例集等を活用した、体育・保健体育科の指導方法について、指導助言	学校教育指導訪問（2次訪問）における小学校体育専科教員や中学校体力向上推進教員等、多様な人材や関係機関との連携及び協働について、指導助言
10	第2回北海道体力向上推進会議		
11	どさん子体力アップ強調月間の取組の推進		
12	日高管内教育課程編成協議会		
1	どさん子元気アップチャレンジの取組の推進		
2	小学校体育専科教員、中学校体力向上推進教員による体力向上に係る取組事例の普及		
3	第3回北海道体力向上推進会議		

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p>(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築</p> <p>① 体力向上に係る現状分析に基づく、検証改善サイクルを確立している学校の割合（管内教育推進の重点評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…96.2% 中…80.0%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…96.2% 中…93.3%</li> </ul> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、1週間の総運動時間が60分以上の児童生徒の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査 児童生徒質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…81.7% 中…81.5%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…86.2% 中…84.7%</li> </ul>	<p>(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実</p> <p>① ICT機器の効果的な活用及び教員のICT活用、指導力の一層の向上に取り組んでいる学校の割合（管内教育推進の重点評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…100% 中…86.7%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…100% 中…86.7%</li> </ul> <p>② 体育・保健体育の授業において、ICTを活用している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…100% 中…96.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…100% 中…100%</li> </ul>	<p>(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進</p> <p>① 体育・保健体育の授業において、学校外の人材を活用している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…30.8% 中…69.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…23.1% 中…71.4%</li> </ul> <p>② 自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組に、積極的に参加している学校の割合（全国体力・運動能力、運動習慣等調査学校質問紙結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…69.2% 中…46.7%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…69.2% 中…64.3%</li> </ul>
--	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) A 体力向上に係る検証改善サイクルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1週間の総運動時間が60分以上の児童生徒の割合に課題が見られることから、体力向上に係る取組及び具体的な数値目標の設定の状況について把握するとともに、ゴールを明確にした体力向上の取組を計画的に推進するよう、学校教育指導訪問等で指導・助言を行う必要がある。</li> </ul>	<p>(2) B ICT機器の効果的な活用による指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ICT機器を効果的に活用した体育・保健体育科の授業改善が、児童生徒の体力・運動能力の向上に結びついていない学校があることから、ICT機器を効果的に活用し、自分の体力や運動能力を自己評価し、主体的に改善を図ることができるよう、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から授業改善の取組を推進する必要がある。</li> </ul>	<p>(3) C 多様な人材等と連携した、体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育・保健体育の授業において、学校外の人材を活用している学校の割合に課題があることから、多様な専門性をもつ人材及び家庭や地域住民等と、運動習慣や生活習慣の状況、各学校の体力向上の取組の成果や課題を共有するとともに、各校の実践の成果を参考に、組織的・協働的な体力向上に取り組むよう、指導助言する必要がある。</li> </ul>
--	---	--

# 渡島管内の状況

2市9町

## 小・中学校

(小学校数:77校 児童数:2,537人、中学校数:39校 生徒数:2,384人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

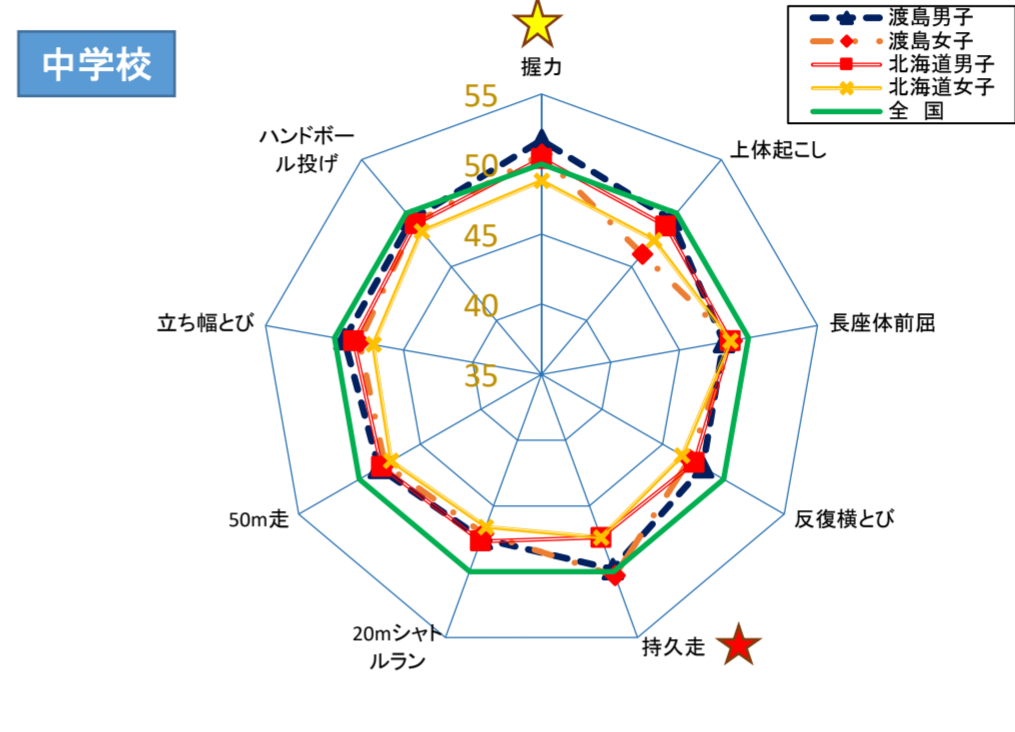
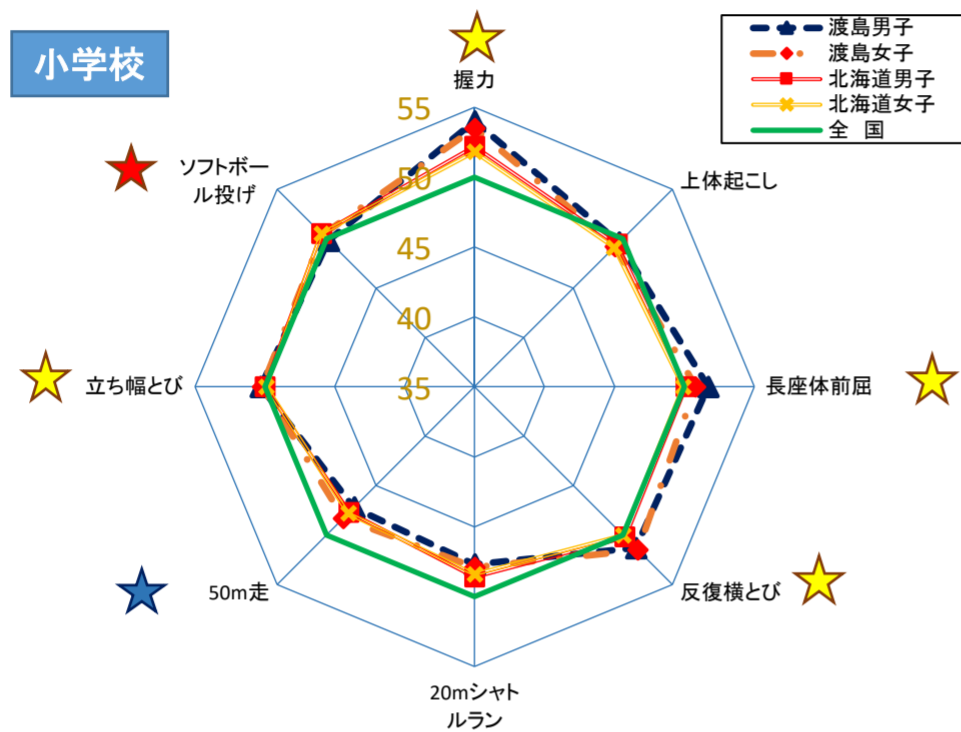
	男子	女子
渡島	52.10	54.25
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
渡島	39.77	44.52
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

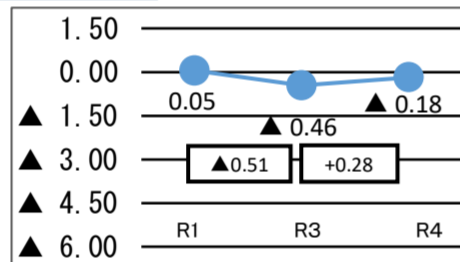
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

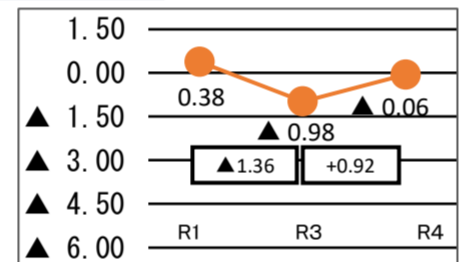


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

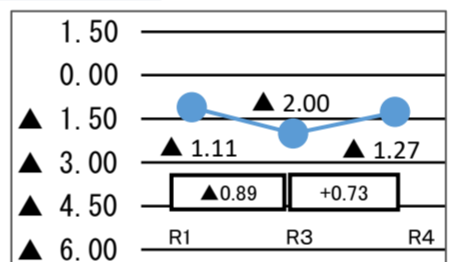
小学校男子



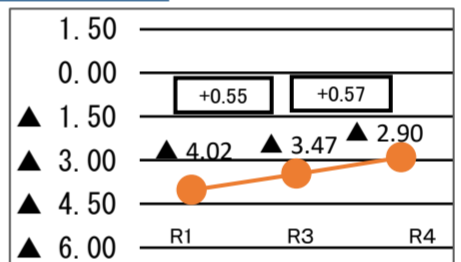
小学校女子



中学校男子



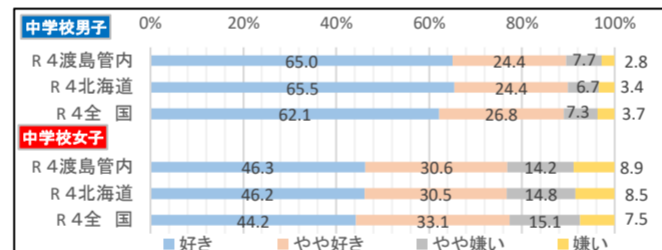
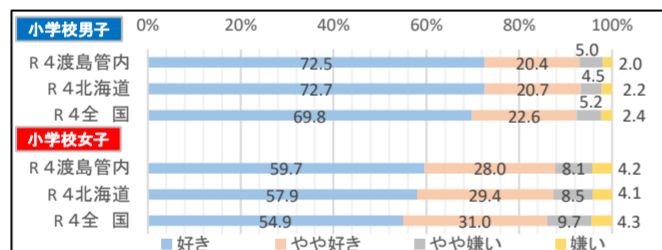
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

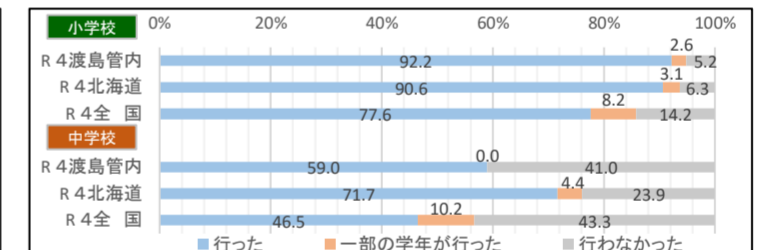
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

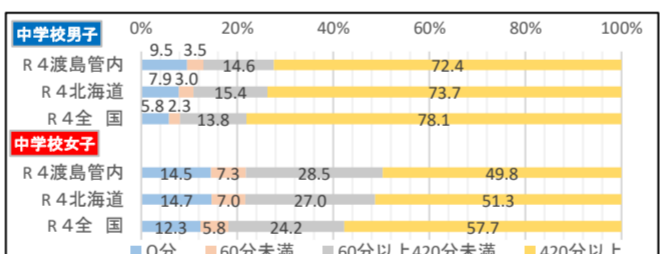
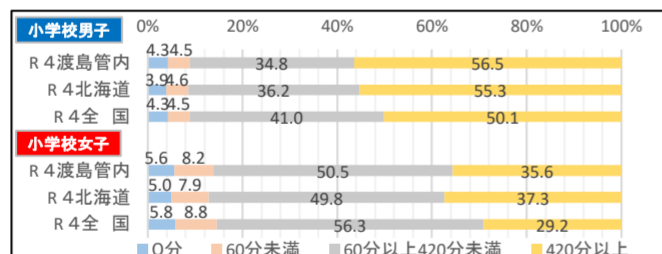


##### <学校質問紙>

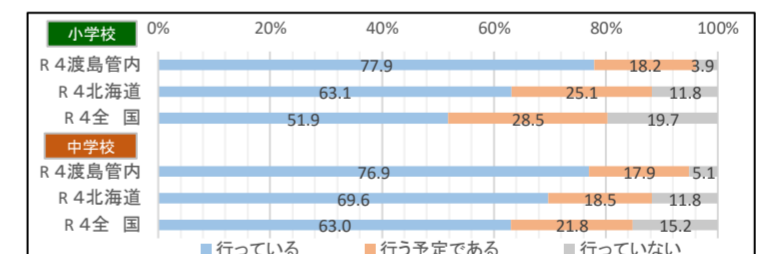
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



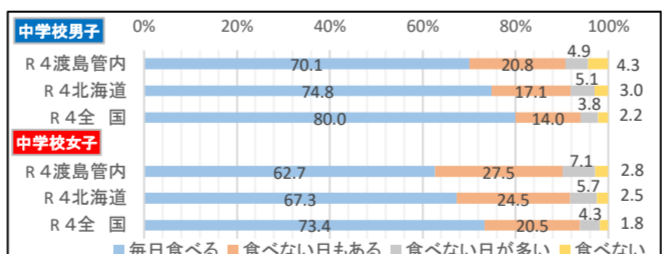
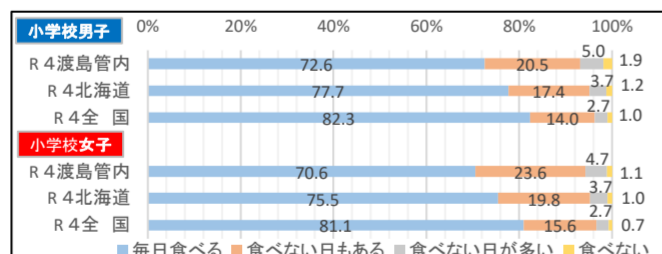
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



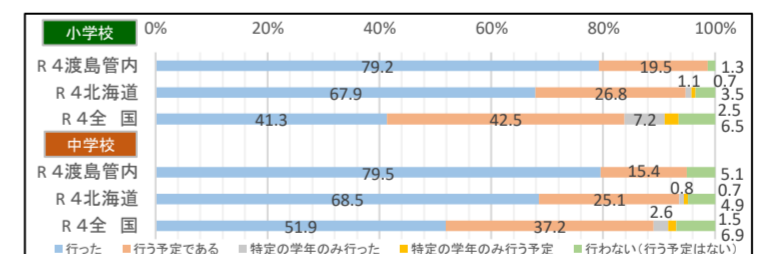
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



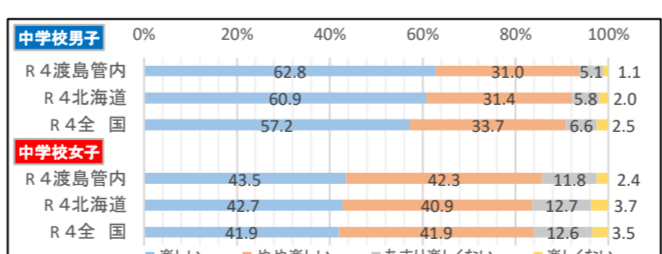
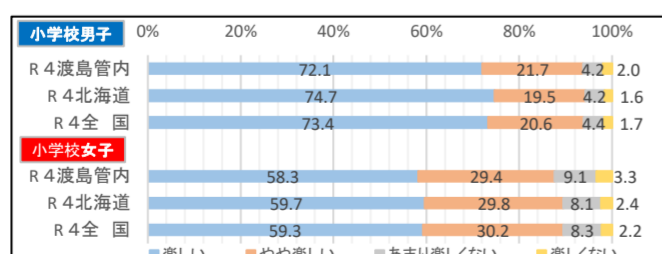
○ 朝食は毎日食べますか。



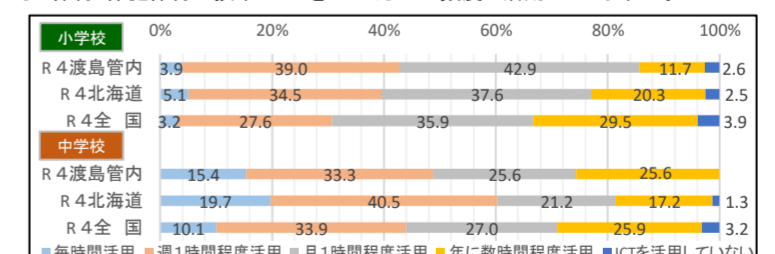
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



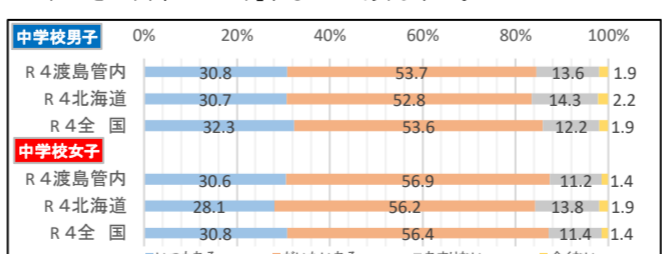
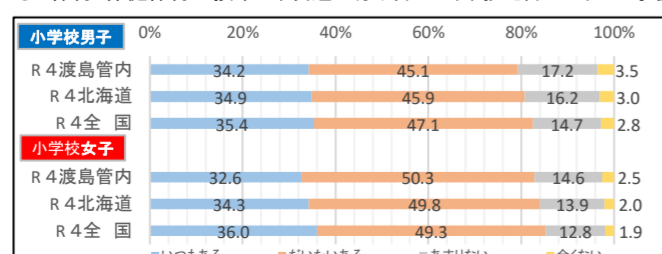
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



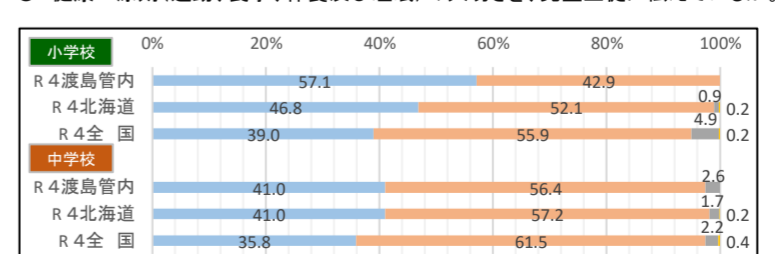
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.18ポイント、女子が0.06ポイント低い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とびの4種目、女子が握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差は、R3調査から、男子が0.28ポイント、女子が0.92ポイント縮まっている。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.27ポイント、女子が2.90ポイント低い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が握力の1種目、女子が握力、持久走の2種目である。</li> <li>○ 体力合計点の差は、R3調査から、男子が0.73ポイント、女子が0.57ポイント縮まっている。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動やスポーツをすることは好きであると回答した児童の割合は、男子が72.5%であり、全国より2.7%高く、女子が59.7%であり全国より4.8%高い。</li> <li>○ 体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合は、92.2%であり、全国より14.6%高い。</li> <li>○ これまでの調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合は、79.2%であり、全国より37.9%高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運動やスポーツをすることは好きであると回答した生徒の割合は、男子が65.0%であり、全国より2.9%高く、女子が46.3%であり全国より2.1%高い。</li> <li>○ 保健体育授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合は、59.0%であり、全国より12.5%高い。</li> <li>○ これまでの調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った学校の割合は、79.5%であり、全国より27.6%高い。</li> </ul>

## 渡島管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) A 検証改善サイクルの確立

- 児童生徒の体力・運動能力についての実態把握に基づいた目標を学年別に設定するとともに、児童生徒の個々の体力向上に係る課題設定及び課題解決を図る取組を推進する。
- 新体力テストの結果を活用した授業等の工夫・改善を図るため、全学年の年間指導計画に新体力テストの全種目実施を位置付けるとともに、児童生徒の実態を継続的に把握して学校全体の課題を分析し、体力・運動能力の向上を図る授業の構築を図る。

#### (2) B 体育・保健体育科の授業改善

- 授業において、資質・能力の育成に向けてICTを効果的に活用した授業改善を図る。
- 体育専科教員活用事業、体育エキスパート教員巡回指導事業、中学校体力向上推進事業における取組を、各学校の授業改善に直結する効果的な実践事例として普及する。

#### (3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立

- 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の大切さを理解させることができるよう、栄養教諭、養護教諭と連携した生活習慣及び運動習慣の改善に向けた授業づくりを推進する。
- 体育の授業以外における運動の機会を拡大するため、保護者や地域住民等と連携するとともに、日常的な運動の機会を設定し、望ましい生活習慣及び運動習慣の確立のための取組を推進する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルの確立	(2)B 体育・保健体育科の授業改善	(3)C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立
4			
5	・学校教育指導における指導助言		・学校教育指導における指導助言
6	① 児童生徒の体力・運動能力についての実態把握に基づいた目標を学年別に設定することについての指導助言	・学校教育指導における指導助言 授業において、資質・能力の育成に向けてICTを効果的に活用した授業改善についての指導助言	① 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の大切さを理解させることができるよう、栄養教諭、養護教諭を中心とした生活習慣及び運動習慣の改善を図る授業の構築を普及
7	② 全学年の年間計画に新体力テストの全種目実施を位置付けるとともに、児童生徒の実態を継続的に把握して学校全体の課題を分析し、体力・運動能力の向上を図る授業等の工夫・改善を推進する取組について指導助言		② 体育の授業以外の運動機会の設定についての指導助言
8			・どさん子元気アップチャレンジについて各市町教育委員会へ周知
9	・学校教育指導における指導助言	・学校教育指導において新体力テストの結果を活用した授業改善の状況に応じて指導助言	
10	① 新体力テストの結果を活用した体力向上策の検証改善状況の把握及び指導助言	・授業実践スペシャリストを活用した実践セミナーを基に、児童生徒の体力や運動能力を高める効果的な授業モデルを提示	
11	② 新体力テストの結果分析を生かした教育課程の改善に向けた指導助言	・体育エキスパート教員及び体育専科教員の公開授業を基に、児童生徒の体力や運動能力を高める効果的な授業モデルを普及	
12	・体育エキスパート教員及び体育専科教員の公開授業の際に、検証改善サイクルの確立に向けた説明を実施		・冬期間の望ましい生活習慣・運動習慣の確立に向けた学校への指導助言
1			
2	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果分析及び体力向上策の検証改善に向けた指導助言	・体育エキスパート教員及び体育専科教員を活用した授業改善の事例を管内に周知	
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 検証改善サイクルの確立</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「調査結果を踏まえ年間指導計画の改善に反映した」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%以上とする。</p> <p>■小学校96%、中学校87%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行なった」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%以上とする。</p> <p>■小学校99%、中学校95%</p>	<p><b>(2) B 体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「体育指導及び保健体育の授業でICTを活用している」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに90%とする。</p> <p>■小学校97%、中学校100%</p>	<p><b>(3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立</b></p> <p>① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「運動やスポーツ、児童生徒の体力について家庭と連携する取組を行っている」と回答する学校の割合を、小・中学校ともに80%以上とする。</p> <p>■小学校97%、中学校87%</p> <p>② 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「体育授業以外での、体力・運動能力の向上に係る取組を行っている」と回答する学校の割合を、小学校80%以上、中学校60%以上とする。</p> <p>■小学校95%、中学校59%</p>
--	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) A 検証改善サイクルの確立</b></p> <p>○ 体力向上に向けた検証改善サイクルの確立のために、把握した児童生徒の体力の状況に基づいて目標を新たに設定するとともに、児童生徒一人一人の課題解決を図る取組を充実させる必要がある。</p> <p>○ 新体力テストの結果を活用した授業等の工夫・改善を図るために、児童生徒の実態を継続的に把握するとともに、体力・運動能力の向上を図る授業を構築する必要がある。</p>	<p><b>(2) B 体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>○ 身に付けさせたい資質・能力の確実な育成に向けた授業改善を促進させるために、ICTを積極的に活用し、各領域の特質に応じた学習活動を実践する必要がある。</p> <p>○ 体力向上に向けた授業改善を促進させるために、体育専科教員活用事業、体育エキスパート教員巡回指導事業、中学校体力向上推進事業における授業実践事例の普及を図る必要がある。</p>	<p><b>(3) C 望ましい生活習慣、運動習慣の確立</b></p> <p>○ 健康の三原則である「運動」「食事」「睡眠」の理解を深めるために、栄養教諭、養護教諭と連携した授業の構築を推進する必要がある。</p> <p>○ 望ましい生活習慣、運動習慣の確立のために、「どさん子元気アップ強調月間」における各種団体等と連携した取組など、体育の授業以外における運動機会の拡大に向けて、保護者や地域等と連携した取組を推進する必要がある。</p>
--	--	---

# 檜山管内の状況

7町

## 小・中学校

(小学校数:17校 児童数:208人、中学校数:10校 生徒数:180)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

	男子	女子
檜山	54.55	57.09
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

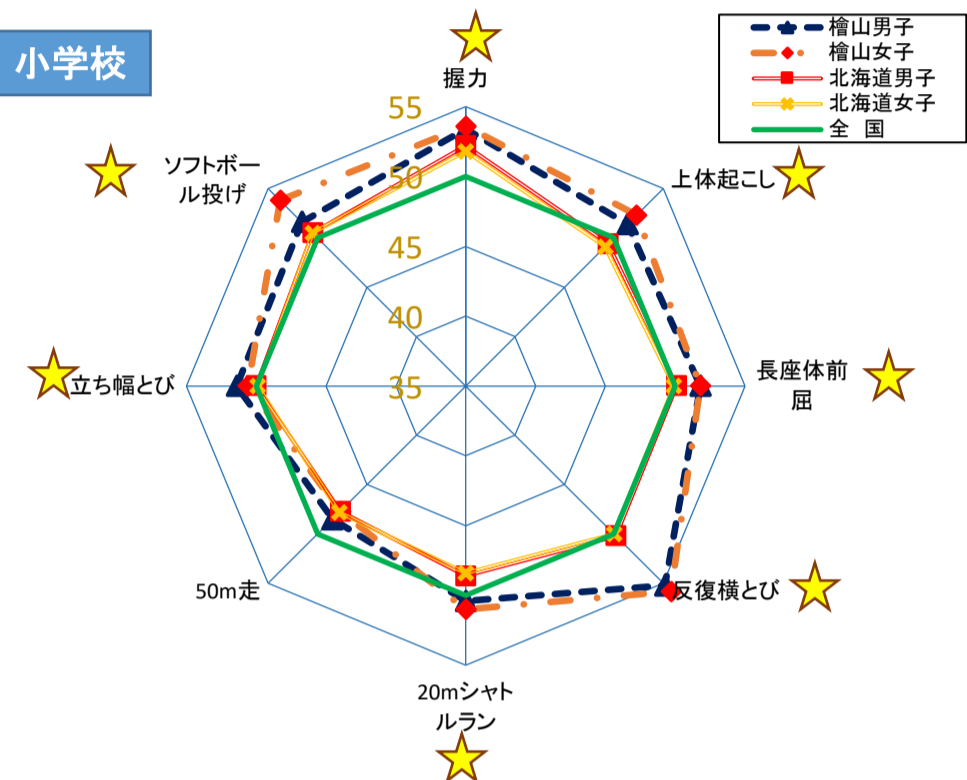
##### ○ 中学校

	男子	女子
檜山	42.13	47.72
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

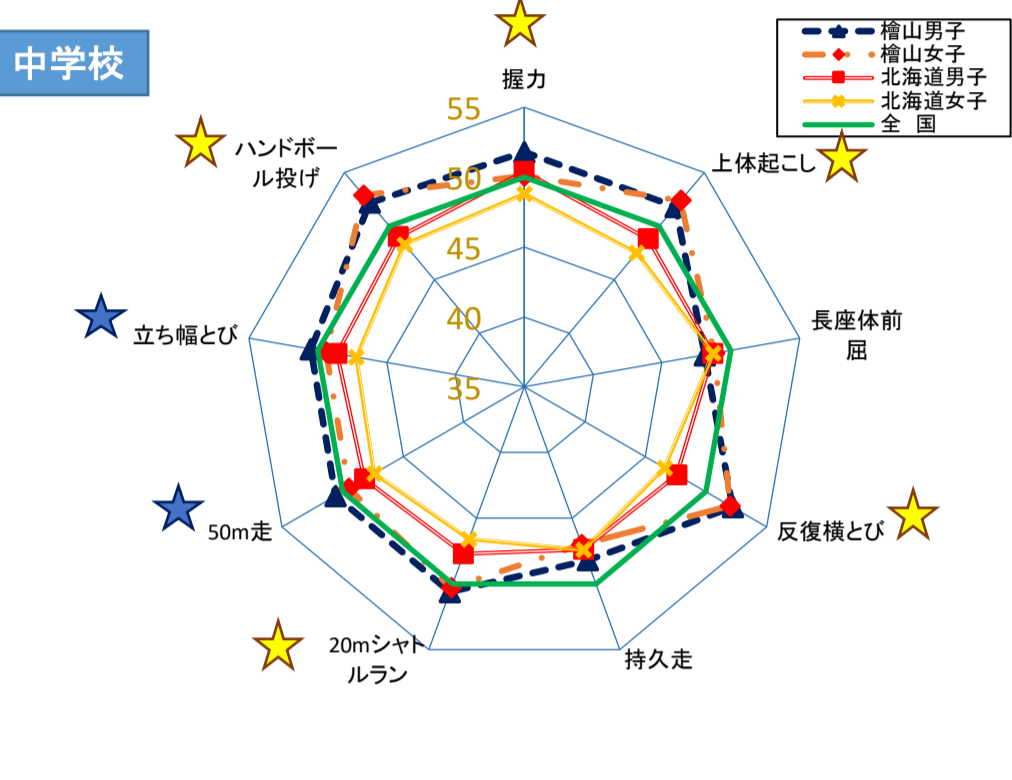
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ★ は男女ともに全国平均以上の種目 ☆ は男子のみ全国平均以上の種目 ☆ は女子のみ全国平均以上の種目

##### 小学校

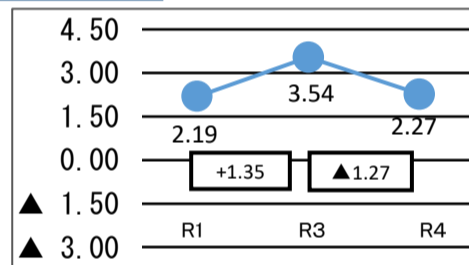


##### 中学校

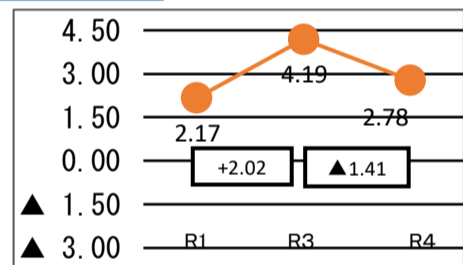


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

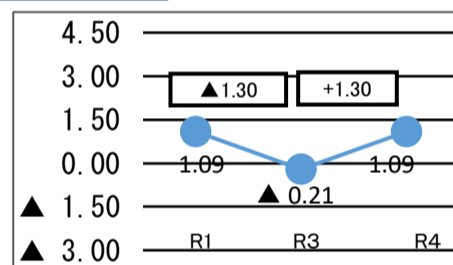
##### 小学校男子



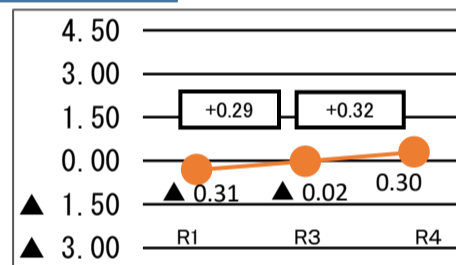
##### 小学校女子



##### 中学校男子



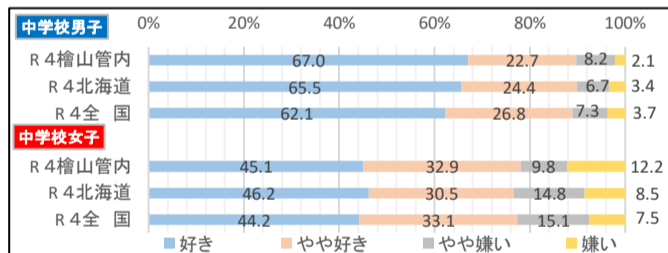
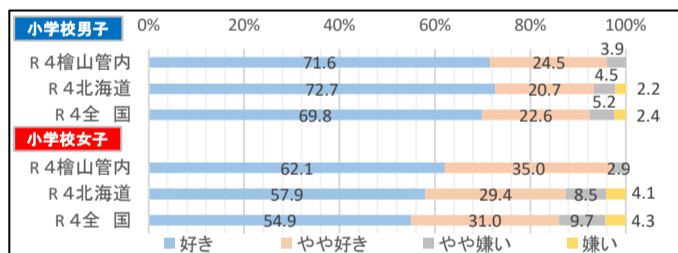
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

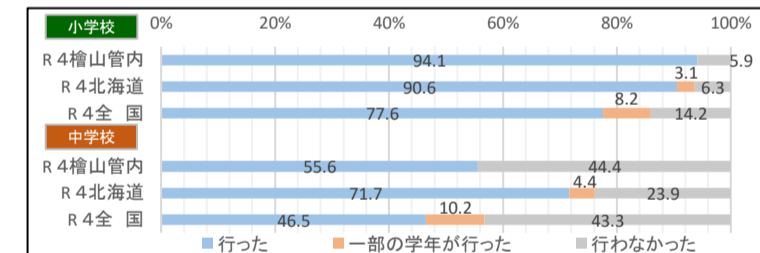
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

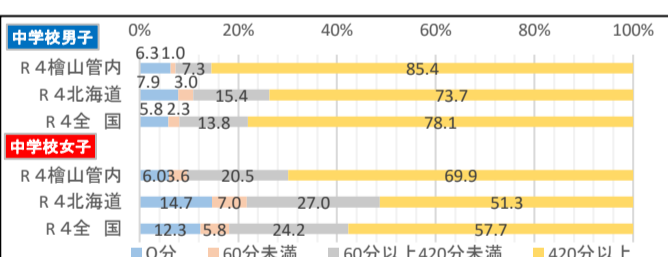
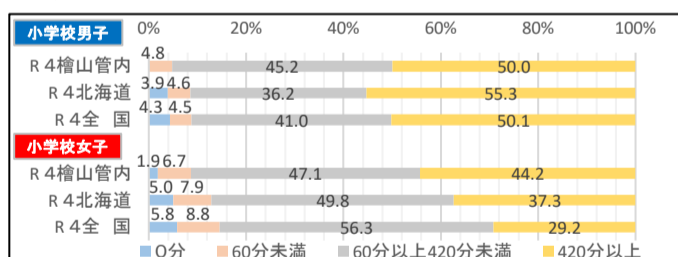


##### <学校質問紙>

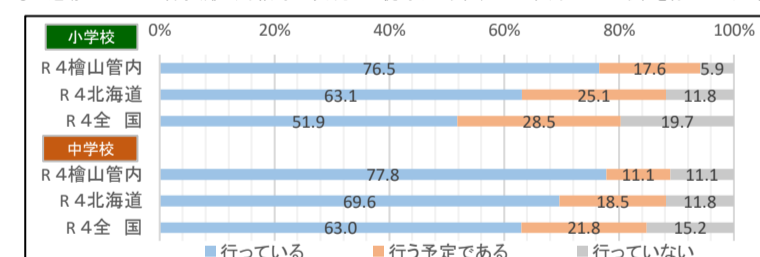
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



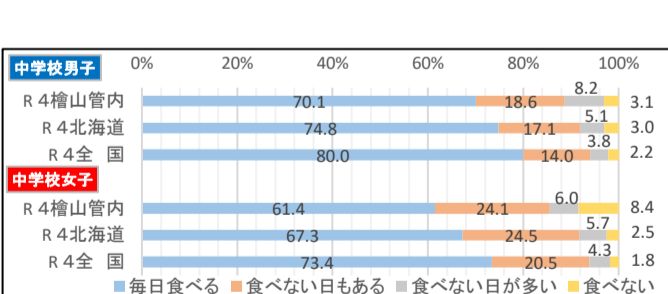
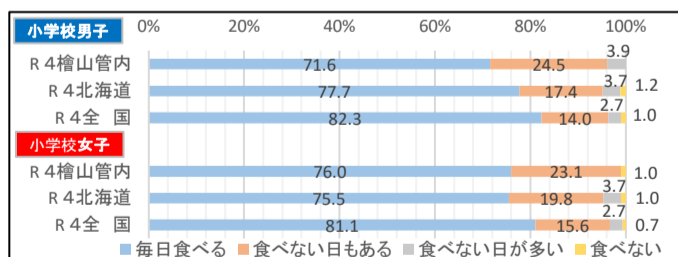
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそののくらの時間していますか。



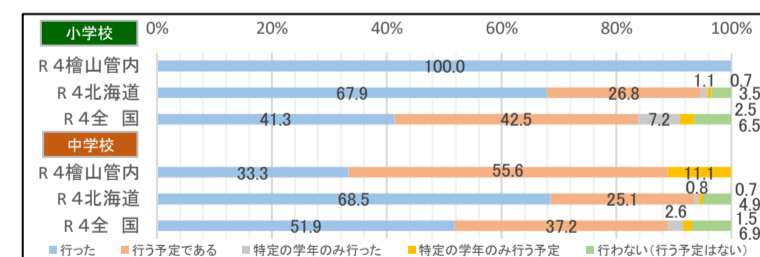
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



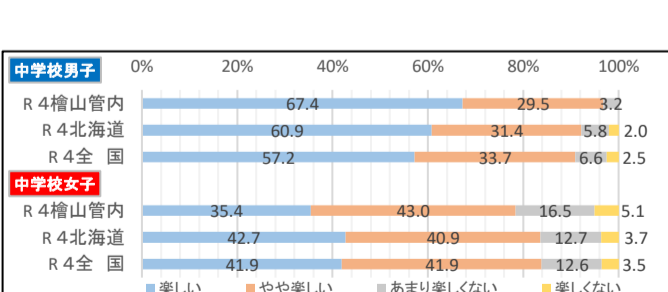
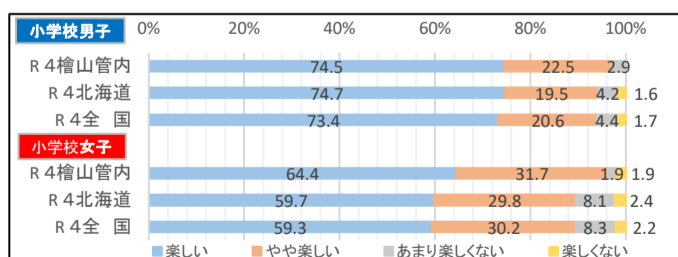
○ 朝食は毎日食べますか。



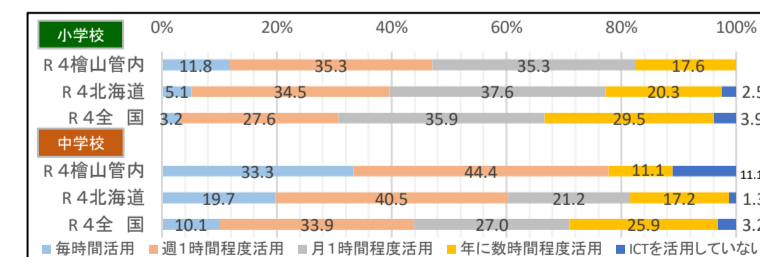
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



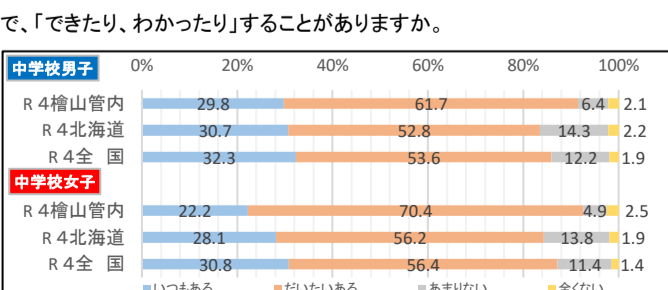
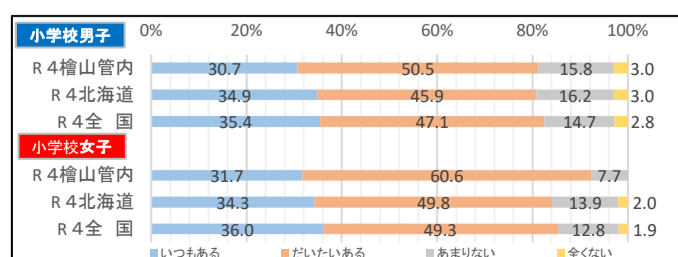
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



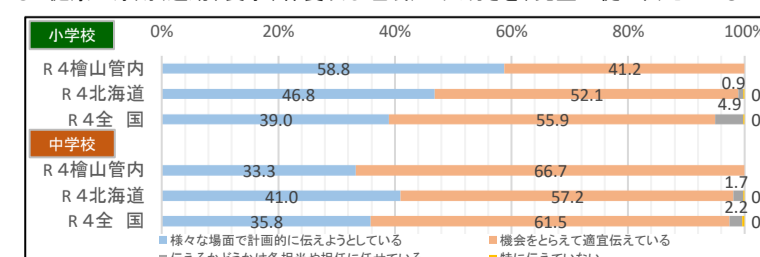
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小学校 ＞	＜ 中学校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 管内の全ての小学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったことにより、体力合計点が全国平均より男子で2.27ポイント、女子では2.78ポイント上回るとともに、男女の長座体前屈において新たに全国平均を上回ったと考えられる。</p>	<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 管内の多くの中学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、体力合計点が全国平均より男子で1.09ポイント、女子で0.30ポイント上回るとともに、男子の立ち幅跳びと50m走と女子の20mシャトルランにおいて新たに全国平均を上回ったと考えられる。</p>
<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 管内の多くの小学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、運動に対する理解や自信を深め、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童の割合が昨年度より12.3%上回ったと考えられる。</p>	<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 管内の多くの中学校において、運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組を進めたことにより、運動に対する理解や自信を深め、「自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童の割合が昨年度より11.3%上回ったと考えられる。</p>

## 檜山管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成**
- 児童生徒が主体的に運動に取り組むために、他者評価を活用するなどして、最後まで粘り強く取り組むよう指導助言する。
  - 運動に対して「する・みる・支える・知る」等の多様な関わり方により、発達の段階に応じた資質・能力を身に付く指導の充実を図るよう指導助言する。
- (2) B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり**
- 児童生徒が自分の成長を実感するために、子ども一人一人の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析結果をもとに、一人一人の児童生徒の実態に即したきめ細かな指導をするよう指導助言する。
  - 自分の成長を実感できる場面を取り入れた授業改善を進めるよう指導助言する。
- (3) C 学びをつなぐ学校間の連携の強化**
- 体力向上の取組を効率的に進めるために、中学校区における課題を共有したり、明確にしたりすることで、専門性の高い授業づくりを進めるよう指導助言する。
  - 体育専科教員や中学校体力向上推進教員が中心となり、体力・運動能力を高める視点を取り入れた授業づくりの方法を管内に積極的に発信することで、管内の授業の質の向上を図るよう指導助言する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A新たな時代に対応できる資質・能力の育成	(2)B一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり	(3)C学びをつなぐ学校間の連携の強化
4		<b>オール檜山「学び合い」プロジェクトを活用した新体カテストに係る研修の実施</b>	
5			
6	<b>全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施</b>		
7			
8		<b>要請訪問(学校教育指導訪問)</b>	
9			
10	<b>どさん子元気アップチャレンジや運動習慣形成プログラム「ススンde運動」を参考にした体力向上や運動習慣の形成に向けた取組の実施</b>		
11		<b>中学校体力向上推進教員を活用したミニ研修の実施</b>	
12			
1			
2	<b>体力調査結果に基づく教育課程及び指導方法の改善</b>		
3			

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成</b></p> <p>① 「自分にはよいところがある(肯定的評価)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小73.2% 中71.3%</li> <li>・目標 小85.0% 中85.0%</li> <li>・達成 小85.5% 中82.6%</li> </ul> <p>② 「体育の授業では、助け合ったり役割を果たしたりする活動を取り入れている(よく行った)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小45.0% 中40.0%</li> <li>・目標 小85.0% 中85.0%</li> <li>・達成 小41.2% 中44.4%</li> </ul>	<p><b>(2) B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり</b></p> <p>① 「授業の中でできたり、わかったりすることがありますか。(肯定的評価)」4項目の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小80.0% 中73.5%</li> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小78.7% 中80.3%</li> </ul> <p>② 調査結果を踏まえた授業等の工夫、改善を行ったか。(行ったの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小85.0% 中80.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小100% 中100%</li> </ul>	<p><b>(3) C 学びをつなぐ学校間の連携の強化</b></p> <p>① 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。(肯定的に評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標 小90.0% 中90.0%</li> <li>・達成 小95.2% 中88.3%</li> </ul> <p>② 自分の体力・向上に係る取組を反映させるために校外の研修や研究会に積極的に参加していますか。(肯定的に評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小90.0% 中60.0%</li> <li>・目標 小100% 中100%</li> <li>・達成 小94.1% 中77.8%</li> </ul>
---	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>A 新たな時代に対応できる資質・能力の育成</b></p> <p>自分の良さを実感できない児童生徒が依然としていることから、児童生徒が「できたり、わかったりする」成功体験や達成感を多く味わうことができるよう、研修会等への積極的な参加を呼びかけ、授業の工夫・改善を進める必要がある。</p> <p>※オール檜山「学び合い」プロジェクト等における体育の授業づくりに係る研修会の実施。</p> <p>※学校訪問等での優れた実践の紹介</p>	<p><b>B 一人一人に寄り添ったきめ細かな授業づくり</b></p> <p>「授業の中でできたり、わかったりする」ことが感じられない児童生徒の割合が一定数あり、特に「ICTを活用してできたり、わかったりする」児童生徒の割合が低いことから、練習前と後の自身の様子を動画で撮影し、自身の実容を感じられるよう、ICTを効果的に活用した授業の工夫・改善を進める必要がある。</p> <p>※児童生徒の1人1台のICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集(スポーツ庁作成)の紹介と活用の促進</p> <p>※学校訪問等でのICTを効果的に活用した優れた実践の紹介</p>	<p><b>C 学びをつなぐ学校間の連携の強化</b></p> <p>体育の授業で、進んで学習に参加している児童生徒の割合において、小学校と中学校の割合に差が見られることから、中学校区で目指す授業像を共有するなどの連携を図ることに、児童生徒が進んで学習に参加できる授業の工夫・改善を進める必要がある。また、校外の研修や研究会への積極的な参加の割合においても、小学校と中学校で差が見られることから、研修等への参加を促すとともに、体育専科教員を中心とした授業交流を図る必要がある。</p> <p>※オール檜山「学び合い」プロジェクト等の研修機会の充実や参加の促進</p>
---	--	---

# 上川管内の状況

4市17町2村

## 小・中学校

(小学校数:113校 児童数:3,483人、中学校数:61校 生徒数:3,318)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

##### ○ 小学校

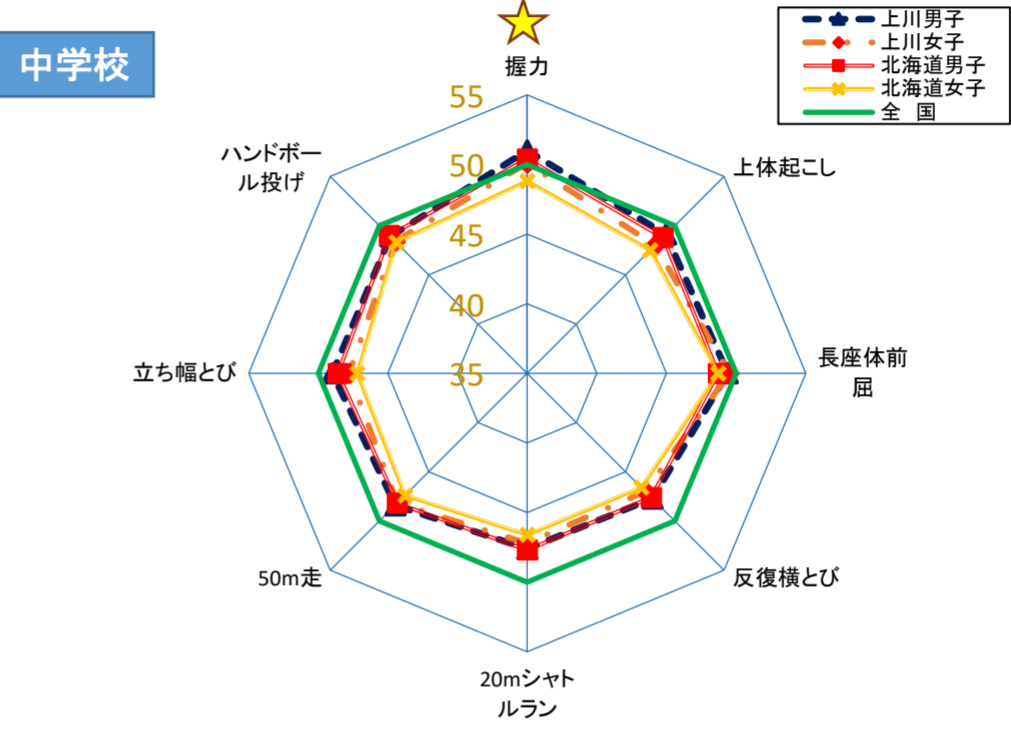
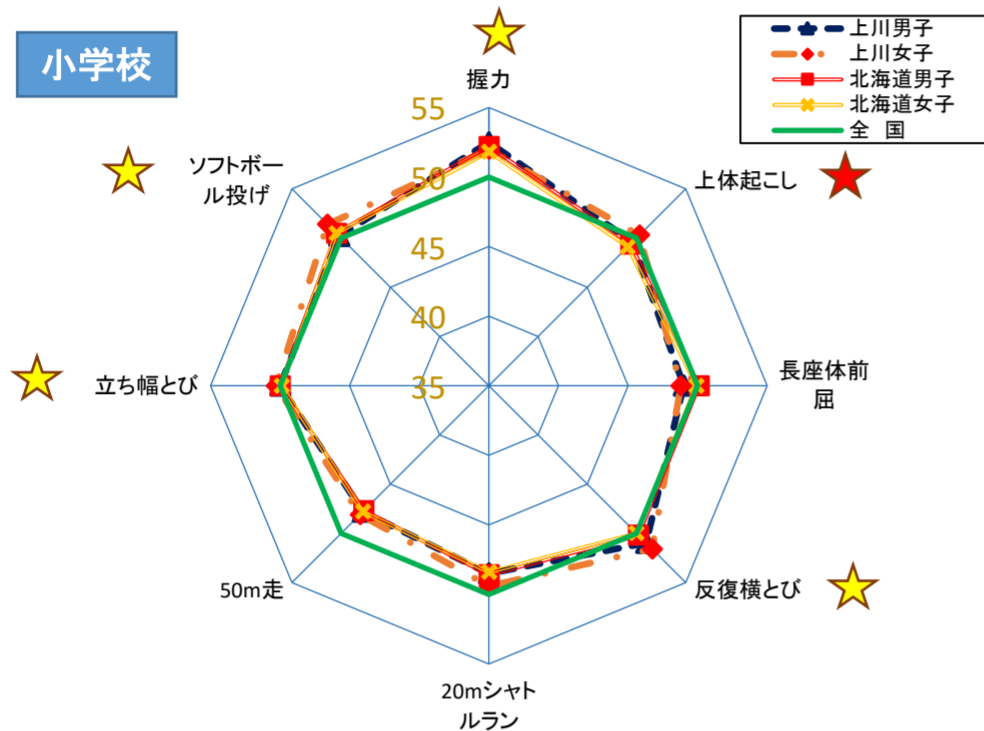
	男子	女子
上川	51.71	54.46
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

##### ○ 中学校

	男子	女子
上川	39.39	44.78
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

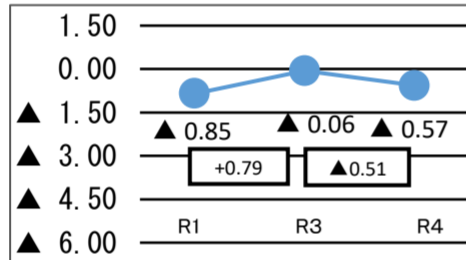
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

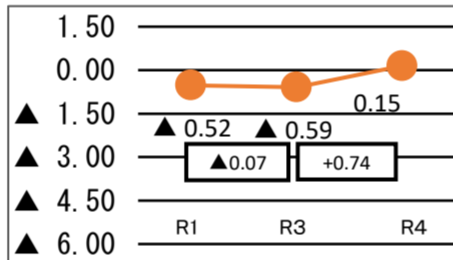


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

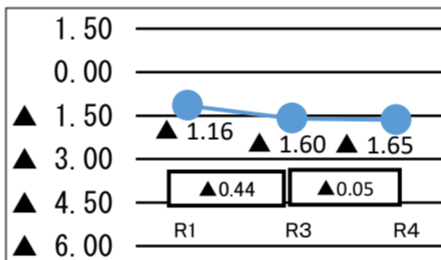
##### 小学校男子



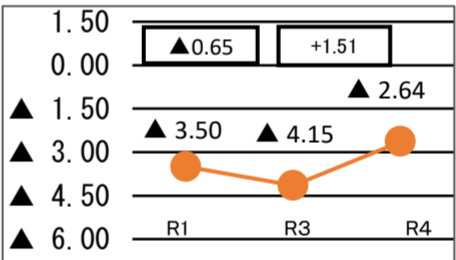
##### 小学校女子



##### 中学校男子



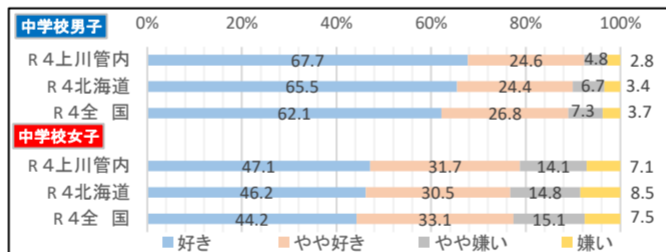
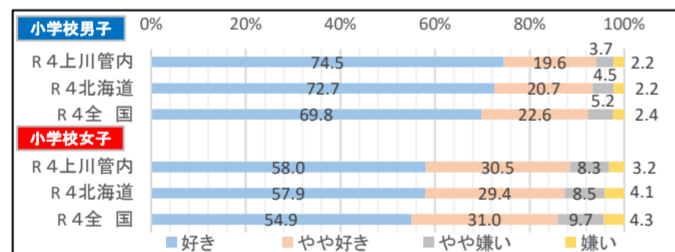
##### 中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

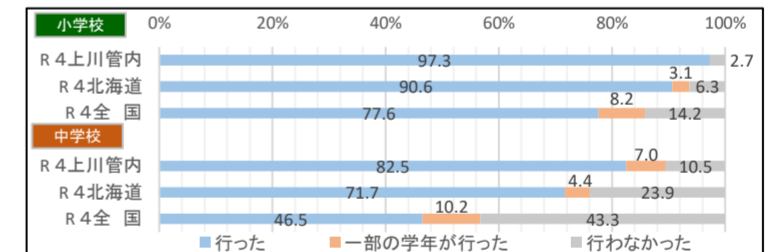
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

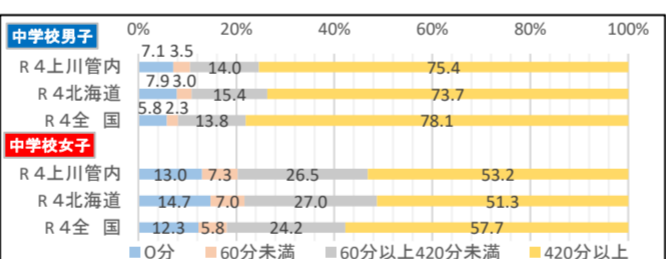
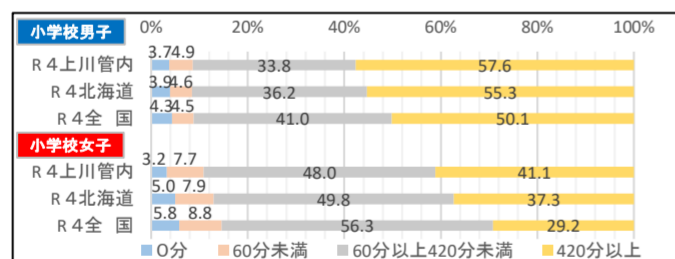


##### <学校質問紙>

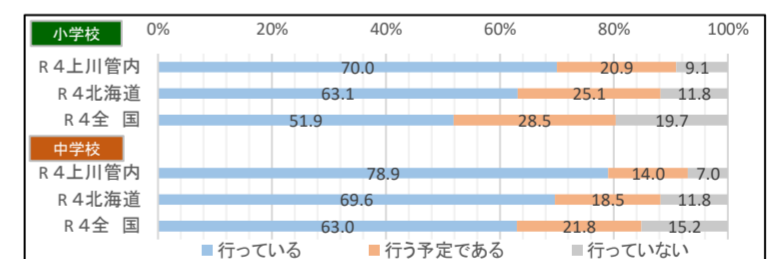
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行っていますか。



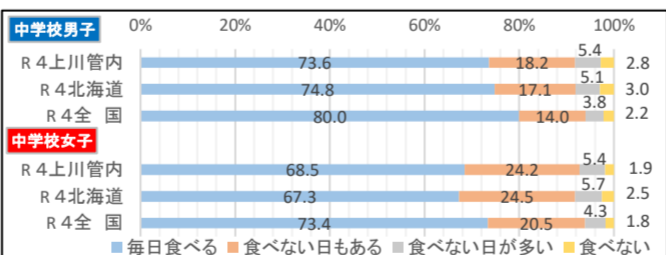
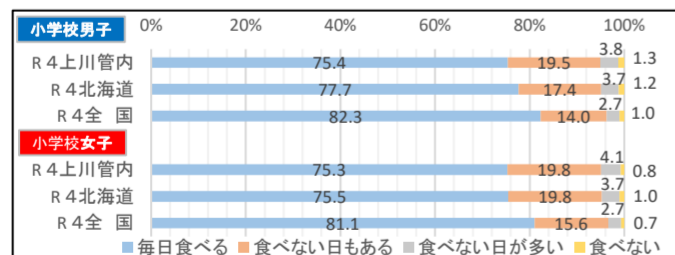
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間およそどのくらいの時間していますか。



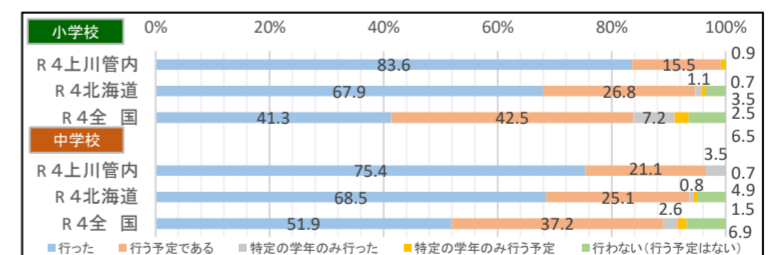
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っていますか。



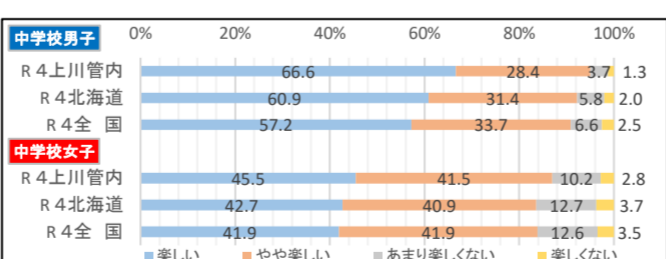
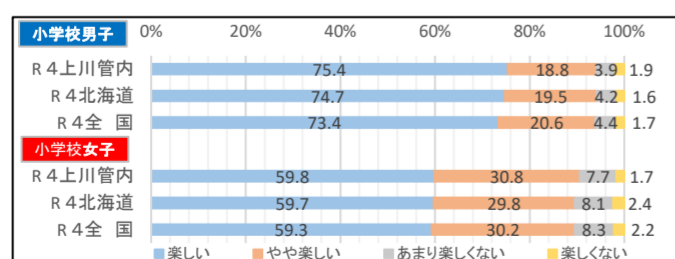
○ 朝食は毎日食べますか。



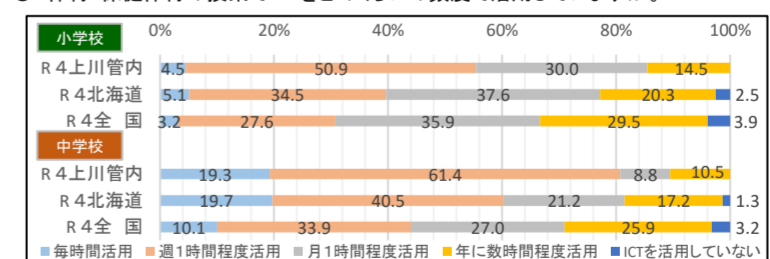
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。



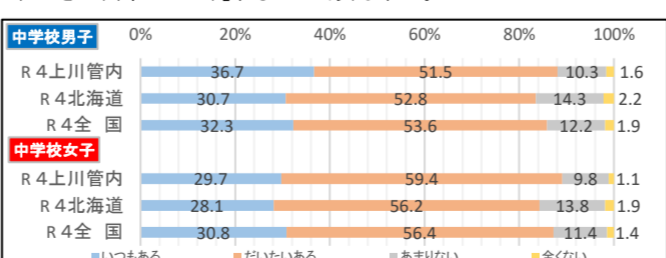
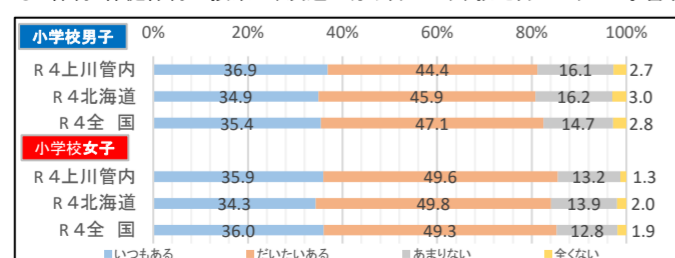
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



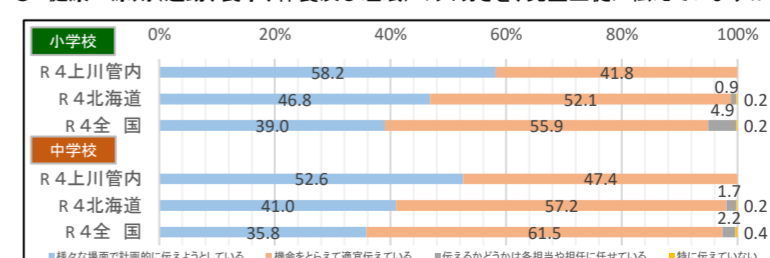
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えていますか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
<b>実技調査</b> ○ 各学校において、授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組や、通信や参観日等の機会を活用し、保護者に対して児童の体力向上についての理解を図る取組を行ったことより、男女ともに握力、反復横跳びの記録、女子では、体力合計点が全国平均を上回ったと考える。	<b>実技調査</b> ○ 各学校において、生活習慣改善の取組や異学年が一緒に活動する取組など授業以外で全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことより、男女ともに握力が全国平均を上回るとともに、女子では、昨年度より全国平均との差が縮まったと考える。		
<b>質問紙調査</b> ○ 多くの学校において、運動・スポーツが苦手な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組の充実を図ったことにより、運動やスポーツをすることが好きと回答した児童が、全国平均を上回ったと考える。 ○ 多くの学校において、ICTを活用して以前に撮影した動きと比較し、姿容を確認するなどこれまでの調査を踏まえ授業の工夫・改善を行ったことにより、体育の授業は楽しいと回答した児童が全国平均を上回ったと考える。	<b>質問紙調査</b> ○ 多くの学校において、運動・スポーツが苦手な傾向がある生徒向けの取組、性別に応じた取組の充実を図ったことにより、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒が、全国平均を上回ったと考える。 ○ 多くの学校において、週1回以上保健体育の授業においてICTを活用し、生徒の動きを撮影して生徒同士で確認させたことにより、男女ともに保健体育の授業で、友達と助け合ったり教え合ったりして学習することで「できたり、わかったり」することがあると回答した生徒が全国平均を上回ったと考える。		

## 上川管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<b>(1) A 運動の楽しさ喜びを味わうことができる授業の充実</b> ■ 「運動・スポーツが苦手な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組」を実施している小学校が64.6%、中学校が62.3%である。この値は全国平均を上回っているが、全ての児童生徒が運動が楽しいと実感することができるよう、授業改善をより一層推進する必要がある。 □ 児童生徒が運動の楽しさを実感できる授業づくりを促進するために、体育専科教員及びエキスパート教員を活用した研修会を実施するなど、研修事業の充実を図る。 □ 学校教育指導訪問等において、各学校の状況について把握するとともに、見通しと振り返りや発問の工夫、ICT端末の活用など、質の高い体育・保健体育の授業に係る指導・助言を行う。
<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ■ 「授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組」を実施していないと回答した学校が中学校において10.5%あることから、学校の課題に応じた取組を推進する必要がある。 □ 「1校1実践」等の授業以外の取組を推進することができるよう、優良実践や体育専科教員及びエキスパート教員による学校の教育活動全体を通じた体力向上に関する効果的な取組を周知する。
<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ■ 「1週間の中で授業以外で運動やスポーツを全くしない」と回答した児童生徒の割合が小学校女子で3.2%、中学校女子で13.0%あることから、学校だけでなく、家庭・地域と連携し、多様な場面で運動する機会の拡充を図る必要がある。 □ 日常的に運動する機会を拡充するため、各学校と家庭・地域や各市町村の教育委員会等との連携を強化する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実	(2)B 学校の創意工夫による体力向上の取組	(3)C 家庭・地域と連携した組織的な取組
4			
5			
6	学校教育指導計画訪問における指導助言	学校教育指導計画訪問における指導助言	学校教育指導計画訪問における指導助言
7			
8	学校教育指導要請訪問における指導助言	学校教育指導要請訪問における指導助言	学校教育指導要請訪問における指導助言
9			
10		体育専科教員等を活用した研修会の実施	社会教育主事会各ブロック別研究会における情報提供
11			
12			
1			
2			
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<b>(1) A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実</b> ① 授業における運動・スポーツが苦手な傾向がある児童生徒向けの取組、性別に応じた取組（全国体力・運動能力、運動習慣等調査） （小学校100%、中学校100%） ■小学校70.0%、中学校78.9% ② 体育の授業でICT端末を使って学習することで「できたり、わかったり」する 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校 男子57.8%、女子59.8% 中学校 男子67.5%、女子64.3%	<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ① 学校全体で授業以外の時間における子どもの体力向上や運動習慣の確立に関する取組 〈体育・保健・安全に関する調査〉 （小学校100%、中学校100%） ■小学校100%、中学校100% ② 運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好き 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校男子94.1%、女子88.5% 中学校男子92.3%、女子78.8%	<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ① 保護者等に対して、子どもの体力向上について理解を図る取組 〈体育・保健・安全に関する調査〉 （小学校100%、中学校100%） ■小学校100%、中学校100% ② 放課後や学校が休みの日に、部活動やスポーツクラブ以外でスポーツをすることがある 〈全国体力・運動能力、運動習慣等調査〉 （小学校70.0%、中学校60.0%） ■小学校男子82.6%、女子79.8% 中学校男子70.0%、女子55.2%
--	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<b>(1) A 運動の楽しさや喜びを味わうことができる授業の充実</b> ○ 児童生徒全員が授業において「できた・わかった」と実感することができるよう、見通しと振り返りの充実、ICT端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実など質の高い体育・保健体育の授業の普及を目指し、体育専科教員及びエキスパート教員を活用し、研修会を実施する。 ○ 小・中学校が連携し、系統性を重視した授業改善を行うため、同中学校区の小・中学校教員等を対象とした研修事業を実施し、小・中学校教員間における学習内容に関することや授業改善の視点の共有を行う。	<b>(2) B 学校の創意工夫による体力向上の取組</b> ○ 体力向上に向け、学校全体で体制づくりの充実を図り、組織的な取組とするために、各種調査等の結果を活用し、各学校の課題を明確にするとともに、体力向上に向けた全体計画を全教職員で共有し、適宜見直すなど、検証改善サイクルの確立を図るよう学校教育指導訪問で指導助言を行う。	<b>(3) C 家庭・地域と連携した組織的な取組</b> ○ 各学校が保護者等に対して、運動の重要性や、スクリーンタイムの短縮、睡眠時間の確保等、望ましい生活習慣の確立を含めた体力向上の取組の理解を図るための取組が充実するよう、学校教育指導訪問等で好事例を紹介する。 ○ 児童生徒の体育・保健体育の授業以外における運動の機会を増やすため、社会教育主事等と連携し、望ましい生活習慣や運動習慣の確立のための取組を推進する。
---	---	--

# 留萌管内の状況

1市6町1村

## 小・中学校

(小学校数:17校 児童数:288人、中学校数:12校 生徒数:275)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

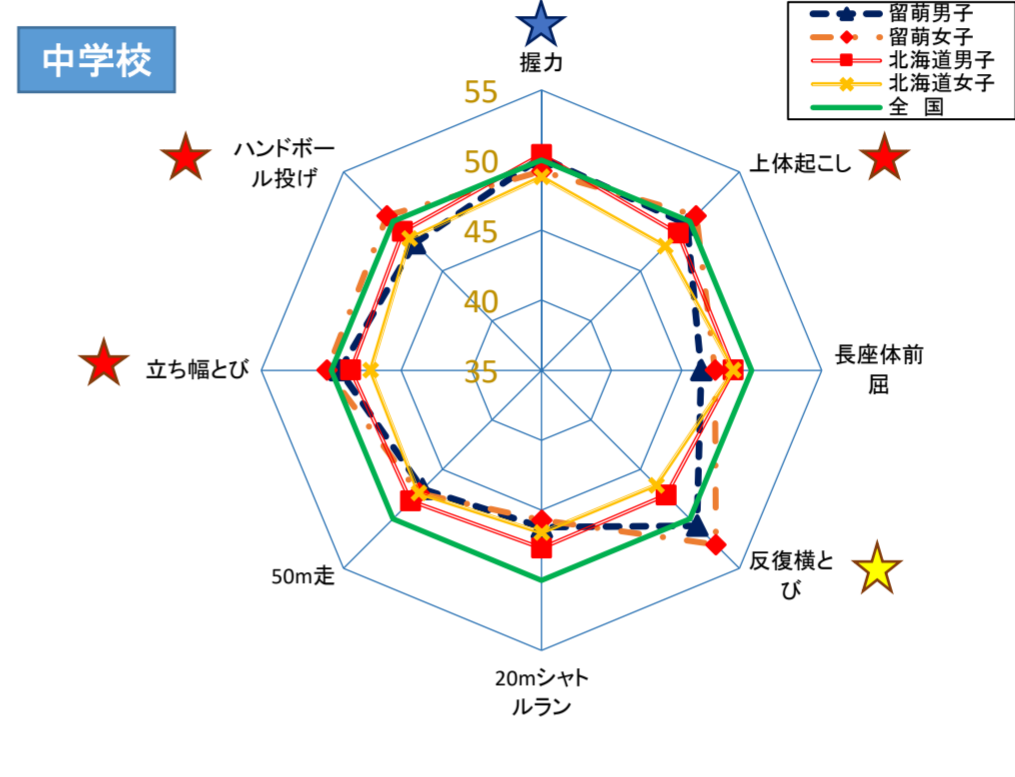
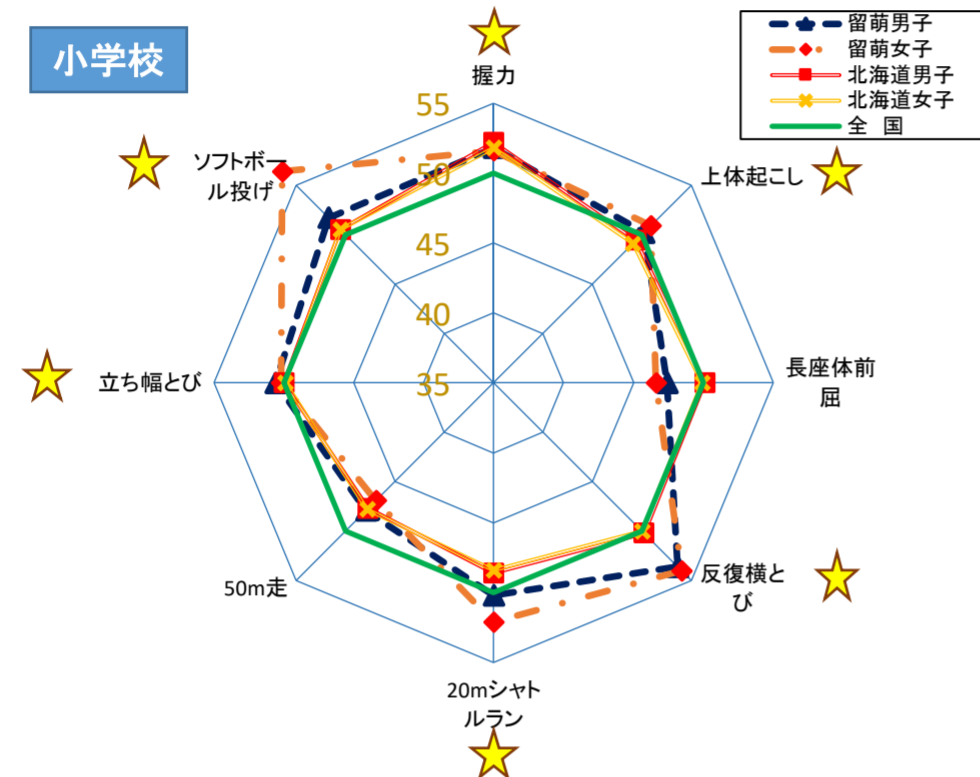
	男子	女子
留 萌	52.42	55.19
北海道	51.74	53.60
全 国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
留 萌	37.78	46.27
北海道	38.97	43.53
全 国	41.04	47.42

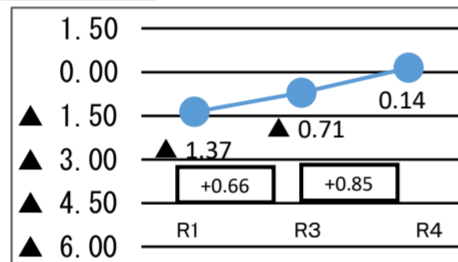
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

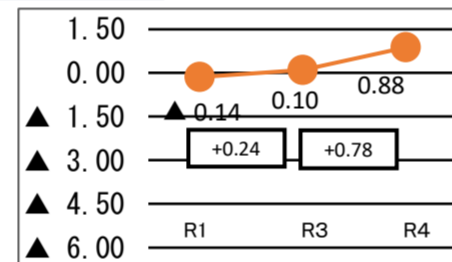


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

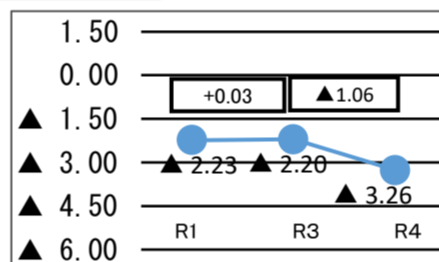
小学校男子



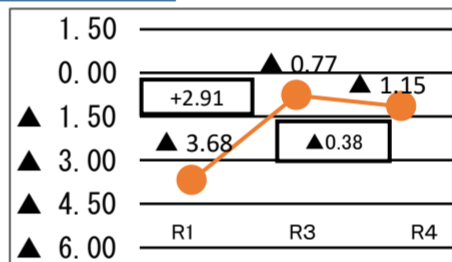
小学校女子



中学校男子



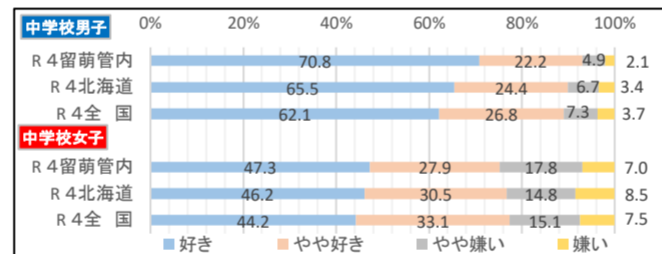
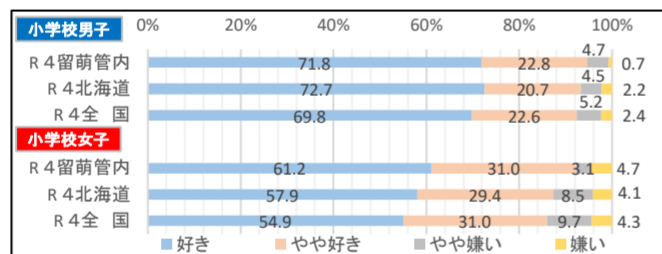
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

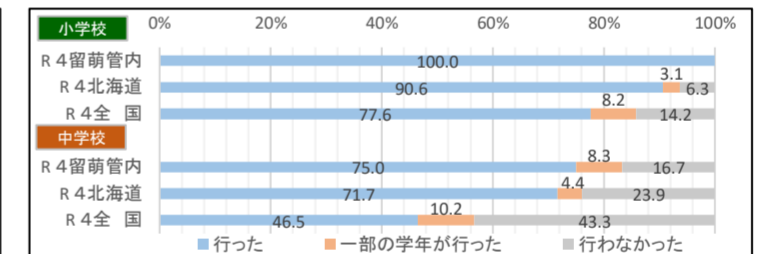
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

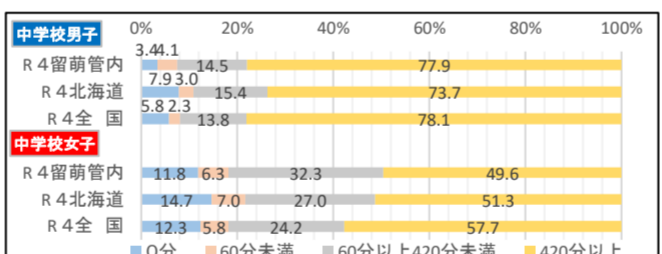
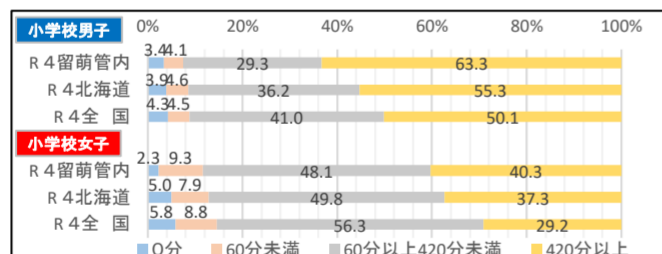


##### <学校質問紙>

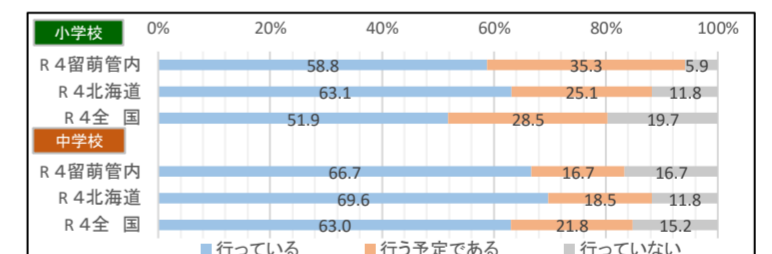
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



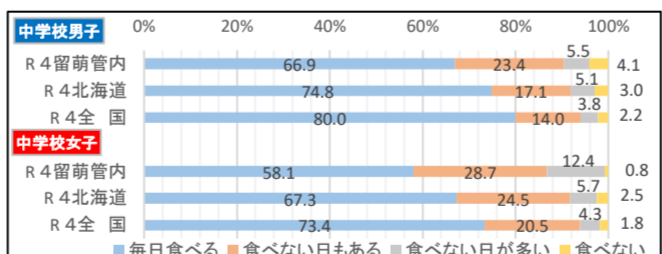
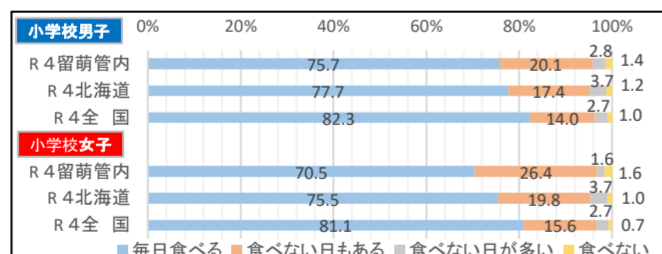
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



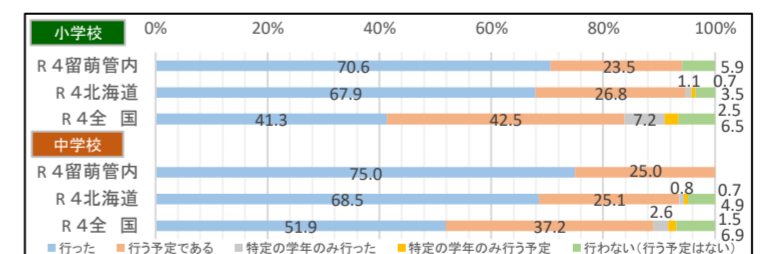
○ 運動・スポーツが苦手(嫌いな傾向)がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



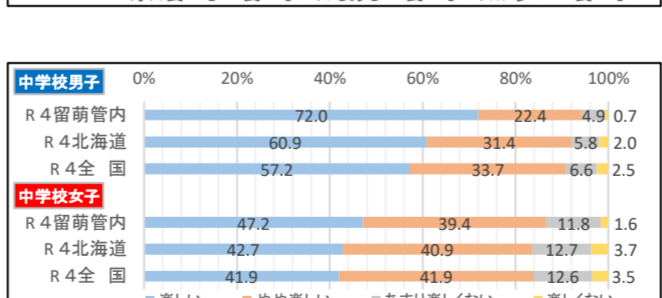
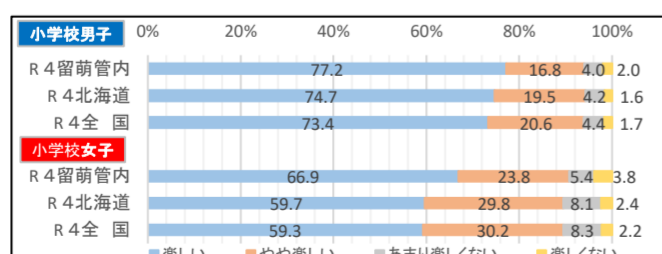
○ 朝食は毎日食べますか。



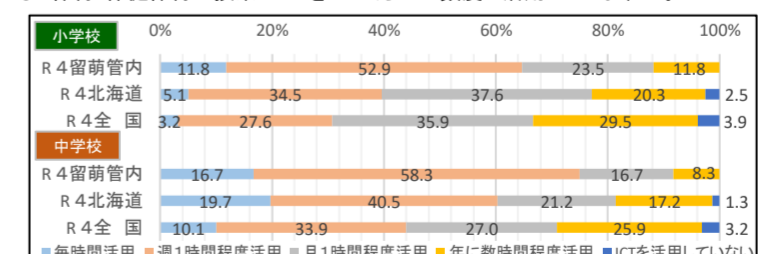
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



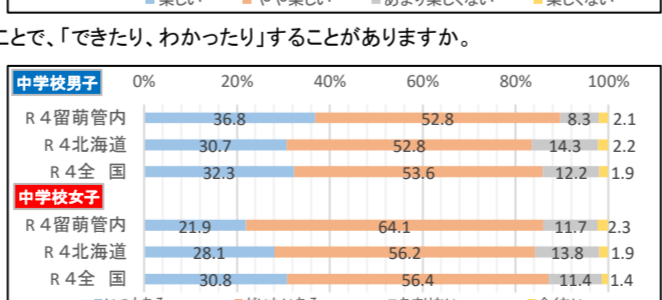
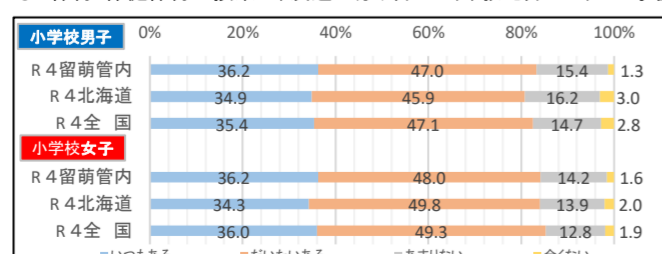
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



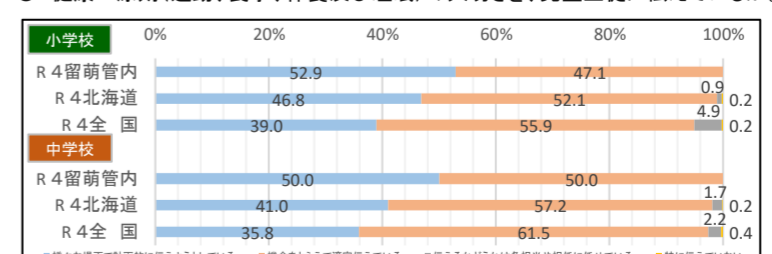
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計ポイントは、全国と比較して、男子が0.14ポイント、女子が0.88ポイント高い。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が5種目、女子が6種目である。</li> </ul>	実技調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計ポイントは、全国と比較して、男子が3.26ポイント、女子が1.15ポイント低く課題である。</li> <li>○ 種目別に全国を上回ったのは、男子が1種目、女子が5種目である。</li> </ul>
質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、100.0%であり、全国と比べて28.3ポイント高い。</li> <li>○ 「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、男子が77.2%であり、全国より3.4ポイント高く、女子が66.9%であり、7.6ポイント高い。</li> </ul>	質問紙調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業以外で、全ての生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行った」と回答した学校の割合は、75.0%であり、全国と比べて28.5ポイント高い。</li> <li>○ 「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が72.0%であり、全国より14.8ポイント高く、女子が47.2%であり、5.3ポイント高い。</li> </ul>

## 留萌管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

- (1) A 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進
- 新体力テストを活用・分析し、学校における個々の課題解決に向けた組織的な取組を継続していくとともに、市町村教育委員会や学校、校長会や教頭会と連携した検証改善サイクルの質的向上
  - 体力・運動能力の向上のための学校全体での数値目標の設定
  - 各学校の課題に応じた創意工夫ある「1校1実践」の組織的な取組の推進
- (2) B 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進
- 小学校体育エキスパート教員巡回指導事業における成果の普及による児童生徒の興味や関心を高める体育・保健体育の授業改善
  - 新体力テストの測定に関する研修会の実施
  - 新体力テストで課題の見られる種目に係る運動機会の確保に向けた授業改善の推進
- (3) C 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定
- 児童生徒会活動を中心とした異年齢集団等による運動遊びの推進
  - 地域やスポーツ諸団体と連携した地域スポーツ等の行事への積極的な参加促進
  - 学校だよりや学級通信等による体力向上の取組の積極的な周知
  - 各学校の特色を生かした、家庭と連携した体力向上の取組の充実

### 2 具体的な取組

月	(1) A 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進	(2) B 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進	(3) C 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定
4	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議	・教育長会議・校長会議・教頭（主幹教諭）会議
5	・校長会理事研（指導監）		
6	・学校経営訪問（指導監） ・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会	・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会	・学校教育指導（計画） ・管内小中学校教頭会研究協議会
7	・教育長会議 ・教頭会理事研（支援課長） ・北海道体力向上推進会議	・新体力テスト研修会 ・北海道体力向上推進会議 ・局独自研修令和4年度留萌管内体力向上に係る取組（～10月）	
8	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用
9	・校長会理事研（指導監）	・北海道体力向上推進会議	・北海道体力向上推進会議
10	・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ	・管内研究団体等での指導助言 ・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ	・管内研究団体等での指導助言 ・どさん子体力アップ強化月間（予定） ・管内どさん子元気アップチャレンジ
11	・体育エキスパート教員巡回指導事業研修会（東光小）	・体育エキスパート教員巡回指導事業研修会（東光小）	
12	・教育長会議 ・校長会理事研（指導監） ・教頭会理事研（支援課長）	・教育長会議	・教育長会議
1	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問 ・冬季教頭研修会	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問	・北海道学力・体力向上推進会議 ・教育委員会訪問
2	・校長会理事研（指導監）		
3	・教育長会議 ・教頭会理事研（支援課長）		

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p>(1) 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進</p> <p>① 全ての教職員が当事者意識をもった「カリキュラム・マネジメント」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小2.9、中2.9（3点中）</li> <li>○ 目標：小3.0、中3.0</li> </ul> <p>・学校教育指導訪問等により継続的な指導助言</p> <p>・教育活動に位置付けた取組の推進</p> <p>・学校評価等の外部評価を活用した取組の推進</p>	<p>(2) 体育・保健体育や休み時間・場を活用した体力向上の取組の推進</p> <p>① 授業等の工夫・改善を行った（行う予定である）学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小100.0%、中100.0%</li> <li>○ 目標：小100.0%、中100.0%</li> </ul> <p>・エキスパート教員派遣による授業改善の支援</p> <p>・どさん子元気アップチャレンジの活用による取組の実施</p> <p>・外部講師を活用した指導法に係る管内における研修の実施</p>	<p>(3) 学校・家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定</p> <p>① 家庭・地域が一体となった子どもの運動機会の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状：小2.7、中2.5（3点中）</li> <li>○ 目標：小3.0、中3.0</li> </ul> <p>・健康や体育と関連を図った学校行事等における保護者や地域と連携した取組の推進</p>
---	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 全教職員によるカリキュラム・マネジメントや検証改善サイクルの取組がとぎれることのないよう継続的に指導助言する。</p>	<p>(2) 指定事業等を活用した授業改善や課題の見られる種目に係る運動機会の確保に向け指導助言する。</p>	<p>(3) 各学校の特色を生かした体力づくりや家庭・地域が連携した体力向上の取組が推進されるよう指導助言する。</p>
--	---	--

# 宗谷管内の状況

1市8町1村

## 小・中学校

(小学校数:35校 児童数:402人、中学校数:22校 生徒数:411)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

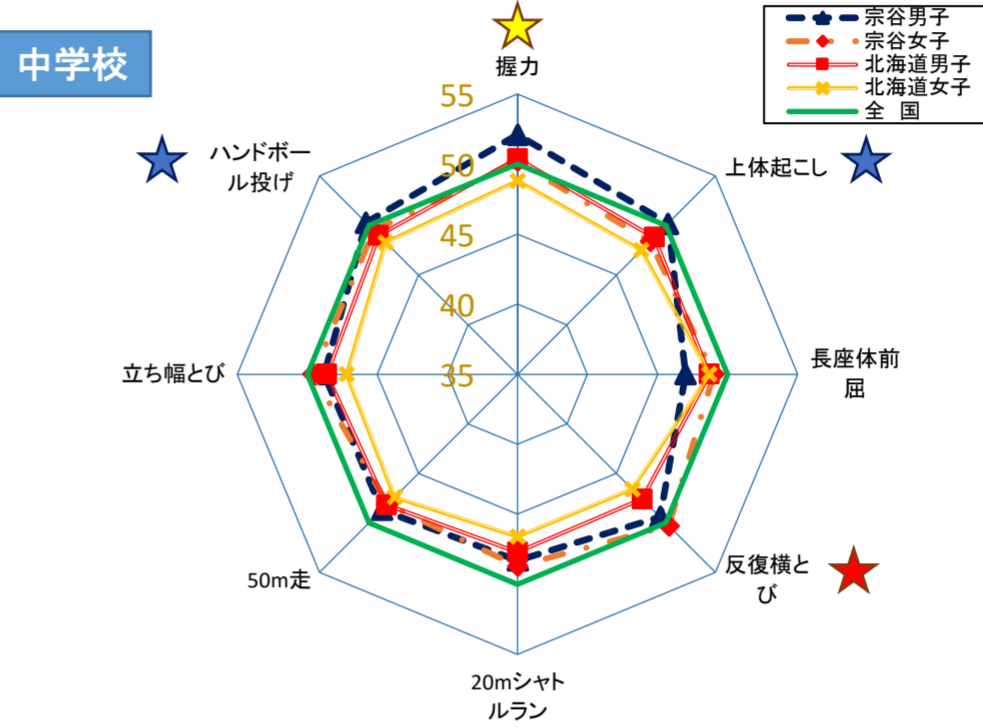
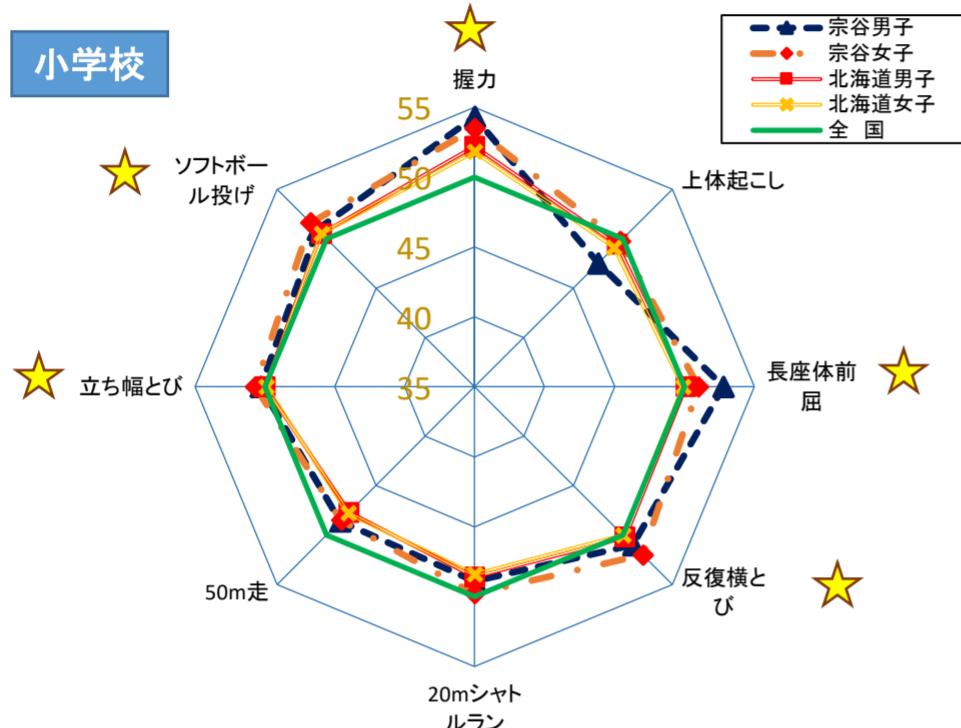
	男子	女子
宗谷	52.84	55.33
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
宗谷	40.03	46.16
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

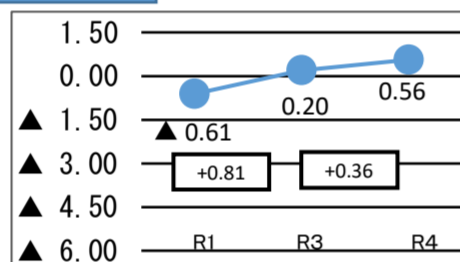
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

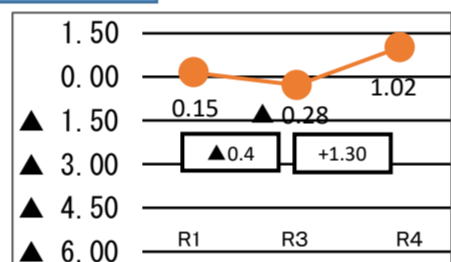


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

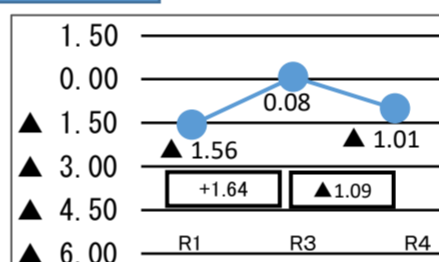
小学校男子



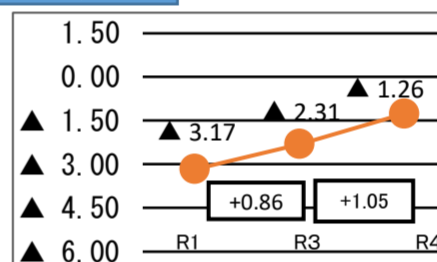
小学校女子



中学校男子



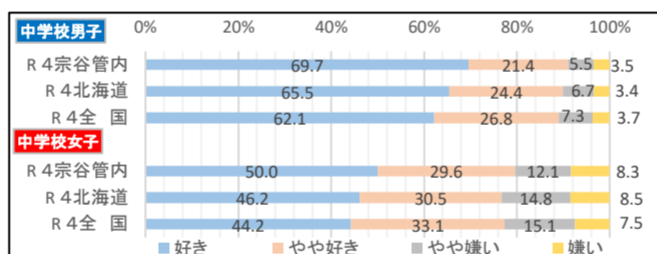
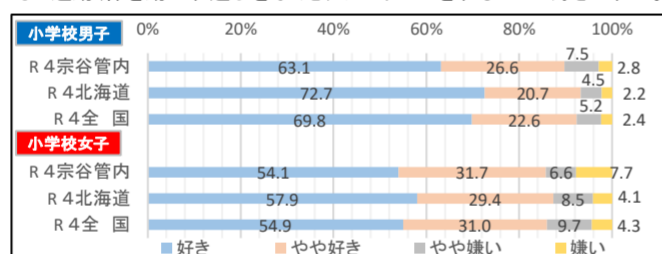
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

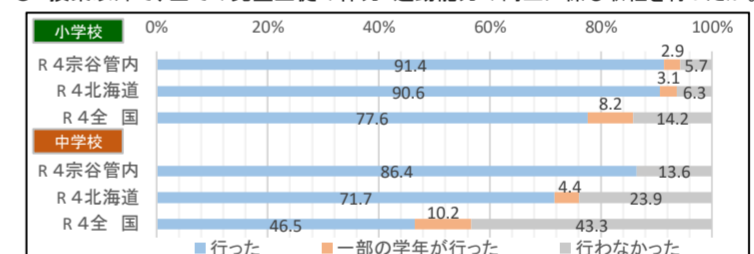
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

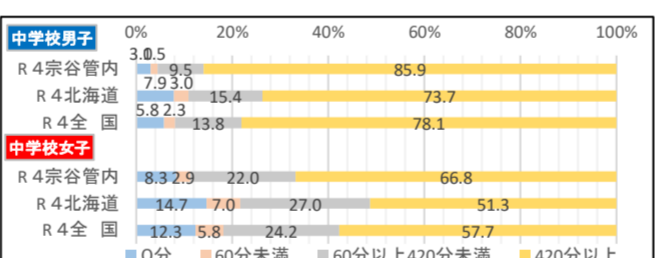
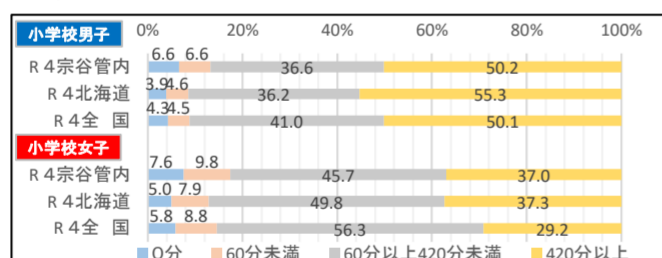


##### <学校質問紙>

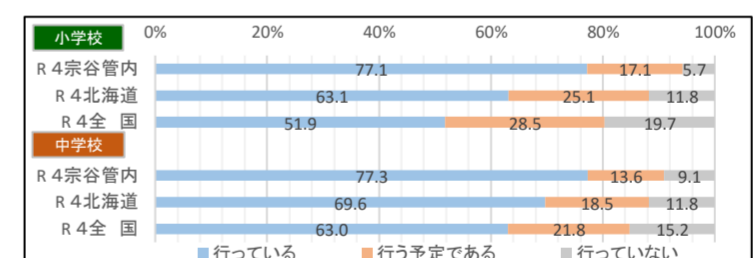
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



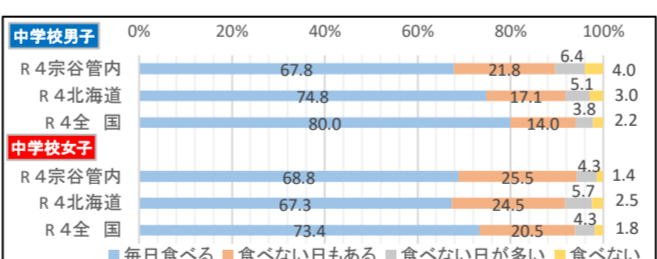
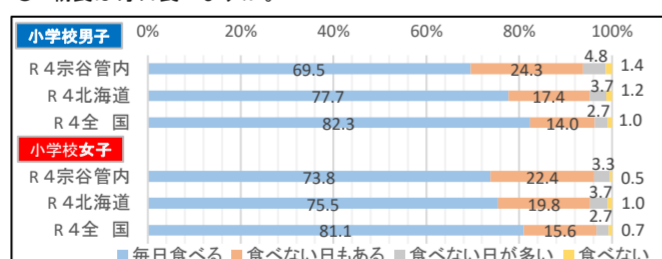
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



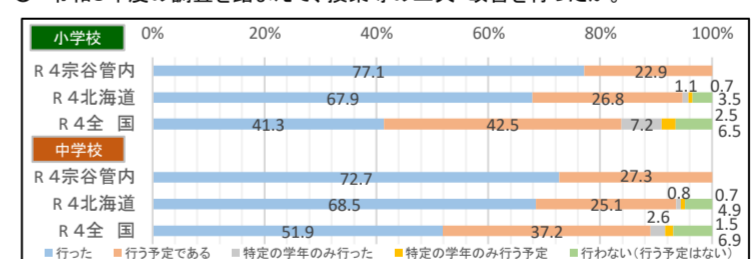
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



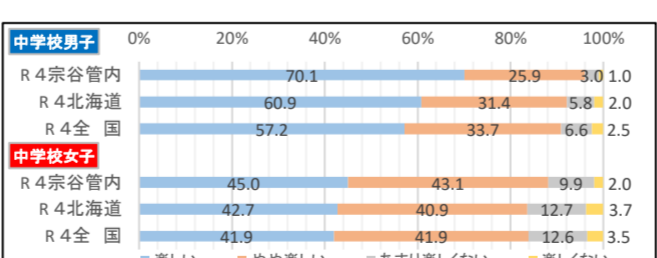
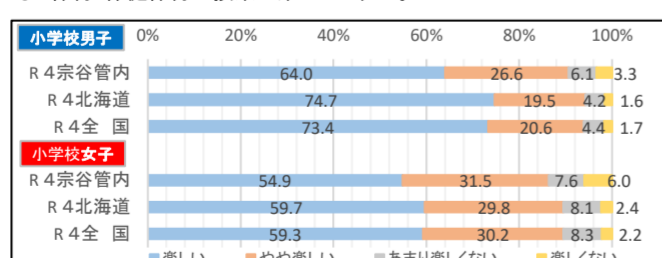
○ 朝食は毎日食べますか。



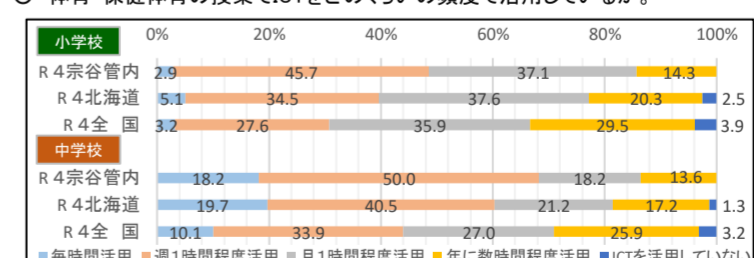
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



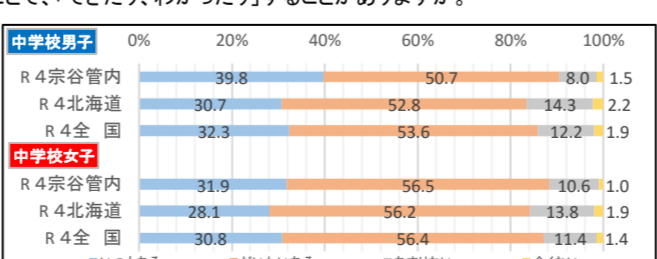
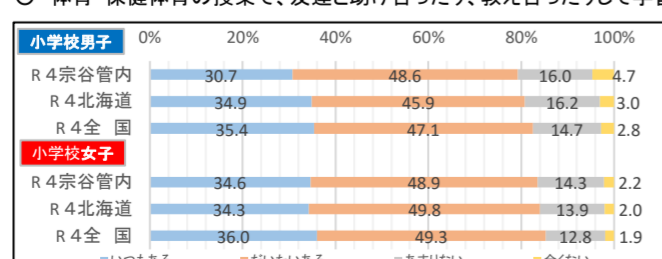
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



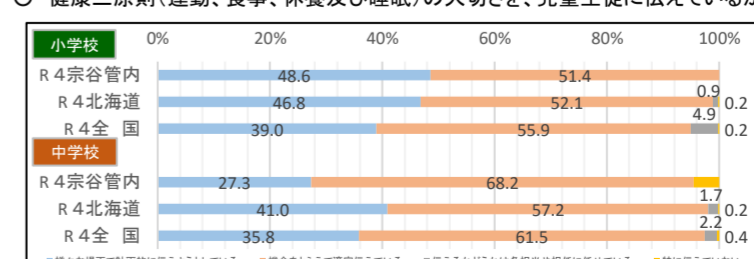
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小学校 ＞	＜ 中学校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国平均と比較して、男子が0.56ポイント、女子が1.02ポイント高く、各学校で取り組んでいる体力向上に向けた取組の成果が表れていると考えられる。</li> <li>○ 過去3回の体力合計点の推移においても、男女とも向上しており、継続的な取組の成果と考えられる。</li> <li>○ 種目別に全国平均を上回ったのは、男女とも、握力、長座体前屈、反復横とび、立ち幅とび、ソフトボール投げの5種目である。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、「運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または性別に応じた取組」及び「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善」について、「行った」と回答したものの、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合は、男子が64.0%(全国比+9.4ポイント)、女子が54.9%(全国比+4.4ポイント)で、全国平均を下回っており、課題である。</li> </ul>	<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国平均と比較して、男子が1.01ポイント、女子が1.26ポイント低く、課題である。</li> <li>○ 過去3回の体力合計点の推移では、女子において、全国平均との差が縮まり、各学校で実施している体力向上に向けた取組の成果が表れていると考えられる。</li> <li>○ 種目別に全国平均を上回ったのは、男子が、握力、長座体前屈、ハンドボール投げの3種目、女子が、握力の1種目である。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、「運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または性別に応じた取組」及び「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善」について、「行った」、「保健体育の授業は楽しい」と回答した生徒の割合は、男子が70.1%(全国比+12.9ポイント)、女子が45.0%(全国比+3.1ポイント)で、全国平均を上回っており、授業改善の成果が表れていると考えられる。</li> </ul>

## 宗谷管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

#### (1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立

- 新体力テスト等の結果を活用した実態把握及び重点的な取組の明確化
- 明確な目標指標を位置付けた「体力向上プラン」の作成・実施・改善

#### (2) 体育・保健体育の授業改革

- 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員を活用した授業改革に資する研修資料の作成及び研修会の実施
- 基本的な学習過程に基づき、めあてを生かしながら運動のよさを実感させる体育・保健体育授業の推進

#### (3) 日常的な運動機会の創出

- 学校や家庭等における運動に親しむ機会の充実
- 体育授業以外の運動に親しむ場の設定、運動・生活習慣の確立に向けた保護者への啓発

### 2 具体的な取組

月	(1)年間複数回の検証改善サイクルの確立	(2)体育・保健体育の授業改革	(3)日常的な運動機会の創出
4	○ 新体力テストの効果的な実施に向けた取組の周知(局独自通信の発出)		
5	○ 学校教育指導訪問【一次訪問】 ・新体力テストの全学年・全種目実施に向けた体力向上プランに係る指導助言 ・体力向上プランの共有 ・体育・保健体育授業に係る取組の共有及び指導助言		
6			
7			○ 全道どさん子元気アップチャレンジの周知
8	○ 新体力テスト結果の取りまとめ		○ 管内どさん子元気アップチャレンジⅠ 「マラソン2022チャレンジ」
9	○ 学校教育指導訪問【二次訪問】 ・新体力テストの結果の共有 ・課題解決に向けた取組への指導助言		
10			○ 管内どさん子元気アップチャレンジⅡ 「運動意欲アップチャレンジ」 ※実践事例の収集
11		○ 体育専科教員、体育エキスパート教員、中学校体力向上推進教員を活用した「SOYA ALL体力向上指導力向上研修」の実施	
12			
1			
2	○ 宗谷管内新体力テストの結果周知		
3	○ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における宗谷管内の分析結果及び改善の方向性の周知		○ 実践事例の交流 ※局ホームページへの掲載

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

(1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立	(2) 体育・保健体育の授業改革	(3) 日常的な運動機会の創出
<p>① 新体力テストの全学年・全種目実施 (小・中学校：100%) ■ 小：100% 中：100%</p> <p>② 体力向上プランを作成している (小・中学校：100%) ■ 小：100% 中：100%</p> <p>③ 教員同士で体力向上に係る取組や指導方法の工夫・改善について検討する機会がある (小・中学校：肯定的回答100%) ■ 小：100% 中：100%</p>	<p>① 体育(保健体育)の授業が楽しい (小・中学校：70%以上) ■ 小：男64.0% 女54.9% 中：男70.1% 女45.0%</p> <p>② 進んで学習に参加している (小・中学校：肯定的回答70%以上) ■ 小：男86.4% 女91.2% 中：男89.6% 女86.0%</p> <p>③ 目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することができる (小・中学校：肯定的回答70%以上) ■ 小：男77.9% 女80.1% 中：男87.1% 女88.9%</p>	<p>① 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き (小・中学校：80%以上) ■ 小：男63.1% 女54.1% 中：男69.7% 女50.0%</p> <p>② 1週間の総運動時間が60分以上 (小・中学校：100%) ■ 小：男86.8% 女82.7% 中：男95.4% 女88.8%</p>

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 年間複数回の検証改善サイクルの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新体力テスト等の結果を踏まえ作成した「体力向上プラン」に基づいた効果的な検証改善の具体について、管内の好事例を示し、学校教育指導訪問等において指導助言を行う。</li> </ul>	<p>(2) 体育・保健体育の授業改革</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育専科教員等を講師とした1人1台端末を効果的に活用した体育・保健体育科の授業改革に関する実技研修会を実施する。</li> <li>○ 引き続き学校教育指導訪問等において指導助言を行う。</li> </ul>	<p>(3) 日常的な運動機会の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管内における体力向上や日常の運動習慣の確立に向け、「管内どさん子元気アップチャレンジ」への参加を一層促進する。</li> <li>○ 地域人材を生かした体力向上の取組について管内の好事例を発信する。</li> </ul>
--	---	--

# オホーツク管内の状況

3市14町1村

## 小・中学校

(小学校数:78校 児童数:1,977人、中学校数:49校 生徒数:1,918人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

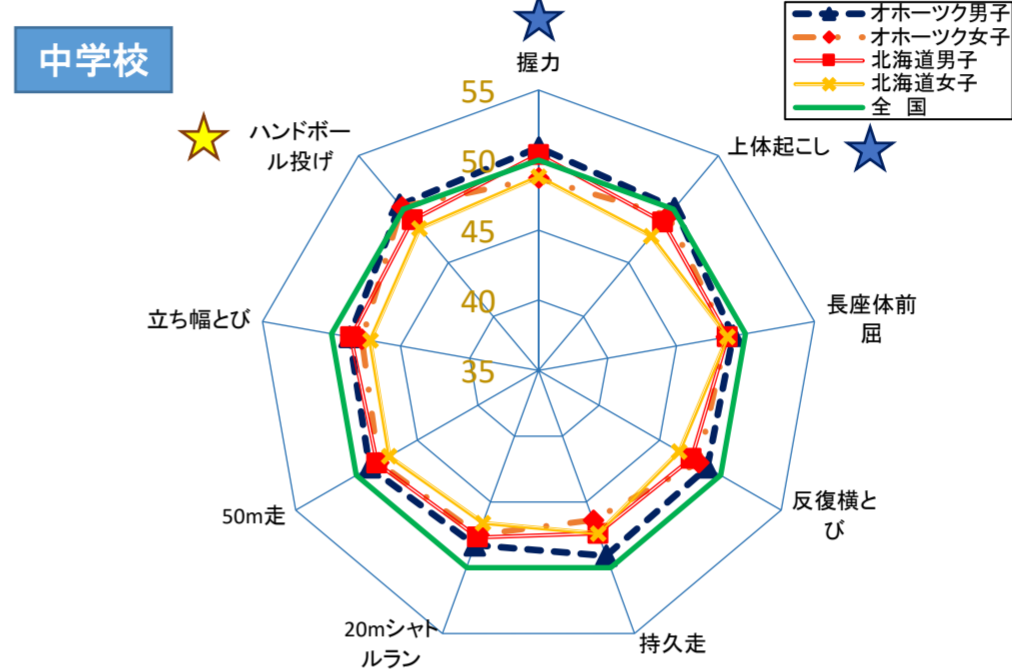
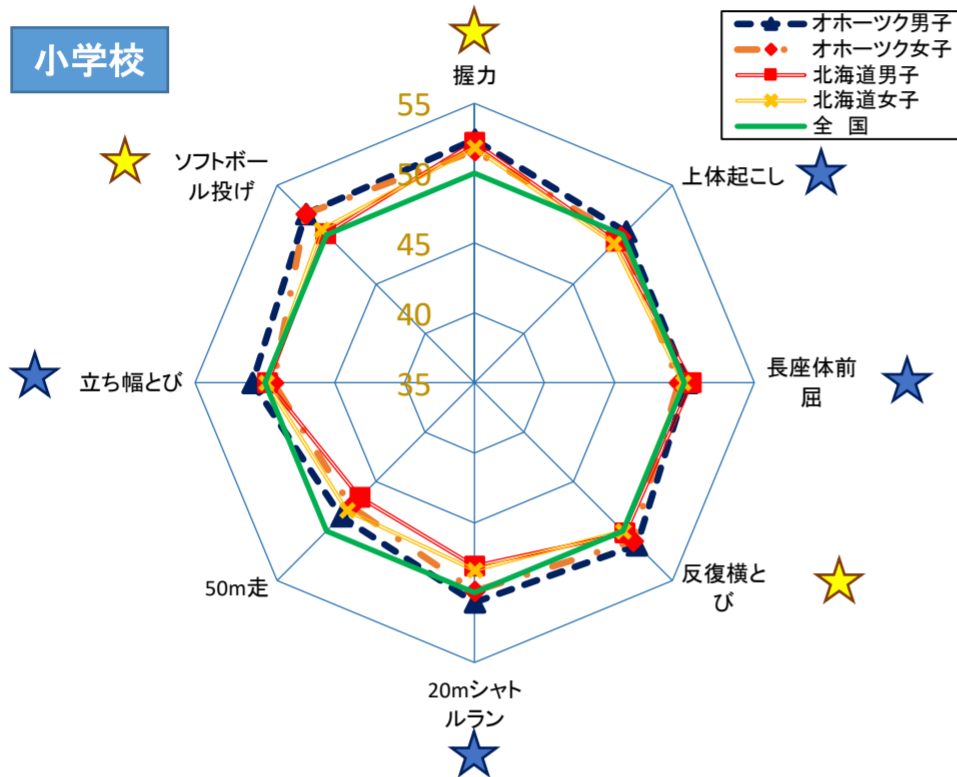
	男子	女子
オホーツク	53.18	54.17
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
オホーツク	40.09	45.21
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

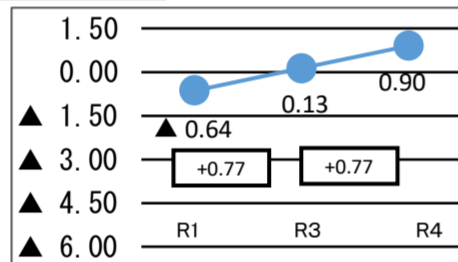
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

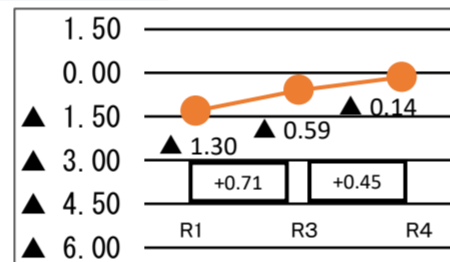


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

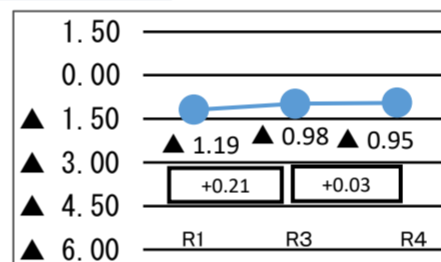
小学校男子



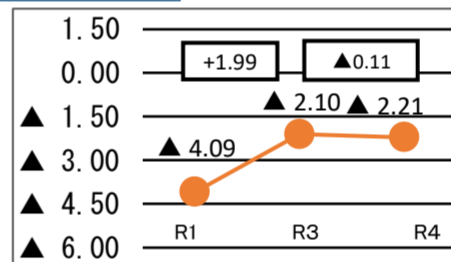
小学校女子



中学校男子



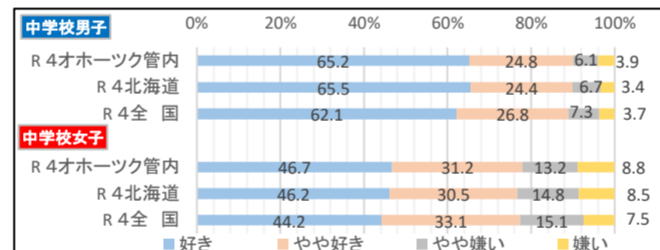
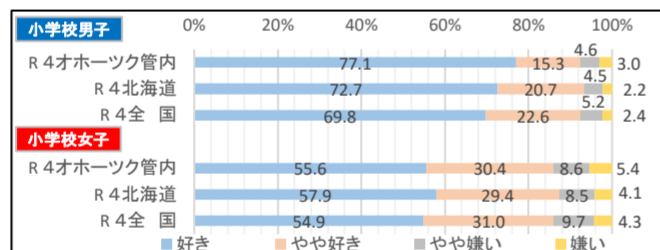
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

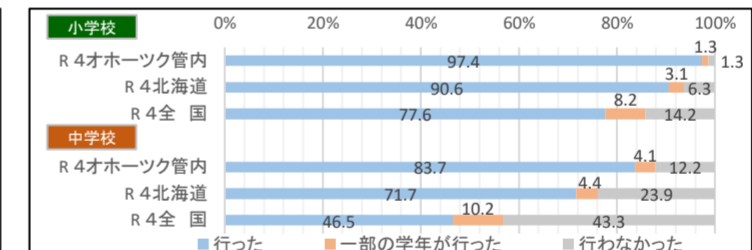
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

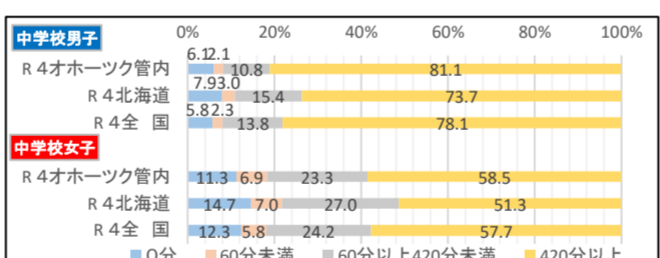
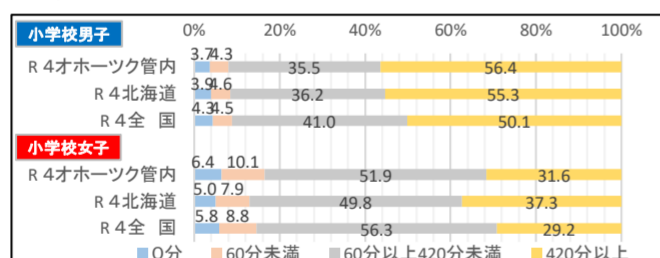


##### <学校質問紙>

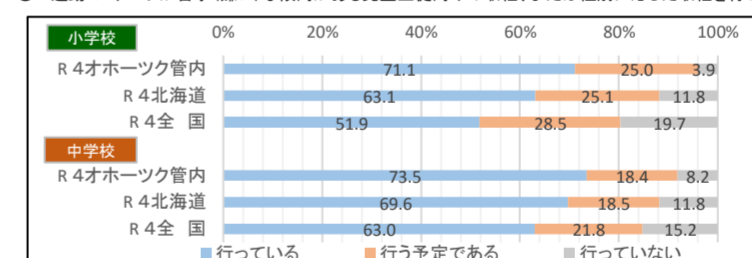
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



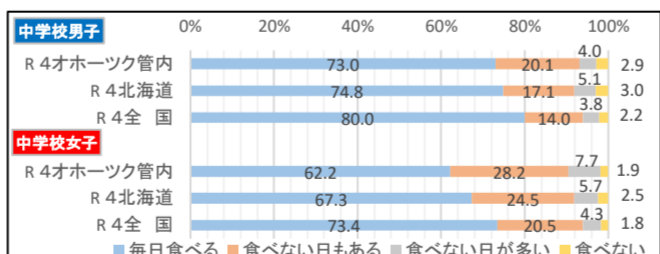
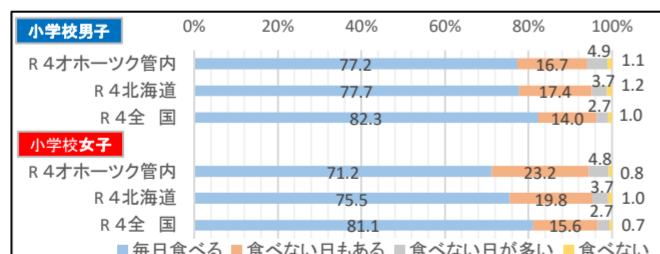
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそどのくらいの時間していますか。



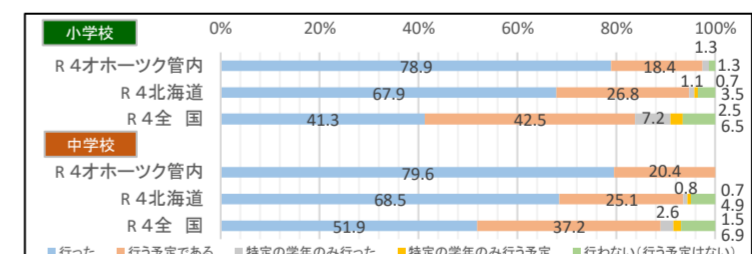
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行ったか。



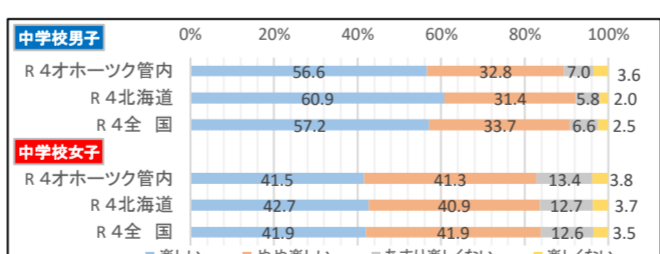
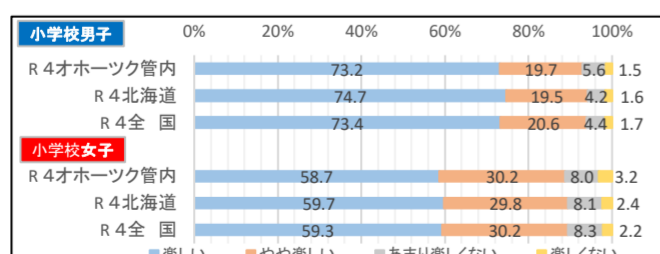
○ 朝食は毎日食べますか。



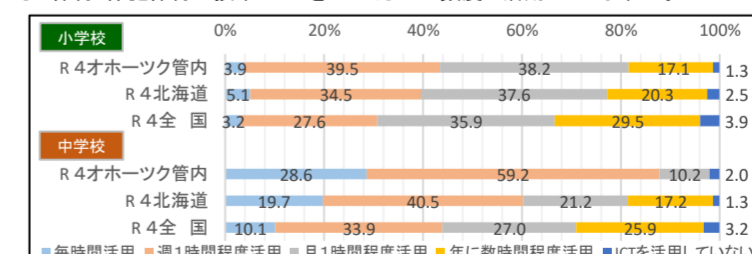
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



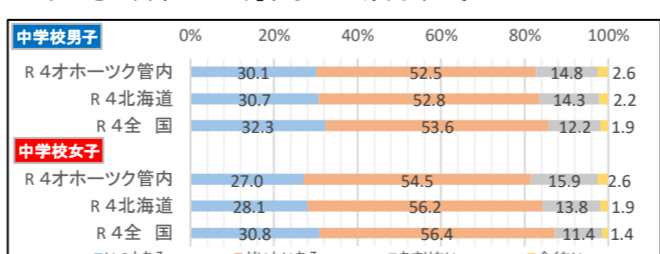
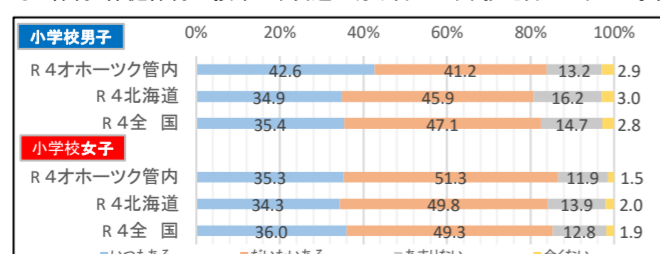
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



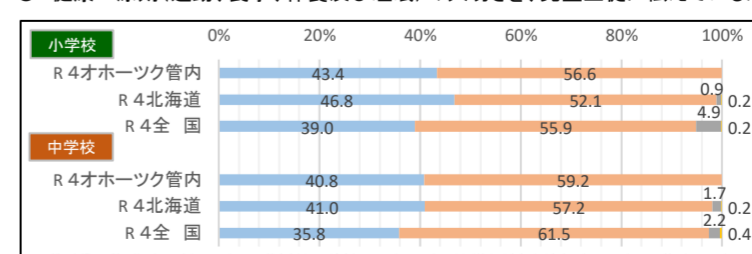
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。





## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞	＜ 中 学 校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男女ともに高くなっており、全国と比較して、男子が0.90ポイント高いが、女子が0.14ポイント低く、課題である。</p> <p>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が7種目、女子が3種目である。</p>	<p><b>実技調査</b></p> <p>○ 体力合計点は、昨年度と比較して、男女ともに低くなっており、全国と比較して、男子が0.95ポイント、女子が2.21ポイント低く、課題である。</p> <p>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が1種目である。</p>
<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 「これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して、37.6ポイント高いが、「体育の授業は、楽しい」と回答した児童の割合は、全国と比較して、男子が0.2ポイント、女子が0.6ポイント低く、課題である。</p>	<p><b>質問紙調査</b></p> <p>○ 「これまでの調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国と比較して、27.7ポイント高いが、「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、できたり、わかったりする」と回答した生徒の割合は、全国と比較して、男子が2.2ポイント、女子が3.8ポイント低く、課題である。</p>

## オホーツク管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策 (課題：●、改善策：□)

- (1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善**
- 「各種調査やデータ等に基づき、学校全体で体力・運動能力の向上に向けた検証改善サイクルの確立をしている」と回答した学校の割合が65%程度にとどまっていることから、検証改善サイクルの一層の充実を図る必要がある。
  - 学校教育指導において、新体力テスト等の結果を踏まえ、学校全体で体力・運動能力の向上を図れるよう継続的な指導及び助言を行う。
  - 関係研究団体及び体育専科教員と連携し、ICT端末を効果的に活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた各種セミナーを実施する。
- (2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実**
- 「体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による体力・運動能力の向上の取組を推進している」と回答した学校の割合が45%程度にとどまっていることから、一層の取組の充実を図る必要がある。
  - 各種調査結果等を踏まえ、「オホーツク運動プログラム」等の活用や、研修事業等を活用した授業改善の取組の充実が図られるよう指導及び助言を行う。
- (3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実**
- 「家庭や地域と連携して児童生徒の体力・運動能力の向上を図っている」と回答した学校の割合が40%程度にとどまっていることから、地域と連携した取り組みの充実を図る必要がある。
  - 社会教育指導班と連携し、教育委員会及び地域住民に運動習慣形成に係る情報提供及び、学校と地域が連携した実践事例を、教育局Webページに掲載する。

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善	(2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実	(3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実
4		「オホーツク運動プログラム」取組（通年）	
5	学校教育指導（1次協議）において、学校課題の改善状況を確認	学校教育指導（1次協議）において、「オホーツク運動プログラム」の活用状況を確認	「オホーツク運動プログラム」を教育局Webページに掲載し、家庭での運動機会の確保を啓発
6	↓	↓	↓
7			
8	◇夏の教育セミナー 学校教育指導（2次協議）において、学校課題の改善状況を確認	学校教育指導（2次協議）において、「オホーツク運動プログラム」の活用状況を確認	
9	↓	↓	↓
10			市町村教育委員会社会体育担当者研修会での管内状況に係る情報提供
11	↓	↓	↓
12		「オホーツク運動プログラム」に係る活用事例集の作成及び配信	
1	◇冬の教育セミナー 各学校へのコンサルティング（3次協議）において、学校課題の改善状況を確認	各学校へのコンサルティング（3次協議）において、達成状況を確認	体力向上に係る学校と地域が連携した実践事例を教育局Webページに記載
2	↓	↓	↓
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<p><b>(1)A 検証改善サイクルに基づいた体育・保健体育科の授業改善</b></p> <p>① 「各種調査やデータ等に基づき一連のPDCAサイクルを確立している」 (R4管内教育推進の重点3(1)①)</p> <p>・現状：小…63.8%、中…65.3% ・目標：小…70.0%、中…70.0% ■達成値：小…62.8%、中…61.2%</p> <p>② 「調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善を行っている」 (R4全国調査＜学校質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小…78.8%、中…77.6% ・目標：小…80.0%、中…80.0% ■達成値：小…78.9%、中…79.6%</p>	<p><b>(2)B 体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による取組の充実</b></p> <p>① 「体育・保健体育授業以外の学校の創意工夫による体力・運動能力の向上の取組を推進している」 (R4管内教育推進の重点3(1)③)</p> <p>・現状：小…46.3%、中…26.5% ・目標：小…70.0%、中…70.0% ■達成値：小…41.0%、中…18.4%</p> <p>② 「1週間の総運動時間が60分以上である」 (R4全国調査＜児童生徒質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小男子…87.7%、小女子…81.9% 中男子…91.6%、中女子…78.9% ・目標：小・中男子…90.0% 小・中女子…90.0% ■達成値：小男子…91.9%、小女子…83.5%</p>	<p><b>(3)C 家庭や地域と連携を図った取組の充実</b></p> <p>① 「家庭や地域と連携して児童生徒の体力・運動能力の向上を図っている」 (R4管内教育推進の重点3(1)②)</p> <p>・現状：小…37.5%、中…40.8% ・目標：小…50.0%、中…50.0% ■達成値：小…44.9%、中…53.1%</p> <p>② 「中学校進学後（卒業後）、授業以外でも自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思う」 (R4全国調査＜児童生徒質問紙調査＞)</p> <p>・現状：小男子…64.7%、小女子…54.8% 中男子…58.6%、中女子…39.6% ・目標：小・中男子…90.0% 小・中女子…75.0% ■達成値：小男子…67.3%、小女子…54.4%</p>
---	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p>(1) 新体力テスト等の各種調査結果の分析を踏まえ、体育・保健体育科の授業改善に組織的に取り組むよう学校教育指導等で指導助言するとともに、検証改善サイクルの充実に向け、教師力向上セミナー等を活用した公開授業等を行い、小学校体育専科教員活用事業等の好事例を共有す</p>	<p>(2) 「どさん子元気アップチャレンジ」の取組や「オホーツク運動プログラム」の活用等、授業以外の学校の創意工夫による1校1実践の取組の確実な実施等の体力向上策を推進し、運動機会の充実が図られるよう指導助言する。</p>	<p>(3) 義務教育指導班と社会教育指導班が連携し、子どもの体力向上に向けた資料や望ましい生活習慣の確認に向けたリーフレットを各研修会等で紹介、活用するなど、児童生徒の生活スタイルを踏まえた日常的な運動習慣の形成を図る。</p>
---	--	---

# 十勝管内の状況

1市16町2村

## 小・中学校

(小学校数:84校 児童数:2,776人、中学校数:48校 生徒数:2,606)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

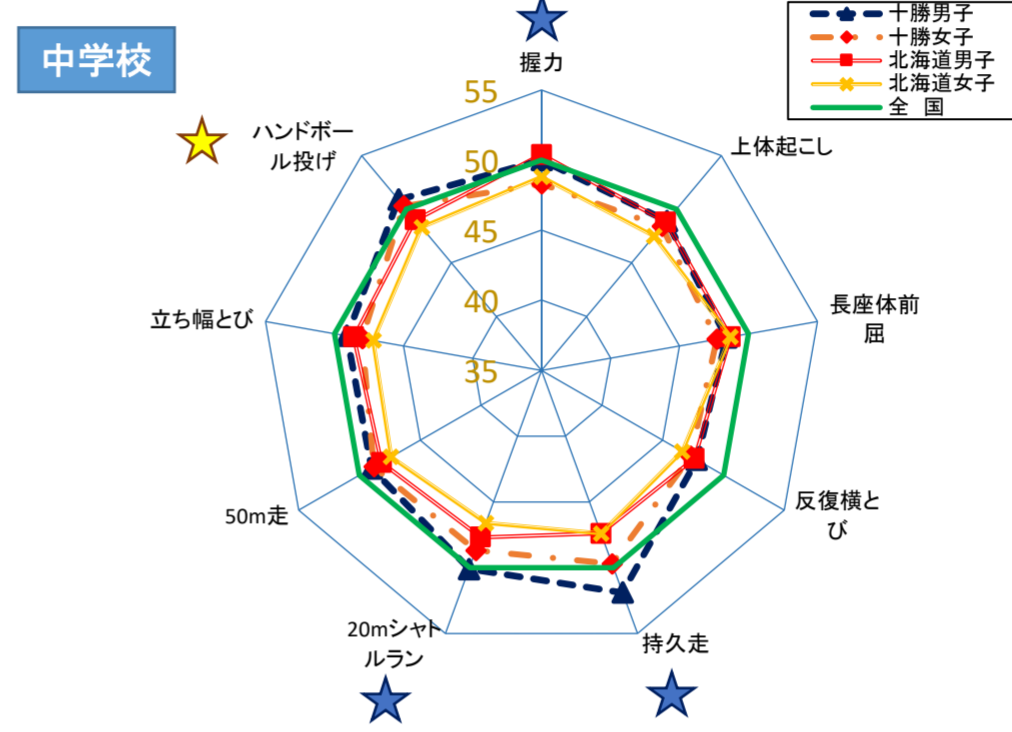
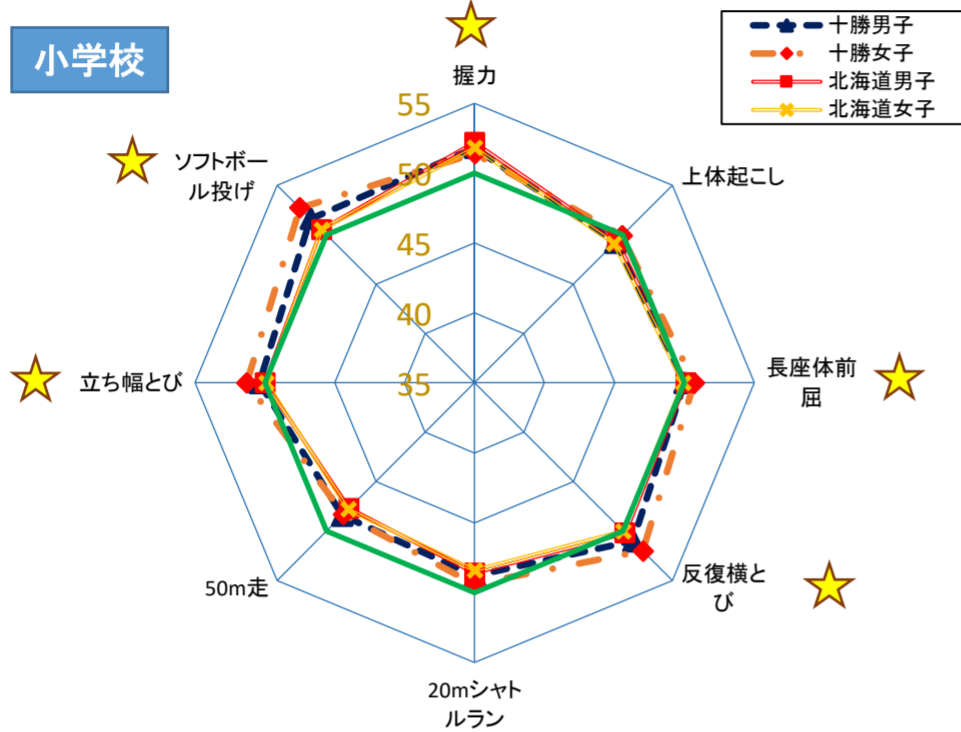
	男子	女子
十勝	52.17	55.03
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
十勝	39.66	44.83
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

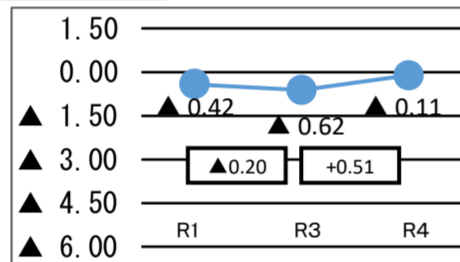
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆は男女ともに全国平均以上の種目 ★は男子のみ全国平均以上の種目 ★は女子のみ全国平均以上の種目

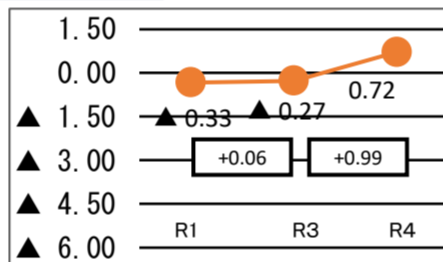


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

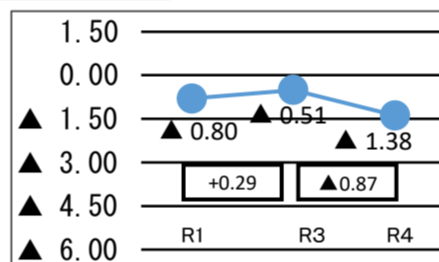
小学校男子



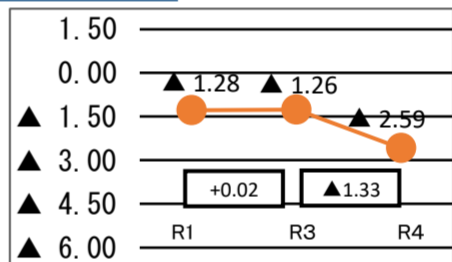
小学校女子



中学校男子



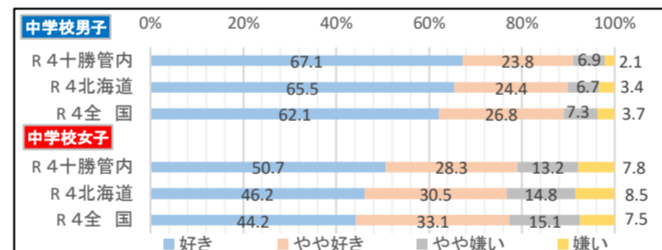
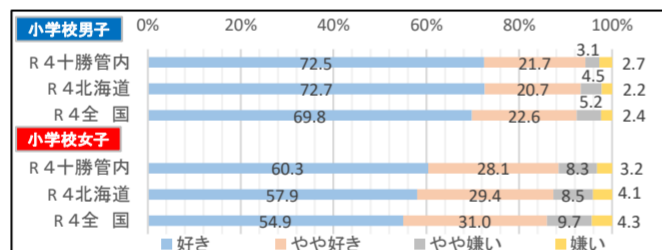
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

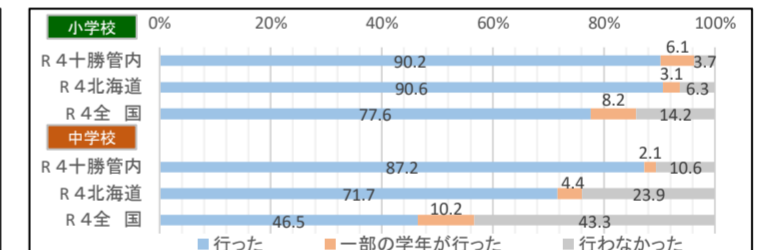
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

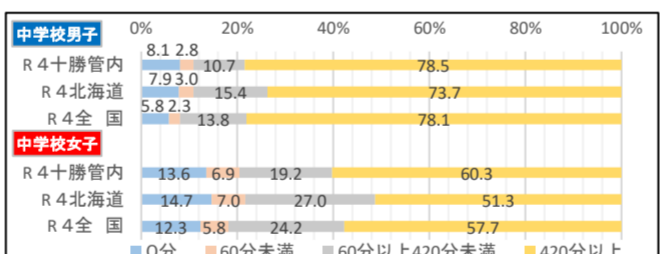
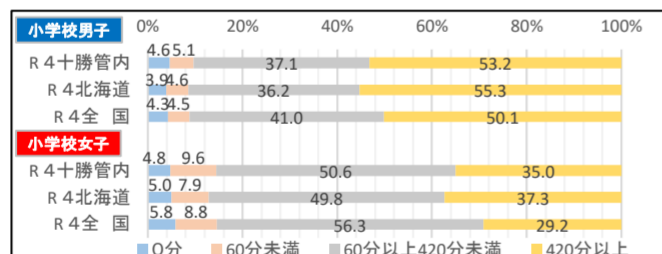


##### <学校質問紙>

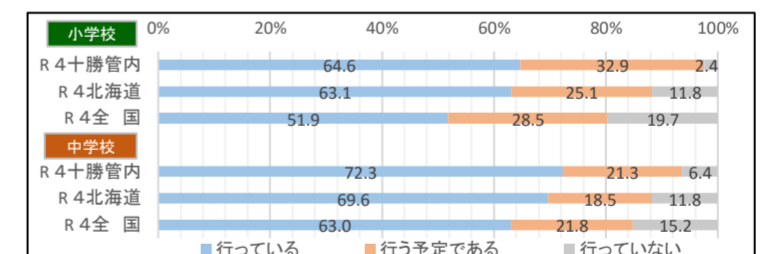
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



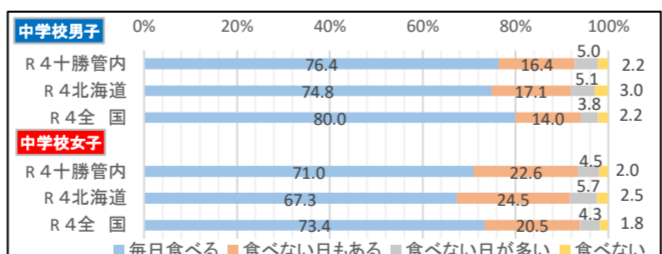
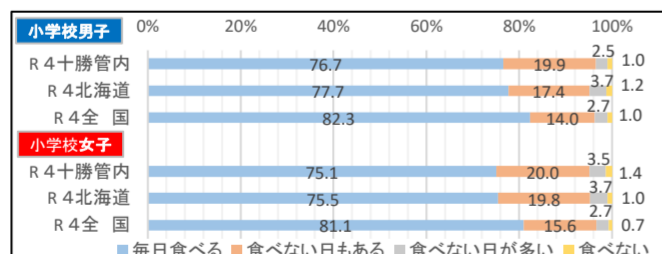
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



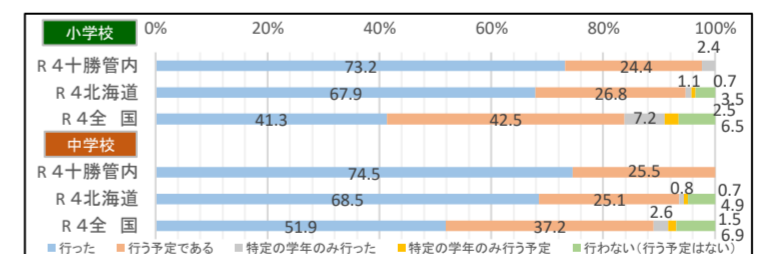
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を行っているか。



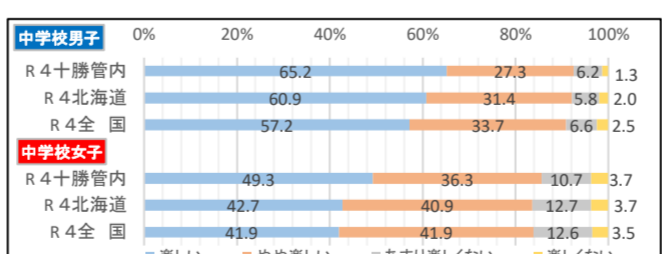
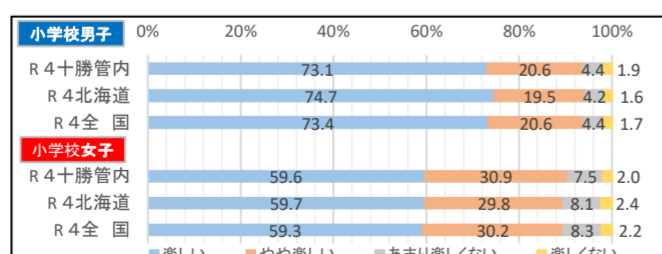
○ 朝食は毎日食べますか。



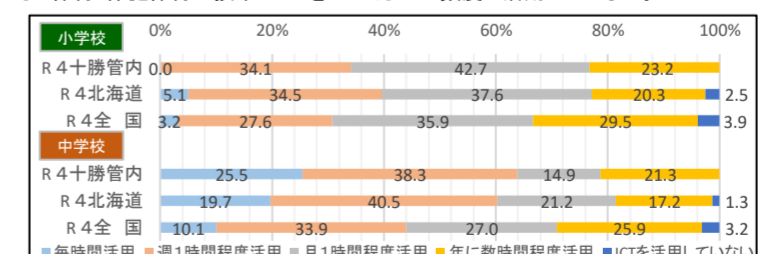
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



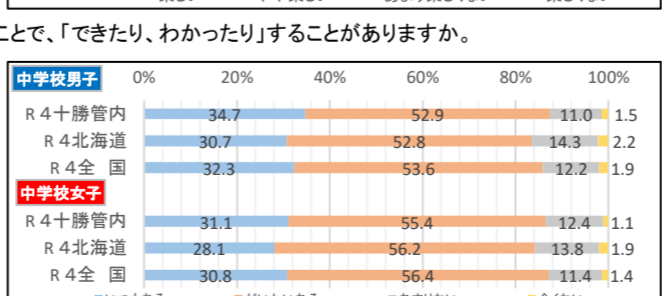
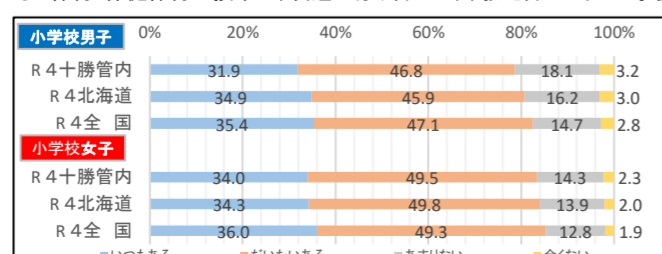
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



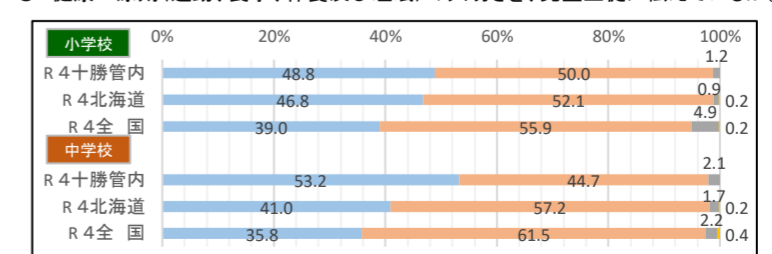
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用しているか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



# 実技調査及び質問紙調査の分析

< 小学校 >		< 中学校 >	
実技調査	各学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善などを行うとともに、授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、「筋力」、「柔軟性」、「瞬発力」、「巧緻性」、「敏捷性」に係る5項目において、男女ともに全国平均を上回ったと考える。	実技調査	各学校において、令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善などを行うとともに、授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、「巧緻性」、「瞬発力」に係る1項目において、男女ともに全国平均を上回り、「筋力」、「全身持久力」に係る3項目において、男子の数値が全国平均を上回ったと考える。
質問紙調査	健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さについて児童に指導を行うとともに、授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったことにより、男女ともに運動やスポーツをすることは好きと回答する児童の割合が全国平均を上回るとともに、授業以外で運動やスポーツを行う1週間の合計時間が420分以上であると回答する児童の割合が全国平均を上回ったと考える。	質問紙調査	ICTの活用や協働的な学びの場の設定などの授業等の工夫・改善を行ったことにより、男女ともに保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、達成感や成就感を得ているとともに、保健体育の授業が楽しいと回答する生徒の割合が、全国平均を上回ったと考える。

## 十勝管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体力向上に係る組織的な検証改善サイクルの確立に課題のある学校があることから、児童生徒の体力向上に係る資質・能力を明確にし、学校教育活動全体を通じた体力向上の取組の推進を図る必要がある。</li> <li>□ 学校教育指導訪問等において、各学校の体力向上の取組に係る課題を管理職と共有し、新体力テストの複数回実施による体力向上の取組の検証等、各学校における検証改善サイクルの確立に向けた取組について指導助言する。</li> <li>□ 組織力向上に関する中間及び最終評価を実施し、取組の成果及び課題の改善状況をマネジメントする。</li> </ul>
<b>(2)B 授業改善の推進</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体育科、保健体育科の授業において、体育の見方・考え方を働かせる学習過程を適切に設定していない学校があることから、自己の適性に応じた「する・みる・支える・知る」の多様な関わり方と関連付けた体育科、保健体育科の授業改善及び「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践を推進する必要がある。</li> <li>□ 体育専科教員による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会及び体育専科教員等による出前授業を実施し、教員の指導力向上を図る。</li> <li>□ 学校教育指導訪問や研修会等において、サーキットトレーニングを活用した実践事例を情報提供するとともに、各学校の体育科、保健体育科の授業における指導資料の活用の促進を図ることにより、児童生徒の実態に応じた授業改善を推進する。</li> </ul>
<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 児童生徒の日常的な運動機会の確保に向けた取組が十分でない学校があることから、家庭や地域と連携し、児童生徒の運動習慣の形成に向けた取組を推進する必要がある。</li> <li>□ 学校教育指導訪問等において、「どさん子元気アップチャレンジ」等を活用した体力向上に係る継続的な取組の推進について指導助言を行う。</li> <li>□ 児童生徒が日常的に運動に親しむ環境整備に係る好事例について、HP等を活用し、通年を通して情報提供する。</li> </ul>

### 2 具体的な取組

月	(1)A 検証改善サイクルの確立	(2)B 授業改善の推進	(3)C 運動習慣形成のための環境整備
4	第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)において、体力向上に係る学校課題を管理職等と共有		
5	・第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)において、「前年度の調査結果等を活用した年間計画の改善」、「新体力テストの計画的な実施」等の組織的な取組への指導助言	・教育局計画訪問(前期)における、体育科及び保健体育科に係る「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進への指導助言	・第1回市町村教育委員会訪問、学校経営指導訪問、教育局計画訪問(前期)において、「運動習慣形成のための環境整備」に向けた組織的な取組への指導助言
6	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施等		
7	・組織力向上に関する中間評価を実施し、各学校における体力向上マネジメントの推進状況を把握	・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会①の実施 ・学校経営指導訪問、学校教育指導訪問における、学校課題改善に向けた授業改善の取組への指導助言(～11月)	・社会教育主事派遣事業(～2月) ・学校経営指導訪問、学校教育指導訪問における「運動習慣形成のための環境整備」に向けた組織的な取組への指導助言(～11月)
8		・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会①の実施	
9	・学校経営指導訪問2回目の実施(～2月) ・新体力テスト実施状況の把握	・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会②の実施	
10		・体育専科教員等の指導力及び資質能力向上に係る研修会③の実施	・「どさん子元気アップ強調月間(10月)」の実施
11			
12	・組織力向上に関する最終評価を実施し、各学校における組織的な体力向上マネジメントの進捗状況を把握	・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会②の実施	
1	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の提供等		
2		・体育専科教員等による体育科、保健体育科の授業改善に向けた研修会②の実施	
3	第2回教育委員会訪問において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた年間指導計画改善状況及び各学校における組織的な体力向上マネジメントの進捗状況を管理職と共有及び成果と課題の明確化		

### 3 取組の評価

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>	<b>(2)B 授業改善の推進</b>	<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>
<p>① 数値目標を設定し、達成状況を検証する時期や方法等を含めて全員で共有した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…66.3% 中…52.0%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…69.0% 中…56.3%</li> </ul> <p>② 担当者等が校内研修等で分析結果を説明するとともに、全員で改善策について協議し、共有した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…46.5% 中…35.4%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…41.7% 中…33.3%</li> </ul>	<p>① 調査結果を踏まえた授業改善の工夫・改善した学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…72.1% 中…85.4%</li> <li>・目標 小…90.0% 中…90.0%</li> <li>・達成値 小…97.6% 中…95.8%</li> </ul> <p>② 体育及び保健体育の授業は楽しいと考える児童生徒の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…63.2% 中…53.9%</li> <li>・目標 小…90% 中…90%</li> <li>・達成値 小…65.6% 中…56.0%</li> </ul>	<p>① 体育授業以外での体力・運動能力の向上に係る取組を行った学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…89.5% 中…79.2%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…97.6% 中…95.8%</li> </ul> <p>② 家庭や社会教育と連動して、児童生徒が日常的に運動に親しむ機会を増やす取組を行った学校の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状 小…91.9% 中…83.3%</li> <li>・目標 小…100% 中…100%</li> <li>・達成値 小…94.0% 中…89.6%</li> </ul>

### 4 改善に向けた今後の方向性

<b>(1)A 検証改善サイクルの確立</b>	<b>(2)B 授業改善の推進</b>	<b>(3)C 運動習慣形成のための環境整備</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育指導訪問等において体力向上プランを用いた検証改善サイクルの確立について指導助言</li> <li>・組織力向上等に関するアンケートの最終評価の結果を全ての市町村教育委員会及び学校へ周知し、市町村教育委員会訪問及び学校教育指導訪問において改善策を協議</li> <li>・次年度の市町村教育委員会訪問において改善に向けた取組について指導助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校体育専科教員等を講師とした体育や保健の見方・考え方を働かせた授業改善に係る研修会の充実</li> <li>・体育科・保健体育科の授業における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導事項の理解及び指導方法の吟味や自己に適した課題の設定や他者との協働により運動意欲を高める学習展開の工夫等、授業改善に係る指導助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育局が主催する体育科の研修会等において、運動習慣の形成に係る環境整備の好事例を普及</li> <li>・どさん子元気アップチャレンジや運動習慣確立啓発動画「みんなでムーブ キタキツネ」を活用した取組の充実</li> </ul>

# 釧路管内の状況

1市6町1村

## 小・中学校

(小学校数:54校 児童数:1,485人、中学校数:37校 生徒数:1,397人)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

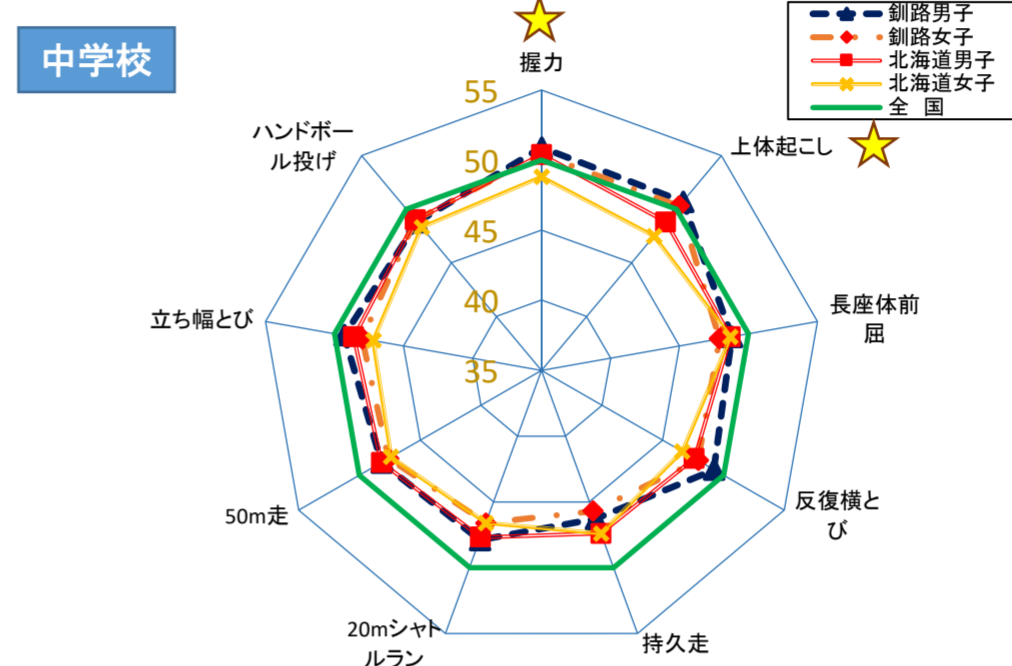
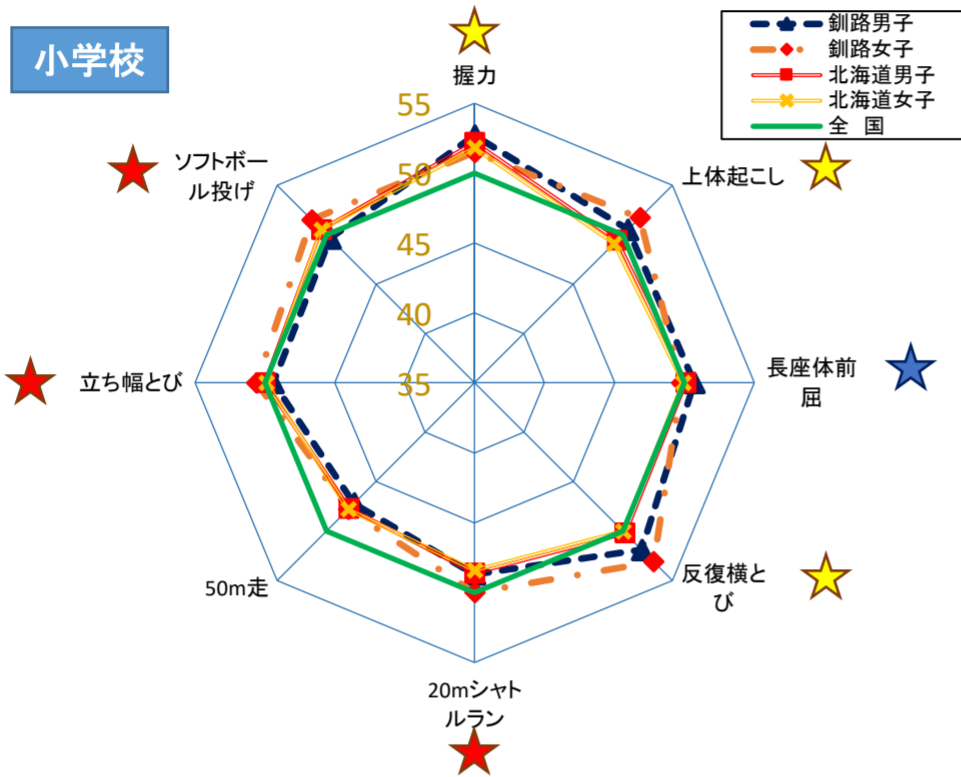
	男子	女子
釧路	52.02	55.06
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
釧路	39.41	44.21
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

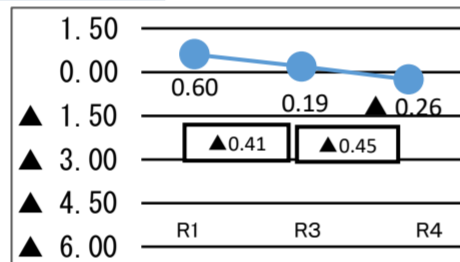
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示★は男女ともに全国平均以上の種目★は男子のみ全国平均以上の種目★は女子のみ全国平均以上の種目

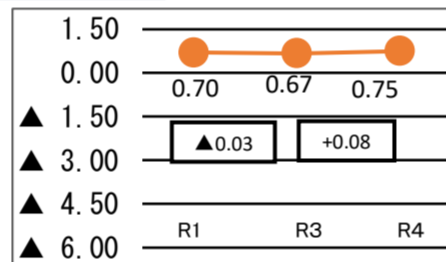


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

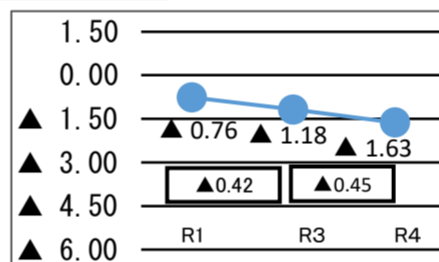
小学校男子



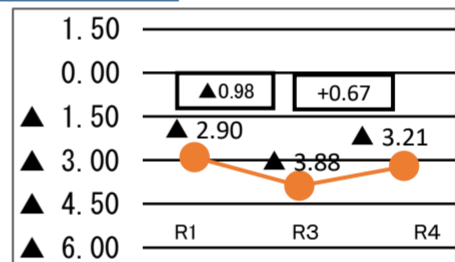
小学校女子



中学校男子



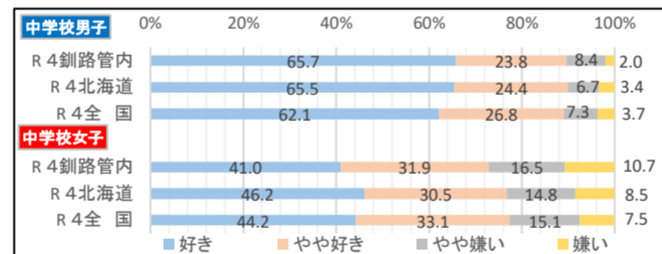
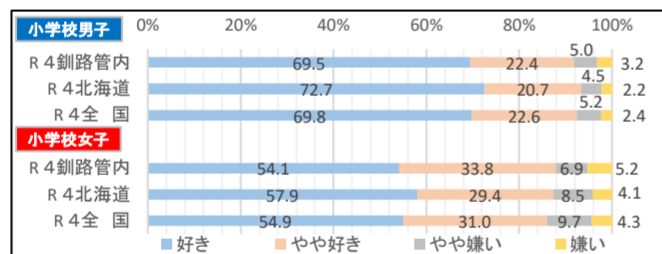
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

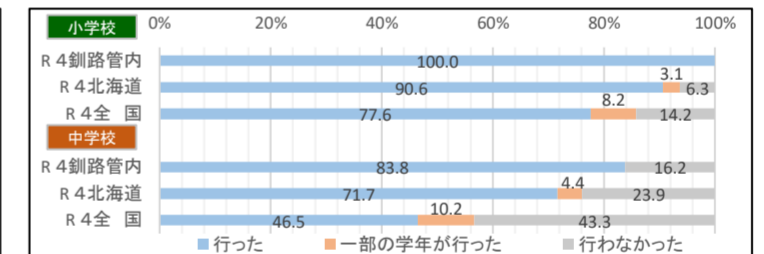
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

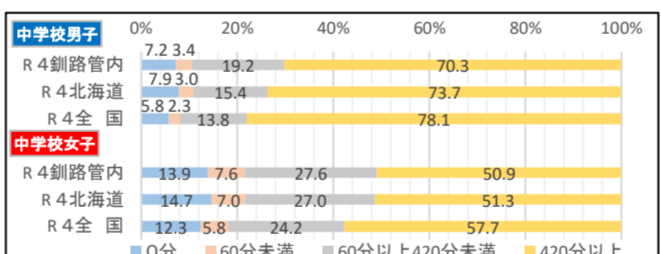
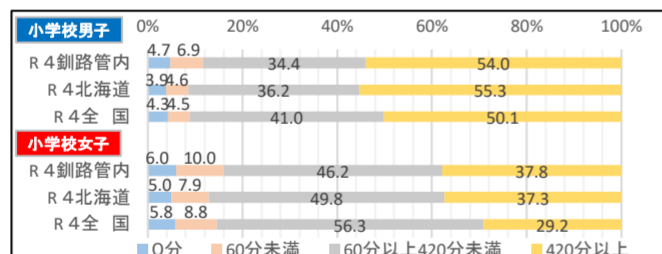


##### <学校質問紙>

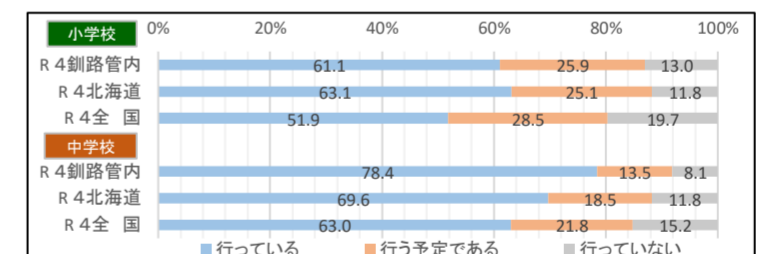
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



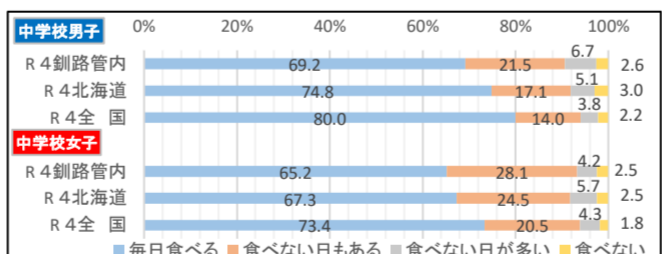
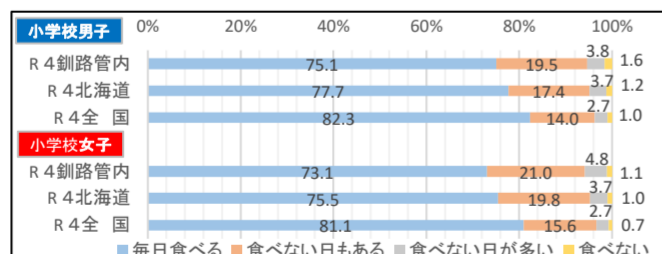
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



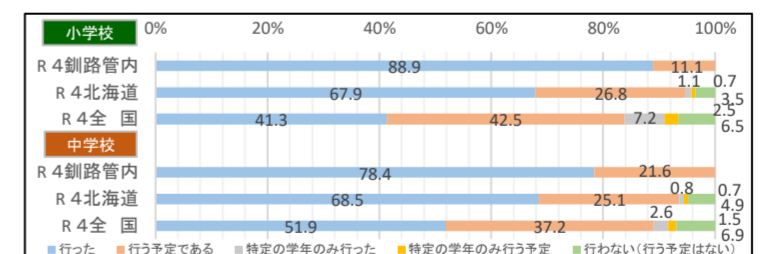
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



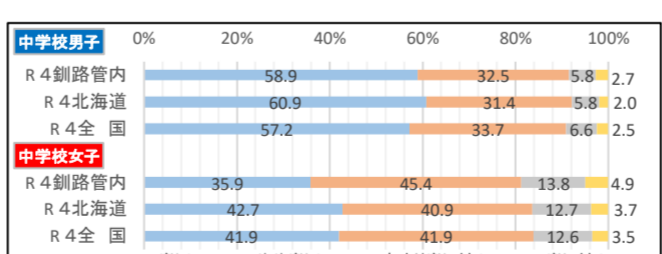
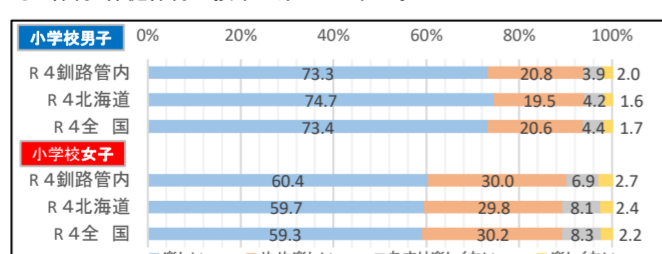
○ 朝食は毎日食べますか。



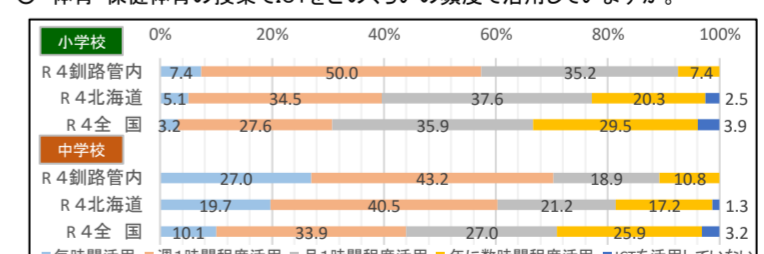
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



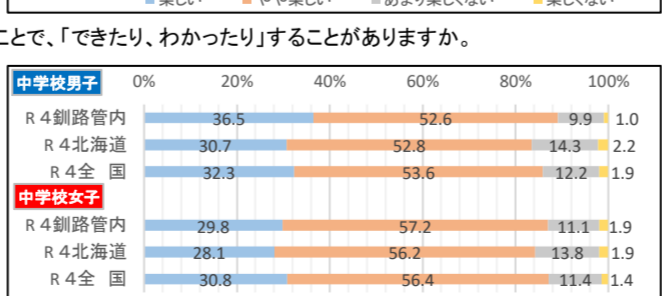
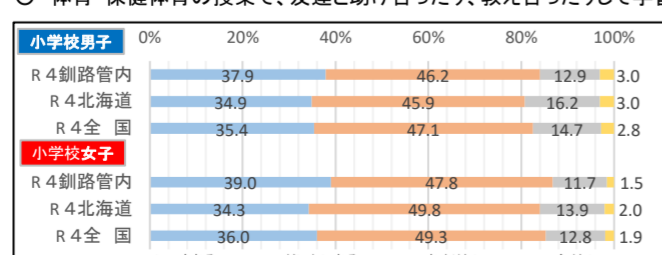
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



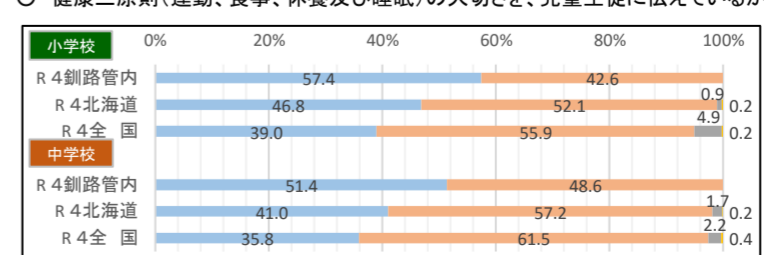
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞	＜ 中 学 校 ＞
<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が0.26ポイント低く、女子が0.75ポイント高い。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男子が4種目、女子が6種目である。</li> <li>○ 体力合計点は、男子が全国を下回ったが、女子は継続して全国を上回っている。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「タブレットなどのICTを使って学習すること」、「できたり、わかったりする」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> <li>○ 「運動やスポーツ、児童の体力について家庭と連携している」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「授業以外で、運動やスポーツを1週間に420分以上している」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っているが、「平日、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が3時間以上」と回答した児童の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> </ul>	<p><b>実技調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体力合計点は、全国と比較して、男子が1.63ポイント、女子が3.21ポイント低い。</li> <li>○ 種目別で全国を上回ったのは、男女ともに2種目である。</li> <li>○ 体力合計点は、男女ともに継続して全国を下回り、差は男子が拡大し、女子は縮小している。</li> </ul> <p><b>質問紙調査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、全国を上回っており、「タブレットなどのICTを使って学習すること」、「できたり、わかったりする」と回答した生徒の割合は、男子で全国を上回っているが、「保健体育の授業は楽しくない」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> <li>○ 「運動やスポーツ、生徒の体力について家庭と連携している」と回答した学校の割合は、全国を上回っているが、「授業以外で、運動やスポーツを1週間に420分以上している」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を下回り、「平日、学習以外で、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が3時間以上」と回答した生徒の割合は、男女ともに全国を上回っている。</li> </ul>

## 釧路管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の経年変化の結果から、小学校は男女ともに全国平均を上回っているが、中学校は男女ともに全国平均を下回っており、体力向上に係る目標を明確にした組織的な取組の充実に課題が見られる。</li> <li>□ 体力向上に向けた検証改善サイクルの継続的な推進</li> <li>□ ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善</li> <li>□ 感染症や多様化する健康課題への対応など学校保健委員会の活性化による健康教育の充実</li> </ul> <p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 指導計画の作成に当たって、教科等横断的な視点で組み立てたり、教育課程の実施状況を評価・改善したりするなど、教育活動の質の向上を図る取組に課題が見られる。</li> <li>□ 「社会に開かれた教育課程」を実現する「カリキュラム・マネジメント」の推進</li> <li>□ ICT活用指導力チェックリスト等に基づく教職員のICT活用指導力の向上を図る研修の充実</li> <li>□ 将来を担うミドルリーダーや管理職候補者の育成とキャリアアップへの意欲の醸成</li> </ul> <p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「授業以外で運動やスポーツをしている時間」が男女ともに全国を下回っており、家庭や地域との連携を生かした体力向上に関する取組等に課題が見られる。</li> <li>□ コミュニティ・スクール及び「地域学校協働活動」の取組の充実</li> <li>□ 地域住民による子どもたちの学びを支える取組の充実</li> <li>□ 運動習慣や望ましい生活習慣の定着を図る取組の推進</li> </ul>
---

### 2 具体的な取組

月	(1)健康な生活を実践する資質・能力の育成	(2)マネジメント機能の強化	(3)地域とともにある学校づくりの推進
4		第1回初任段階教員オンライン交流会	地学協働の推進に向けた局内ミーティング①
5		Zoomを活用した学校訪問事前・事後相談	義務班・社教班による学校訪問
6	どさん子元気アップチャレンジ(学校部門)の実施		局長による道立学校訪問（CS導入に向けた説明・協議） 地学協働の推進に向けた局内ミーティング②
7	管内指導主事研修会（体力向上ロードマップに基づく体力向上に向けた取組に係る協議）		
8	ICT研修会（Google Workspaceの基本操作等） ICT研修会（ロイロノートの活用） ICT研修会（1人1台端末の効果的な活用）	校長のマネジメント力の向上に係る資料の作成	地学協働の推進に向けた局内ミーティング③
9	体育エキスパート教員による研修会の実施	管内スクールリーダー研修会	
10			次長による道立学校訪問（地学協働体制構築に向けた説明・協議）
11			子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業
12	ICT研修会（1人1台端末の効果的な活用）	第2回初任段階教員オンライン交流会	
1	体育エキスパート教員、体育専科教員、中学校体力向上推進教員による研修会の実施		
2	管内指導主事研修会（体力向上に向けた取組の成果と課題の共有）		
3			地学協働の推進に向けた局内ミーティング④

### 3 取組の評価 ※ ( ) は目標値

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「検証改善サイクルの継続的な推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.74、中…3.54</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.77、中…3.65</li> </ul> <p>② 「ICTの活用による授業改善の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.63、中…3.54</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.57、中…3.62</li> </ul>	<p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「カリキュラム・マネジメントの推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.54、中…3.51</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.56、中…3.49</li> </ul> <p>② 「ミドルリーダーや管理職候補者の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.61、中…3.62</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.67、中…3.72</li> </ul>	<p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <p>推進マップに基づく自己評価 ＊各項目4点満点</p> <p>① 「コミュニティ・スクール及び『地域学校協働活動』の取組の充実」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.39、中…3.35</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.45、中…3.49</li> </ul> <p>② 「望ましい生活習慣の定着を図る取組の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状 (R3) 小…3.22、中…3.16</li> <li>・ 目標 (R4) 小…4.00、中…4.00</li> <li>■ 達成値 (R4) 小…3.46、中…3.60</li> </ul>
---	--	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<p><b>(1) 健康な生活を実践する資質・能力の育成</b></p> <p>□ 「検証改善サイクルの継続的な推進」については小・中学校とも昨年度より改善しているが、「ICTの活用による授業改善の推進」については、中学校は昨年度より改善したものの、小学校は昨年度より低下しており、引き続き改善に向けた取組が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育指導計画訪問、管内指導主事研修会及び管内指導室長会議等において、学校が各種調査の結果分析に基づいたPDCAサイクルを一層推進するよう働きかける。</li> <li>・ ICT研修会、局独自の体力向上に係る研修会等において、体育・保健体育授業におけるICTの効果的な活用事例の普及を図る。</li> </ul>	<p><b>(2) マネジメント機能の強化</b></p> <p>□ 「ミドルリーダーや管理職候補者の育成」については、小・中学校とも昨年度より改善しているが、「カリキュラム・マネジメントの推進」については、小学校は昨年度より改善したものの、中学校は昨年度より低下しており、引き続き改善に向けた取組が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校教育指導計画訪問、管内指導主事研修会及び管内指導室長会議等において、学校が教育課程の実施状況を評価・改善するカリキュラム・マネジメントを推進し、教育活動の質の向上を図るよう働きかける。</li> <li>・ 各種研修会等において、キャリア・ステージに応じた資質・能力の向上とキャリアアップへの意欲の醸成を図る。</li> </ul>	<p><b>(3) 地域とともにある学校づくりの推進</b></p> <p>□ 「コミュニティ・スクール及び『地域学校協働活動』の取組の充実」については小・中学校とも昨年度より改善しているが、目標値に達していないことから、引き続き改善に向けた取組が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育指導班と連携し、管内社会教育指導主事研修会等において、家庭における運動習慣の確立や児童生徒の体力向上に向けて協働して取組を推進するよう働きかける。</li> <li>・ 社会教育指導班と連携した学校教育指導計画訪問、局独自の体力向上に係る研修会等において、望ましい生活習慣の定着に向けた小・中学校が連携した取組や家庭と連携した取組の効果的な事例の普及を図る。</li> </ul>
---	---	---

# 根室管内の状況

1市4町

## 小・中学校

(小学校数:24校 児童数:615人、中学校数:19校 生徒数:573)

### 実技に関する調査

#### 【体力合計点】

○ 小学校

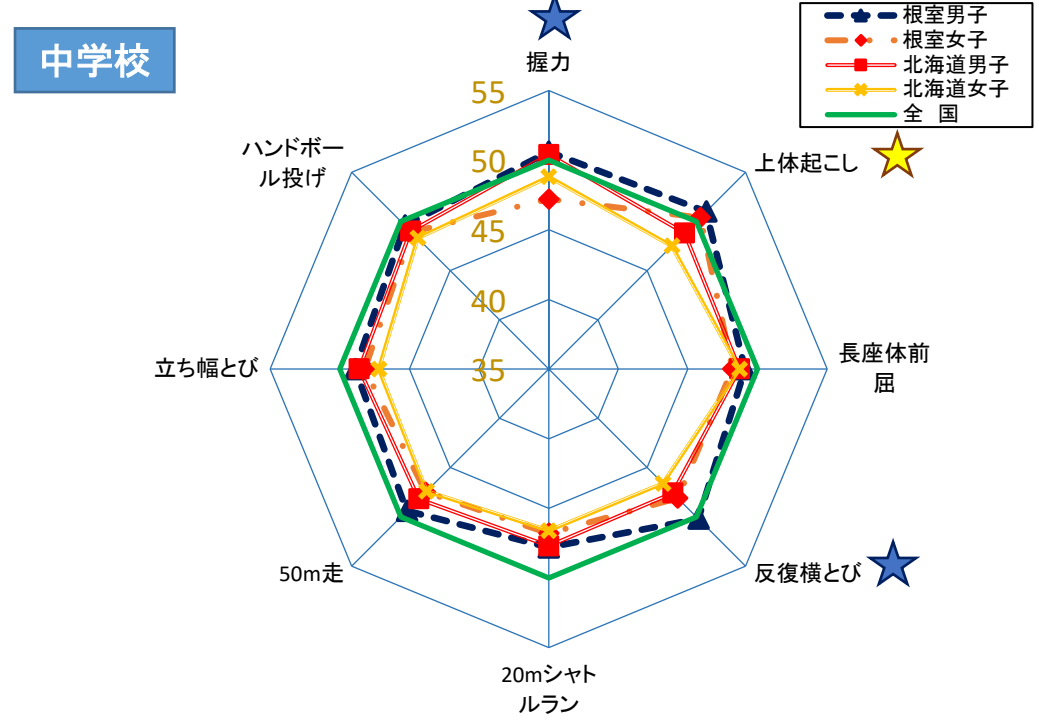
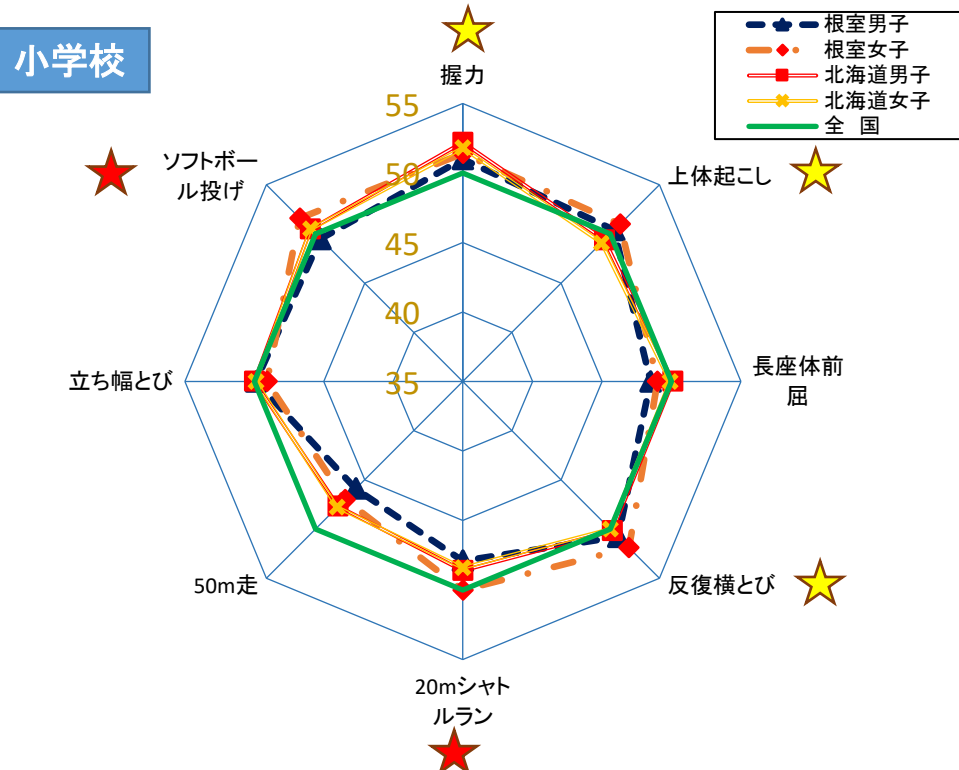
	男子	女子
根室	50.90	54.24
北海道	51.74	53.60
全国	52.28	54.31

○ 中学校

	男子	女子
根室	41.28	45.61
北海道	38.97	43.53
全国	41.04	47.42

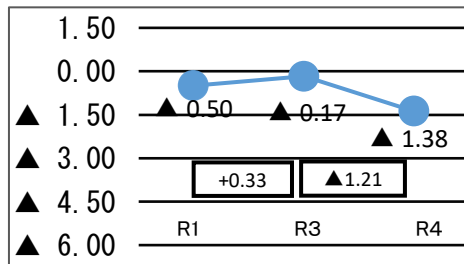
#### 【各種目の状況】

全国を50とした時の数値(T得点)をレーダーチャートで表示 ☆ は男女ともに全国平均以上の種目 ★ は男子のみ全国平均以上の種目 ★ は女子のみ全国平均以上の種目

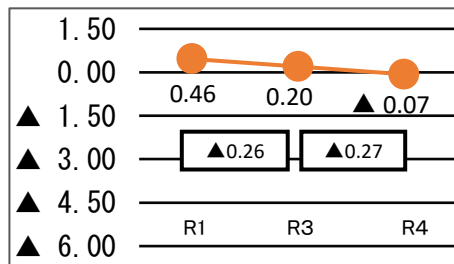


#### 【体力合計点の全国との差とその推移】

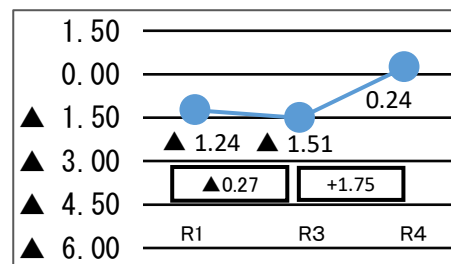
小学校男子



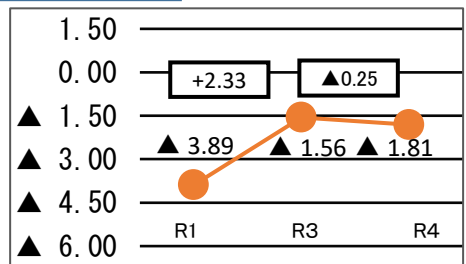
小学校女子



中学校男子



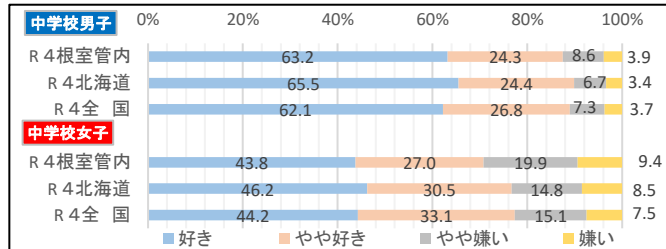
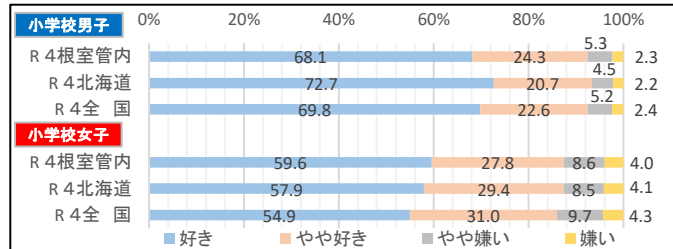
中学校女子



#### 【質問紙調査の状況】

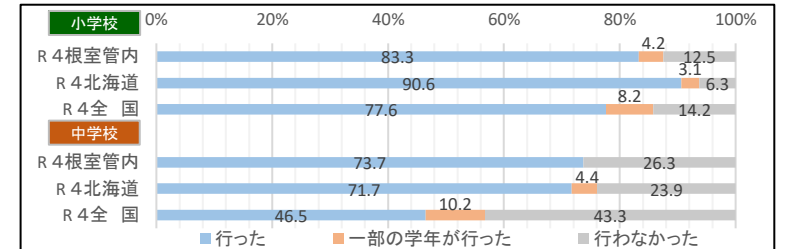
##### <児童生徒質問紙>

○ 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。

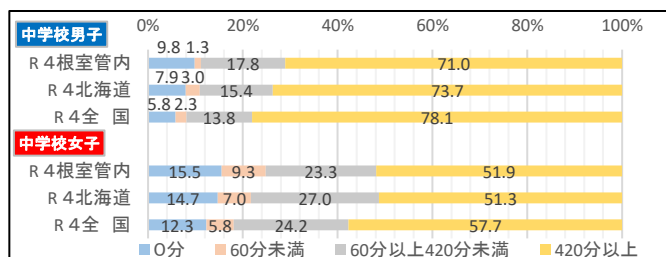
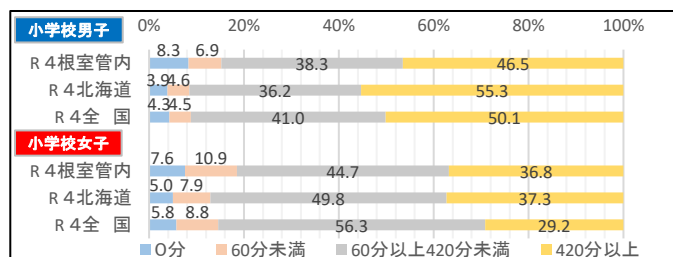


##### <学校質問紙>

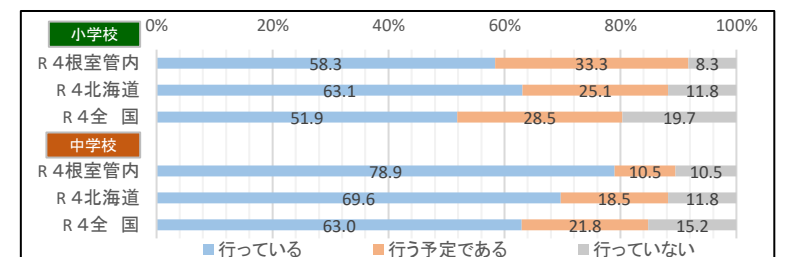
○ 授業以外で、全ての児童生徒の体力・運動能力の向上に係る取組を行ったか。



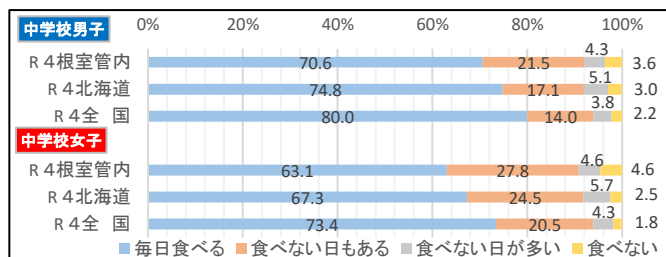
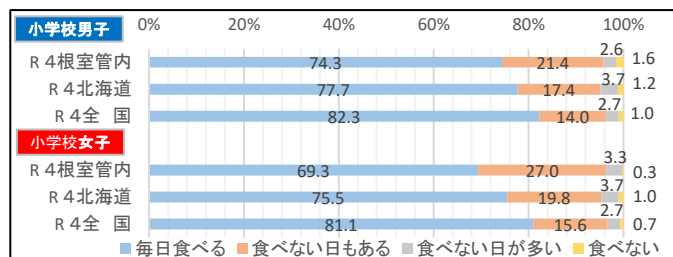
○ 授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1週間おおよそのくらの時間していますか。



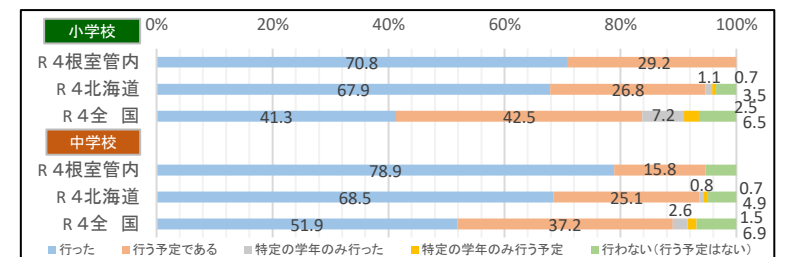
○ 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童生徒向けの取組、または性別に応じた取組を行っているか。



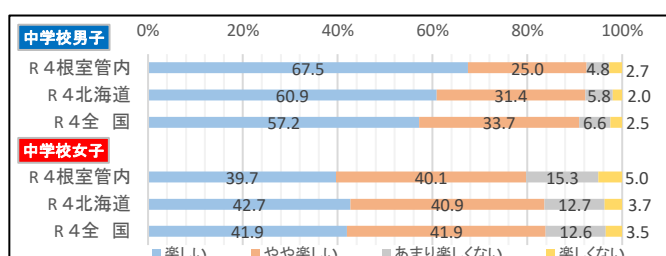
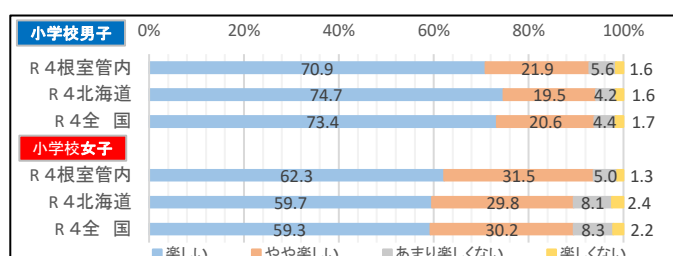
○ 朝食は毎日食べますか。



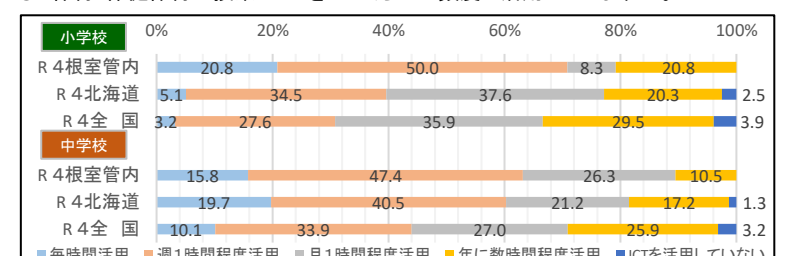
○ 令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行ったか。



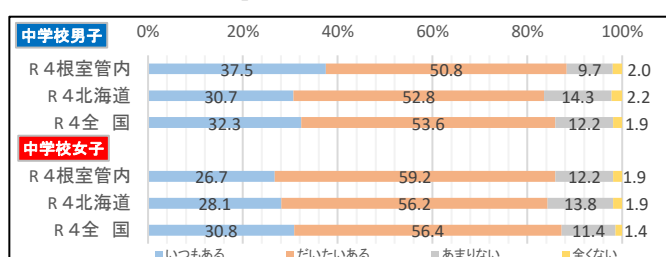
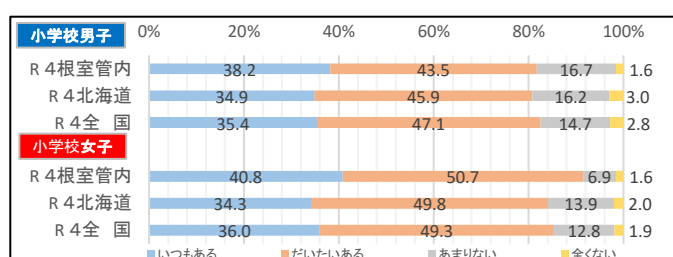
○ 体育・保健体育の授業は楽しいですか。



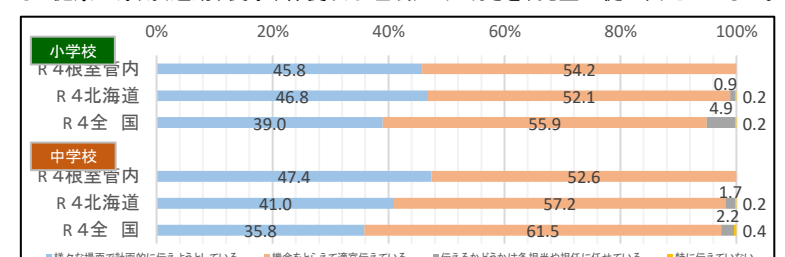
○ 体育・保健体育の授業でICTをどのくらいの頻度で活用していますか。



○ 体育・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



○ 健康三原則(運動、食事、休養及び睡眠)の大切さを、児童生徒に伝えているか。



## 実技調査及び質問紙調査の分析

＜ 小 学 校 ＞		＜ 中 学 校 ＞	
実技調査	・体力合計点は、全国と比較して、小学校男子が1.38ポイント、女子が0.07ポイント低く、課題である。 ・種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が5種目である。	実技調査	・体力合計点は、全国と比較して、中学校男子が0.24ポイント高いが、女子は1.81ポイント低く、課題である。 ・種目別に全国を上回ったのは、男子が3種目、女子が1種目である。
質問紙調査	・「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した児童の割合は、男子が38.2%であり、全国と比べて2.8ポイント高い。女子が40.8%であり、全国と比べて4.8ポイント高い。 ・「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、70.8%であり、全国と比べて29.5ポイント高い。	質問紙調査	・「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、『できたり、わかったり』することがある」と回答した生徒の割合は、男子が37.5%であり、全国と比べて5.2ポイント高い。女子が26.7%であり、全国と比べて4.1ポイント低い。 ・「令和3年度の調査を踏まえて、授業等の工夫・改善を行った」と回答した学校の割合は、78.9%であり、全国と比べて27.0ポイント高い。

## 根室管内における体力向上の取組

### 1 管内課題と重点的な改善策

<b>(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</b>	<input type="checkbox"/> 新体力テスト分析ツールを効果的に活用し、自校の実態に応じた体力向上プランを作成するなどしながら、自校の教育目標や各種調査結果を踏まえた学校全体で一貫した継続的な取組を推進するよう指導助言する。 <input type="checkbox"/> 運動が苦手な児童生徒への対応等、課題解決に向けた組織的・継続的な取組の検証改善を図る組織体制を構築することを指導助言する。
<b>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</b>	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自らの学習を調整し、粘り強く取り組むとともに、異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを生み出す授業改善を推進するよう指導助言する。 <input type="checkbox"/> 「体育専科教員活用事業」や「中学校体力向上推進事業」等の成果を普及する。 <input type="checkbox"/> 「ミドルリーダーによる授業への支援」及び日常の授業改善につながる校内研修を充実するよう指導助言する。
<b>(3) 学校・家庭・地域の連携協働</b>	<input type="checkbox"/> 家庭や地域と連携し、生活習慣・学習習慣の確立を図った好事例を普及し、自校の課題解決につなげるよう指導助言する。 <input type="checkbox"/> 「どさん子元気アップチャレンジ」における各種団体等と連携した体力向上を取組の推進するよう指導助言する。

### 2 具体的な取組

月	(1)組織的・継続的な検証改善サイクルの確立	(2)「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	(3)学校・家庭・地域の連携協働
4			
5	全国体力・運動能力、運動習慣等調査（～7月）		
6	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問） 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえた体力向上に向けた取組の把握	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問）、ミドルリーダーによる授業への支援 「授業づくりの基本研修」フリースタイル研修（学習評価、課題とまとめ、対話的な学び等）	学校教育指導訪問（計画・要請・リモート訪問）、「根室教育局『親学』UP!プロジェクト」市町独自事業への支援 「どさん子元気アップチャレンジ」の実施
7			
8			
9	管内教育推進の重点に係る評価① 管内教育推進の重点に係る好事例の普及		
10		「中学校体力向上推進事業」公開授業・講義・ワークショップ及び演習	
11			
12	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果に基づく分析及び改善方針に係る資料作成及び普及		
1	管内教育推進の重点に係る評価② 管内教育推進の重点に係る好事例の普及		
2	管内教育推進の重点評価シートによる取組状況の把握及び評価結果を踏まえた改善方針の策定		
3			

### 3 取組の評価 ※（ ）は目標値

<b>(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</b> ① 根室管内教育推進の評価「自校の現状と課題を踏まえた全教職員による検証改善サイクルの確立」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.46（4点中） 中：3.40（4点中） ② 令和4年度根室管内教育推進の重点「質の高い教育」に向けた取組事項「自校の教育目標や各種調査結果を踏まえた学校全体で一貫した継続的な取組」（全小・中学校80%以上） ■小：100.0% 中：90.0%	<b>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</b> ① 根室管内教育推進の評価「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた絶え間ない授業改善の推進」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.63（4点中） 中：3.15（4点中） ② 「令和4年度根室管内教育推進の重「質の高い教育」に向けた取組事項「児童生徒が自らの学習を調整し、粘り強く取り組むと共に、異なる考え方を組み合わせたよりよい学びを生み出す授業改善の促進」（全小・中学校80%以上） ■小：100.0% 中：85.0%	<b>(3) 学校・家庭・地域の連携協働</b> ① 管内教育推進の評価「学校・家庭・地域の連携協働による生活習慣・学習習慣の確立」（全小・中学校3.2点以上） ■小：3.04（4点中） 中：2.80（4点中） ② 令和4年度根室管内教育推進の重点「質の高い教育」に向けた取組事項「児童生徒が自ら計画を立てて学習し、規則正しい生活を送ることができる環境づくりに向けた家庭・地域との協働体制の確立」（全小・中学校80%以上） ■小：83.3% 中：80.0%
--	---	--

### 4 改善に向けた今後の方向性

<b>(1) 組織的・継続的な検証改善サイクルの確立</b> <input type="checkbox"/> 児童生徒の変容を即時的に評価する継続的な検証改善サイクルの確立 <input type="checkbox"/> 目指す子ども像を共有した異校種間の連携及び一貫教育の推進	<b>(2) 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</b> <input type="checkbox"/> 教員の実践的指導力や専門性の向上に関する研修の計画的な実施 <input type="checkbox"/> 児童生徒一人一人の個性や多様性を認め合う支持的な風土で学びが展開される環境の整備	<b>(3) 学校・家庭・地域の連携協働</b> <input type="checkbox"/> 家庭や地域と課題を共有した児童生徒の生活習慣・学習習慣の確立に向けた取組の推進 <input type="checkbox"/> 「どさん子元気アップチャレンジ」の活用を含む体力向上に向けた1校1実践の取組の推進
---	--	--

